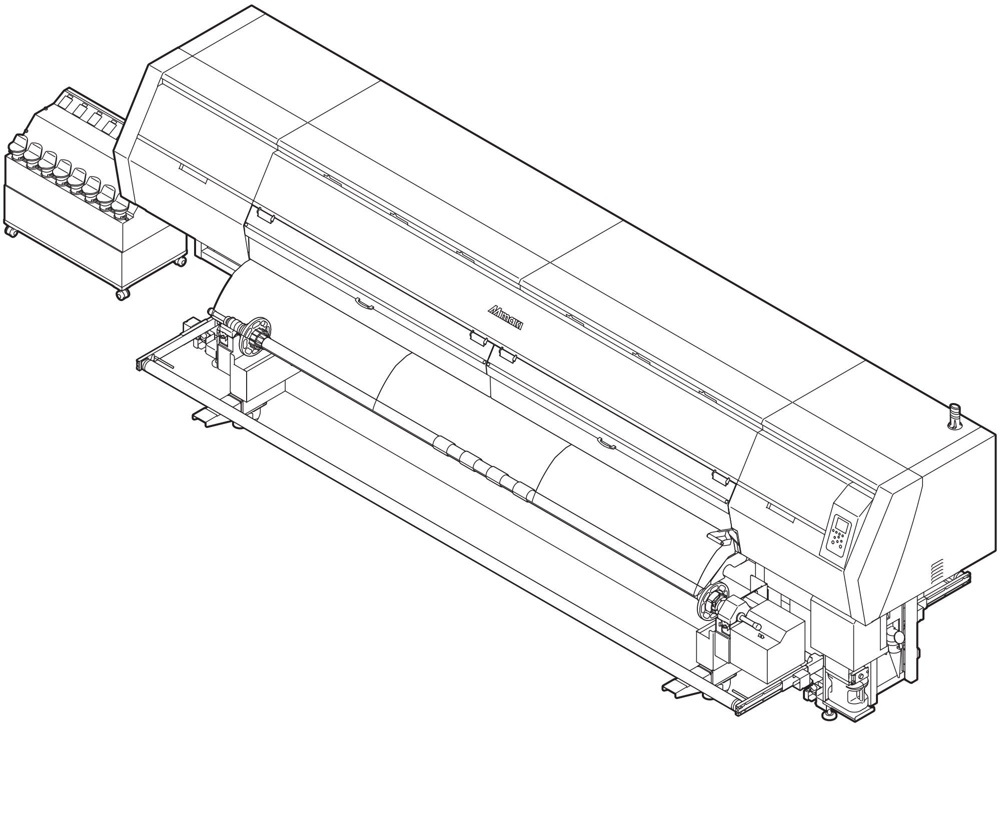
Mimaki

OPERATION MANUAL

INKJET PRINTER

TS500P-3200

取扱説明書



株式会社ミマキエンジニアリング

D202950-13
Original instructions

目　次

ご注意 v
ご注意 v
おねがい v
電波障害自主規制 v
テレビ / ラジオの受信障害について v
はじめに v
使用できるインクについて v
取扱説明書について v
安全にお使いいただくために vi
マーク表示について vi
安全インターロックについて viii

第 1 章　ご使用の前に

本装置の設置について 1-2
設置場所について 1-2
使用環境温度について 1-2
装置の固定について 1-2
本装置の移動 1-2
各部の名称とはたらきについて 1-3
装置前面 1-3
装置背面 / 側面 1-4
操作パネル 1-5
ヒーター 1-7
メディアセンサー 1-7
キャリッジ 1-7
ノズルチェックユニット (NCU) 1-7
カッター刃とカット溝 1-8
表示灯 1-8
キャッピングステーション 1-8
ピンチローラーとフィードローラー 1-8
ケーブルを接続する 1-9
LAN ケーブルを接続する 1-9
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する 1-9
電源ケーブルの接続について 1-9
インクの補充とチャージ 1-10
インクボトル取り扱い上のご注意 1-12
メディアについて 1-13
使用可能メディアサイズ 1-13
メディア取り扱い上の注意 1-13
緊急停止スイッチについて 1-14
緊急停止スイッチの位置 1-14
危険を感じたときは 1-14

第 2 章　基本的な使い方

作業の流れ 2-2
電源を入れる / 切る 2-3
電源を入れる 2-3
電源を切る 2-3
メディアをセットする 2-4

ヘッドギャップを設定する 2-4
メディアセットに関するご注意 2-4
ロールメディアをセットする 2-5
リーフメディアをセットする 2-15
原点を変更する場合は 2-16
ヒーターの準備をする 2-17
ヒーターの温度設定を変更する 2-17
テストプリントをする 2-17
テストプリントを行う 2-18
ヘッドクリーニング 2-18
ヘッドクリーニングについて 2-18
テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う 2-18
フィード補正の設定を
する 2-19
フィード補正の設定 2-19
双方向プリントのドット位置を調整する 2-20
データをプリントする 2-21
プリントを開始する 2-21
プリントを中止する 2-21
受信したデータを消去する (データクリア) 2-21
プリント完了後の動作 2-21
メディアをカットする 2-22

第 3 章　便利な使い方

設定メニューについて 3-2
設定メニュー一覧表 3-3
使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する 3-5
フィード補正の設定 3-6
ドットの位置がずれたら 3-7
ヒーターの設定 3-8
ロジカルシークの設定 3-8
重ね塗りの設定 3-9
乾燥時間の設定 3-9
マージン (左 / 右) の設定 3-9
リフレッシュの設定 3-9
リフレッシュ 左の設定 3-10
吸着ファンの設定 3-10
フィード速度の設定 3-10
天井ファンの設定 3-10
MAPS4 の設定 3-11
オートノズルメンテナンスの設定 3-12
定期ワイピングの設定 3-15
ヘッドギャップの設定 3-15
マシン設定メニューについて 3-16
マシン設定メニュー一覧表 3-17
オートパワーオフの設定 3-18
繰出しユニットの設定 3-18
巻取りユニットの設定 3-19
メディア残量表示の設定 3-19
時刻の設定 3-19
単位 (温度 / 長さ) の設定 3-19
キーブザーの設定 3-20
使用ヘッドラインを選択する 3-20

メディア検出 / 厚さの設定をする 3-20
乾燥フィードの設定をする 3-20
確認フィードの設定 3-21
プリント間の余白を設定する 3-21
余白部分のフィード方式を設定する 3-21
ネットワークの設定をする 3-22
イベントメール機能の設定 3-22
設定ロックの設定をする 3-26
言語の設定をする 3-26
設定した内容を初期状態に戻す 3-26
情報メニューについて 3-27
情報メニュー一覧表 3-27
情報を表示させる 3-28
本機の情報を表示する 3-28

第 4 章　お手入れ

日常のお手入れ 4-2
お手入れ上のご注意 4-2
メンテナンス洗浄液について 4-2
外装のお手入れ 4-2
プラテンの清掃 4-2
背面カバー・ポストヒーターカバーの清掃 4-2
メディアセンサーの清掃 4-3
メディア押さえの清掃 4-3
フラッシングユニット周辺の清掃 4-4
フラッシング BOX センサーの清掃 4-4
インク受けスポンジの清掃 4-5
メンテナンスニューについて 4-6
メンテナンスメニュー一覧表 4-7
キャッピングステーションのメンテナンス 4-8
ワイパーとキャップの清掃 4-8
インク排出路の洗浄 4-10
長期間使用しない場合 (保管洗浄) 4-10
ヘッド周辺の清掃 4-12
ノズル詰まりが復旧しない場合 4-14
ヘッドノズルの洗浄 4-14
ノズルリカバリ機能 4-15
オートメンテナンス機能 4-18
リフレッシュレベルの設定をする 4-18
クリーニングレベルを設定する 4-18
インクチャージをする 4-19
廃インクタンクの交換 4-21
廃インクタンク確認メッセージが表示されたら 4-21
廃インク量による動作制限について 4-23
消耗品の交換 4-23
ワイパーを交換する 4-23
ミストフィルター (HF フィルター) の交換 4-24
期限切れのインクを廃棄する 4-25
インクタンクを交換する 4-25
カッター刃の交換 4-27
NCU インク吸収材の交換 4-28
タンクキャリブレーション 4-29

第 5 章　困ったときは

故障？と思う前に 5-2
電源が入らない 5-2
プリントできない 5-2
ヒーターの温度が設定値まで上昇しない 5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる 5-3
画質不良が発生したときは 5-3
ノズル詰まりを解消したいとき 5-3
インクタンクに異常が発生したら 5-4
サブタンク関連のエラー (エラー 618 ～ 61b) が発生したら 5-4
メディアが搬送時に波打つ場合 5-4
メッセージを表示するトラブル 5-5
ワーニングメッセージ 5-5
エラーメッセージ 5-13

第 6 章　付録

仕様 6-2
本体仕様 6-2
インク仕様 6-3
サプライ品リスト 6-3
お問い合わせシート 6-4

ご注意

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

テレビ / ラジオの受信障害について

本装置は、使用時に高周波が発生します。このため、本装置が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。
本装置がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、本装置の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。
次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、カラー インクジェットプリンタTS500Pシリーズ をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
「TS500P シリーズ」は、昇華転写インクでプリントする、高速・高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

使用できるインクについて

本機で使用できるインクは、昇華転写インク (4 色 /6 色) があります。

- **4 色モデル** ：ブルー・マゼンタ・イエロー・ブラックの各インクボトルを 2 本ずつ使用
- **6 色モデル** ：ブルー・マゼンタ・イエロー・ブラック・ライトブルー・ ライトマゼンタの各インクボトルを 1 本使用 (ただし、ライトブルー・ライトマゼンタは 2 本)

取扱説明書について

- 本書は、「カラーインクジェットプリンタ TS500P シリーズ」（以後本装置と称します）の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。
© 株式会社ミマキエンジニアリング
All Rights Reserved.Copyright

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

内　容	
警告	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
注意	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
重要！	「重要」マークは、本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。

使用上の警告

警　告

- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないでください。
- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

警　告

- 表示された電源仕様で使用してください。本装置の電源電圧は、単相 AC200 ～ 240V 20A 以下です。(100V 系では、使用できません。)
- 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源ボタンをオフにして、その後必ずソケットをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- 本装置やインクボトルの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。
- プラテンのヒーターにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。
- 湿気の多い場所の使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。
- インク漏れが発生した場合は主電源を OFF し電源ケーブルを抜いて、弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。

使用上のご注意

注　意

電源ケーブルについて

- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、ひっぱったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 極性付きのコンセントに接続してください。

電源供給について

- ブレーカーは常時 ON にしておいてください。
- 側面にある主電源スイッチは OFF にしないでください。

ヒーターについて

- プラテン上に液体をかけないでください。ヒーターの故障や発火の原因になります。
- プラテンのヒーターが熱いうちに素手で触らないでください。火傷の原因になります。

接地工事

- 本機は、感電事故防止のため接地工事が必要です。
- 接地工事は、C 種接地工事（特別第 3 種接地工事）を行ってください。

メンテナンス上の注意

⚠ 注　意

- 外部インク供給ユニットやヘッドを清掃する際は、必ず付属の手袋を着用してください。

保護具着用

- 吸引ノズルのクリーニングにおいて、インク、メンテナンス用洗浄液が飛び散る可能性がある場合は、必ず保護メガネおよび手袋を着用して、クリーニングを行ってください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入る危険性があります。またインク、メンテナンス用洗浄液が手に付着すると手が荒れる原因になります。

インクの取り扱い

- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清潔な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、（財）日本中毒情報センター　中毒 110 番に連絡してください。
  - 大阪　　：072-727-2499
  - つくば　：029-852-9999
- 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。

ご注意とお願い

⚠ 警　告

メンテナンス上の注意

- できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。
- プリントしないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。
- プリント中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッド周辺の清掃を実行してください。(☞ P.4-12「ヘッド周辺の清掃」)
- インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属の手袋を着用してください。
- キャッピングステーション、およびワイパーの拭き掃除 (ホコリ、紙粉) は、こまめに行ってください。

フロントカバーとレバーについて

- プリント中にフロントカバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。プリントが終了してしまいます。

メディアとホコリについて

- メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。
- 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。

⚠ 警　告

本装置の廃棄処分について

- 本装置を廃棄する際は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 各地域の自治体の法律に基づき、適切に処理を行ってください。

インクボトルの取り扱い

- TS500P 専用インクをお使いください。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- TS500P　専用インク以外のインクを使用すると、装置保護のため、動作しません。
- TS500P　専用のインクは、他のプリンタで使用しないでください。プリンタが壊れます。
- インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温環境下に放置してから使用してください。
- インクボトルは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常にプリントできない場合があります。
- インクボトルは、冷暗所で保存してください。
- インクボトルや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- インクボトルは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。
- インクボトルを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。ボトルからインクが漏れる場合があります。
- IC チップの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。
- 空になったインクボトル・廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください

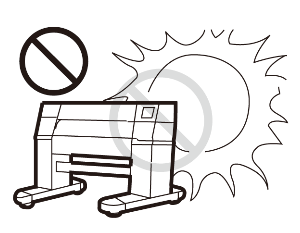
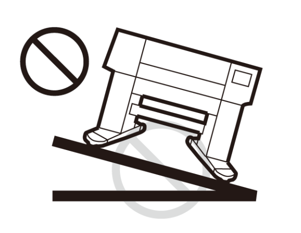
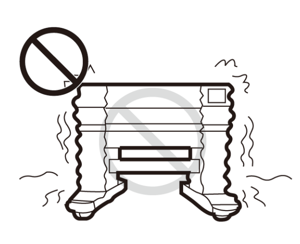
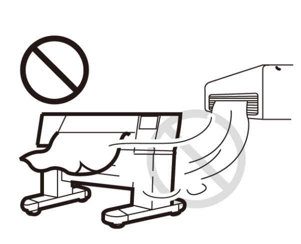
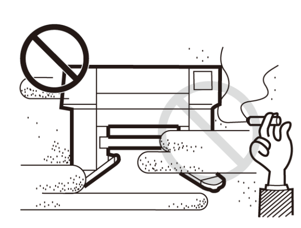
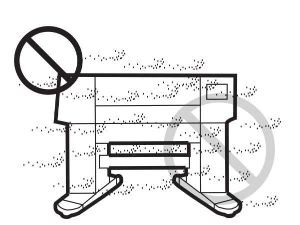
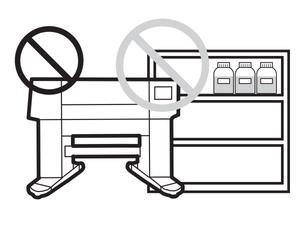
メディアの取り扱い

- 推奨メディアをご使用ください。
  安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- メディアの種類や特性に合わせて、プリントヒーターおよびポストヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いのRIP の取扱説明書を参照してください。
- メディアの伸縮にご注意ください。
  包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。
  紙詰まりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。
  また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
- メディアをセットしたまま、ヒーターオン状態で長時間放置しないでください。

定期交換部品

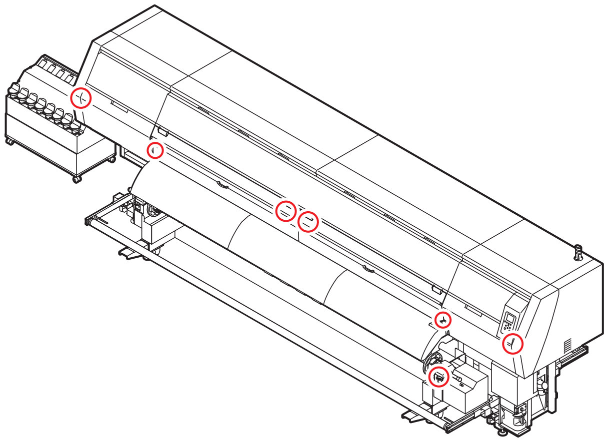
- 本装置には定期的に交換する部品があります。機材を末永くご利用いただくためにも、必ず、年間保守契約にご加入ください。

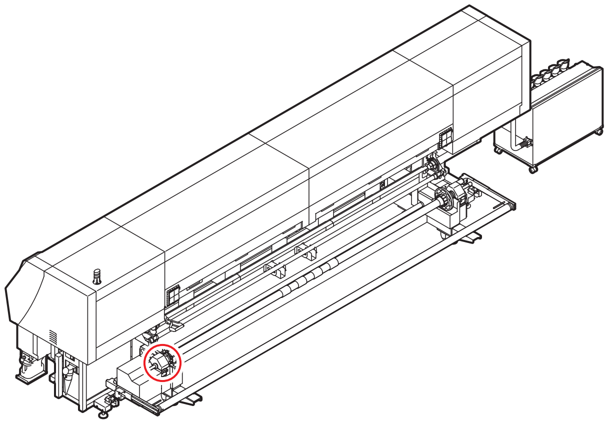
設置上のご注意

注　意	
直射日光が当たる場所	水平でない場所
	
振動が発生する場所	エアコンなどの風が直接当たる場所
	
温度や湿度の変化が激しい場所	火を使う場所
•次の環境下でお使いください。 •使用環境： 20 ～ 30 °C (68°F ～ 86°F) 35 ～ 65 % (Rh)	
埃が多い場所	周囲に化学薬品がある場所
	

安全インターロックについて

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックがついています。(下図の赤丸部分)





第 1 章
ご使用の前に

この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本装置の設置について 1-2
　設置場所について 1-2
　使用環境温度について 1-2
　装置の固定について 1-2
　本装置の移動 1-2
各部の名称とはたらきについて 1-3
　装置前面 1-3
　装置背面 / 側面 1-4
　操作パネル 1-5
　ヒーター 1-7
　メディアセンサー 1-7
　キャリッジ 1-7
　ノズルチェックユニット (NCU) 1-7
　カッター刃とカット溝 1-8
　表示灯 1-8
　キャッピングステーション 1-8
　ピンチローラーとフィードローラー 1-8
ケーブルを接続する 1-9
　LAN ケーブルを接続する 1-9
　USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する 1-9
　電源ケーブルの接続について 1-9
インクの補充とチャージ 1-10
　インクボトル取り扱い上のご注意 1-12
メディアについて 1-13
　使用可能メディアサイズ 1-13
　メディア取り扱い上の注意 1-13
緊急停止スイッチについて 1-14
　緊急停止スイッチの位置 1-14
　危険を感じたときは 1-14

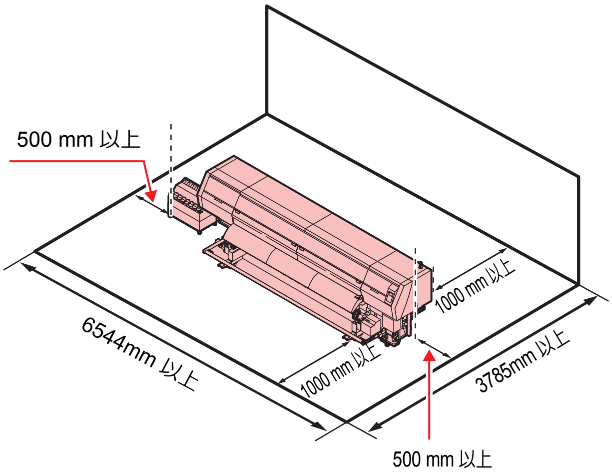
本装置の設置について

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機　　種	横幅	奥行き	高さ	全体重量
TS500P-3200	5620mm	1800mm [*1]	1820mm	1500kg
外部インク供給ユニット	950mm	510mm	730mm	30kg

*1.　テンションバーが水平になっている場合



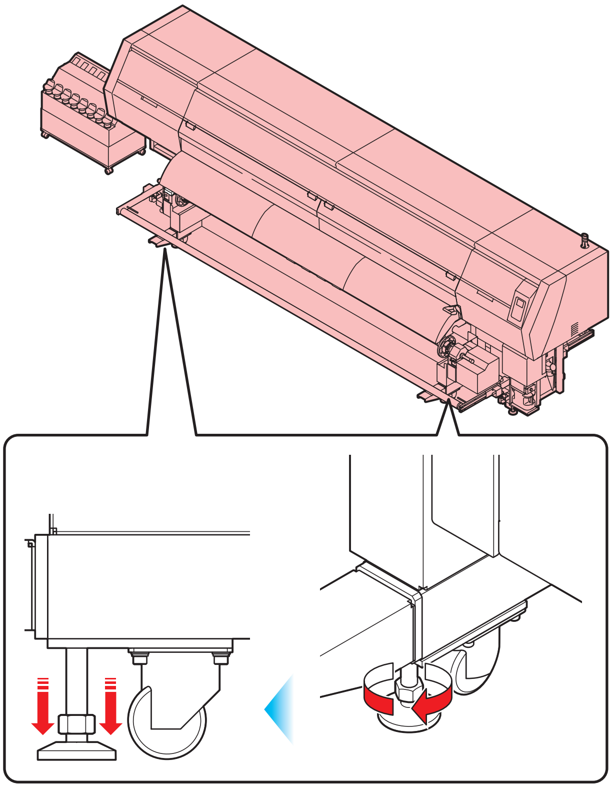
重 要！
- 外部ヒーターは、本機に付属されていません。別途ご用意いただく必要があります。
- 外部ヒータは、使用環境や外部ヒーターの仕様などを考慮して適正な位置に設置してください。

使用環境温度について

本装置は安定したプリントを行うために、20 ～ 30 ℃の環境でご使用ください。
周囲の温度条件により、ヒーター温度が設定値まで上昇しない場合があります。

装置の固定について

本機の脚には、装置を固定するためのレベルフットが付いています。
本機の電源を投入する前に、必ず、本機がレベルフットで固定されていることを確認してください。
レベルフットで固定されていない状態でプリントをすると、本機が動き出す場合があります。



- 付属の鉄製 (黒色) の床板をレベルフットと床の間に敷いてください。本機の重量を支えるために、床板の使用をお勧めします。

本装置の移動

重 要！
- 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になります。
本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

各部の名称とはたらきについて

装置前面

プラテン
プラテンに沿って、メディアを出力します。プラテン内の 5 カ所にヒーターが内蔵されています。

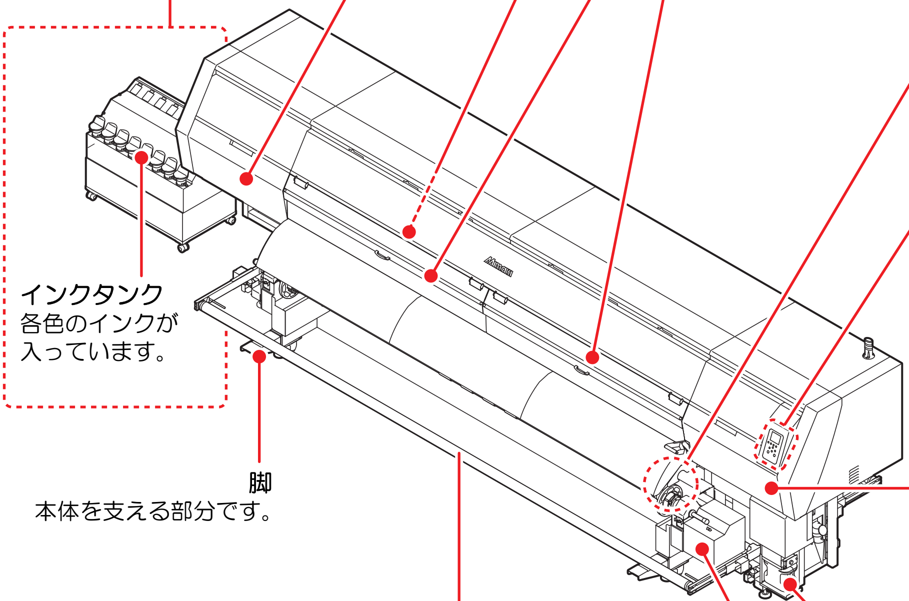
プリントヒーター / ポスト 1L・2L ヒーター / ポスト 1R・2R ヒーター
印字中のインクの定着と乾燥を行います。(プラテンの内側にあります。)

左メンテナンスカバー
メンテナンス時にカバーを開けます。電源ボタンがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

フロントカバー
メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源ボタンがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。

外部インク供給ユニット
インクタンクの中にインクを入れます。

クランプレバー (前)
ピンチローラを上下して、メディアを保持 / 解放します。



インクタンク
各色のインクが入っています。

操作パネル
本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。

右メンテナンスカバー
メンテナンス時にカバーを開けます。

脚
本体を支える部分です。

テンションバー
巻き取るメディアのテンションを調節します。

廃インクタンク
廃インクを溜めるタンクです。

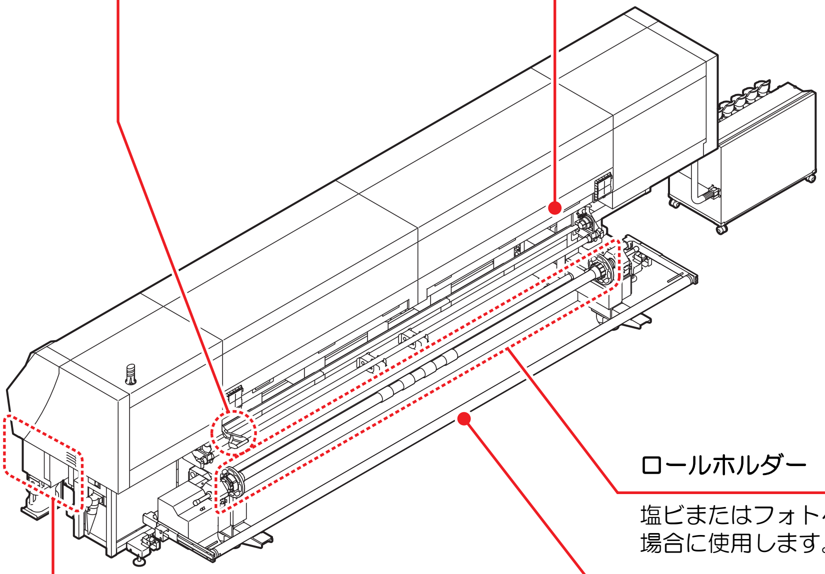
巻取装置
ロールメディアでプリントした成果物を自動で巻き取ります。

1

装置背面 / 側面

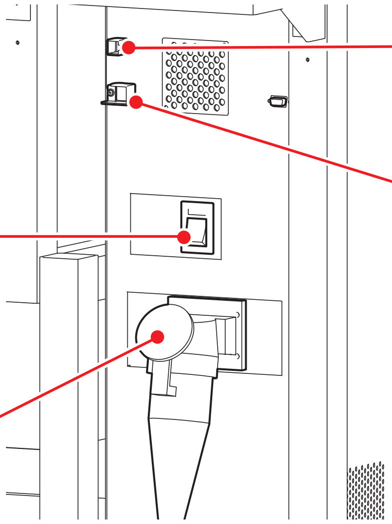
クランプレバー（後）
本機前面にあるクランプレバーと連動しています。

背面カバー
メディアのセット、メディア詰まりの処置をするときに開けます。電源ボタンがオフの場合でも、カバーは閉じておいてください。



ロールホルダー
塩ビまたはフォトペーパーのメディアをお使いの場合に使用します。

テンションバー
メディアに張りを持たせるために使います。



USB コネクタ
USB2.0 インターフェイスコネクタです。

LAN コネクタ
Giga Ethernet インターフェイスコネクタです。

主電源スイッチ
本機の主電源をオン / オフします。
インク詰まり防止のため、常に主電源はオンにしてください。

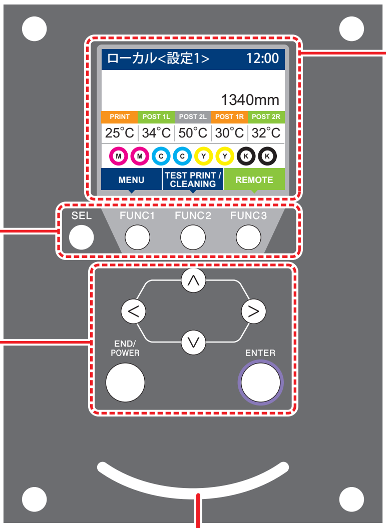
AC インレット
電源ケーブルを接続します。

操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

SEL キー
ファンクションボタン ([FUNC1] ～ [FUNC3]) の機能を切り替えます。

FUNC1 / **FUNC2** / **FUNC3** キー
各種機能の設定やテストプリントをするときなどに押します。ファンクションボタンの機能は、[SEL] を押すたびに切り替わります。



ディスプレイ

次の各項目を表示します。
- 本機の状態
- 時刻表示
- セットしているメディアの幅
- ヒーター温度 (現在温度 / 設定温度)
- インクの状態 *1
- [FUNC1] ～ [FUNC3] に割り当てられている機能 *2

ジョグキー ◀ ▶ ▲ ▼
ローカルでのヘッドやメディアの移動、各種設定の項目選択に使用します。

END/POWER キー
直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを 1 つ前の階層に戻す場合に使用します。また、電源の ON/ OFF をするときに押します。(電源を切るときは、長押ししてください。)

ENTER キー
1 段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

状態表示ランプ
本機の状態 (プリント中、エラー発生中等) をランプでお知らせします。

ランプの点灯状態	装置の状態
消灯	ローカルになっていて、プリントデータの受信やエラー等が発生していない状態です。
水色点灯	リモートに切り替えた状態です。
水色点滅	プリント中の状態です。
	テストプリントなど、本機に内蔵しているパターン各種をプリントしている状態です。
青色点灯	本機にプリントデータが残っている状態です。
赤色点滅	エラーが発生しています。
赤色点灯	エラー (SYSTEM HALT) が発生しています。

- 電源スイッチをオンにすると操作パネルの [ENTER] キーが青に点灯し、オフにすると消灯します。主電源スイッチ (☞ P.1-4) をオンにしておくと、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(オートメンテナンス機能)

*1 : インクの状態について

ディスプレイにインクタンクの状態 (インク残量 / エラーなど) をアイコンで表示しています。
各々のアイコンについて説明します。

アイコン	内容
	インクスロットにセットされている順番で、インク残量を 9 段階で表示します。 右に行くに従って、インク残量が少なくなっています。 インクフル / 約 1/8 消費 / 約 1/4 消費 / 約 3/8 消費 / 約 1/2 消費 / 約 5/8 消費 / 約 3/4 消費 / 約 7/8 消費 / ニアエンド
	インクエンドまたはインクエラー状態で、インクが使用できないことを表します。
	インク期限切れ、期限切れ 1ヶ月を示します。早めに使用してください。インク期限切れ 2ヶ月を過ぎると使用できなくなります。

*2 : [FUNC1] ～ [FUNC3] に割り当てられている機能

[FUNC1] ～ [FUNC3] に割り当てられている機能の内容を説明します。

アイコン	内容
MENU	各機能を設定する “MENU" を表示します。
TEST PRINT CLEANING	テストプリント・クリーニング等のメンテナンス機能を表示します。
REMOTE	ローカルで、リモートに移行し、プリントを開始します。
ADJUST	フィード補正、ドット位置補正等の調整機能を表示します。
HEATER	ヒーター温度の設定を行います。
DATA CLEAR	データクリアを実行します。
MEDIA	ヘッドの高さを調整するときやメディアをカットします。
MAINT	ステーションメンテナンスメニューを表示します。
CHARGE	インクチャージメニューを表示します。
LOCAL	リモートにてプリントを中断し、ローカルへ移行します。
>>	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、次のページへ移動します。
<<	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、前のページへ移動します。
OK	警告メッセージが表示された場合など、確認の完了を行う場合に使用します。
OFF	ヒーター設定を OFF にする場合など、機能を OFF や無効にする場合に使用します。
↓	何らかの設定や機能が割り当てられています。各機能の説明に従い、操作してください。
✓	クリーニングの対象ヘッド選択など、複数の項目を選択する場合に有効 / 無効を切替えます。

• 本機の状態によって、アイコンの色は変化します。
アイコンの色が緑色のとき：本機がリモートの状態になっている
アイコンの色が紺色のとき：本機がローカルの状態になっているとき

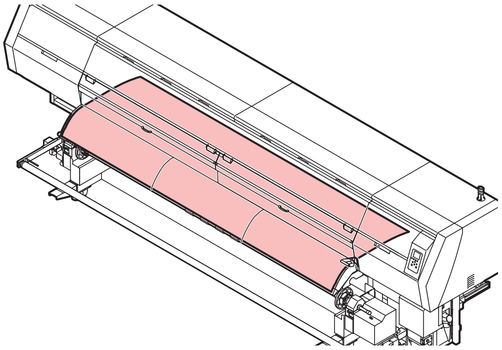
ヒーター

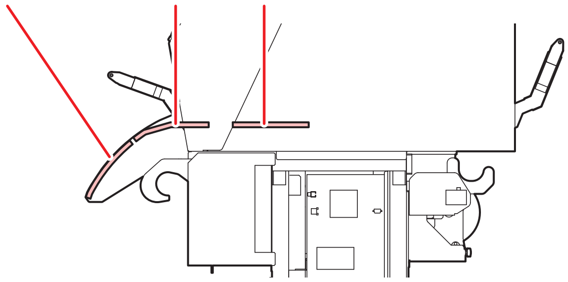
プラテンには、プリントヒーターとポストヒーター①・②が内蔵されています。

プリントヒーター	プリント時の画像品質を向上させます。
ポストヒーター 1L/1R	プリント後のインクを乾燥させます。 コックリングを抑制したい場合は、ポストヒーター 1L/1R を OFF にしてポストヒーター 2L/2R のみ使用するか、ポストヒーター 1L/1R の温度をポストヒーター 2L/2R よりも低い温度に設定してください。 インクの乾燥に重点を置く場合は、両方とも ON にしてお使いください。
ポストヒーター 2L/2R	

注意

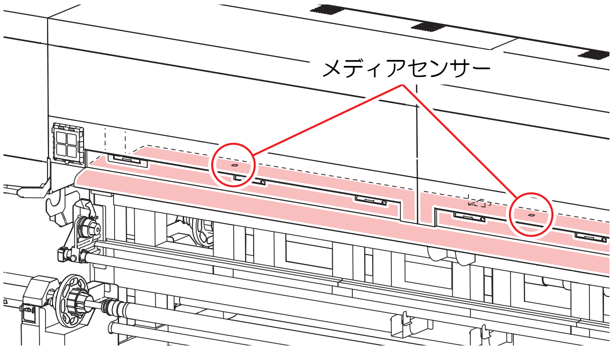
- ヒーターの加熱中は、プラテンが高温になっています。フロントカバーを開ける際やメディアを交換する際は、ヒーターの温度を下げ、プラテンの温度が十分に下がってから行ってください。火傷の原因になります。
- 薄手のメディアに交換する際は、ヒーターの温度を下げてプラテンの温度が十分下がってから行ってください。プラテンが高温の状態で行うと、メディアがプラテンに貼り付いたり、シワやカールの原因になります。
- プリントしない状態で、長時間メディアをヒーターで加熱し続けないでください。メディアの表面が波のように浮き上がり、ヘッドがメディアをこする原因になります。





メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。
プラテン上 (背面側) にメディアセンサーが 2 箇所あります。

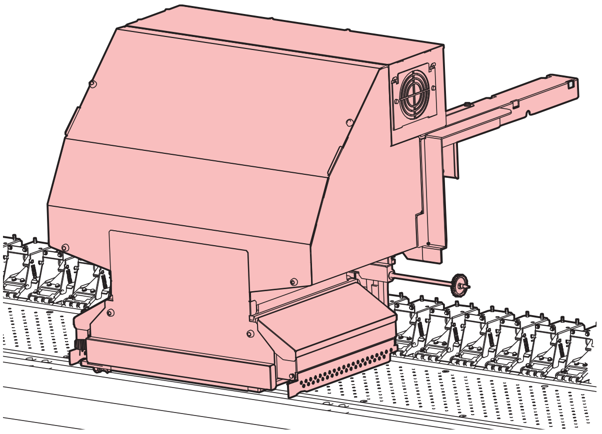


重 要！

- メディアをセットするときは、プラテン後部側にあるメディアセンサーのうち、どちらか一方を覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。

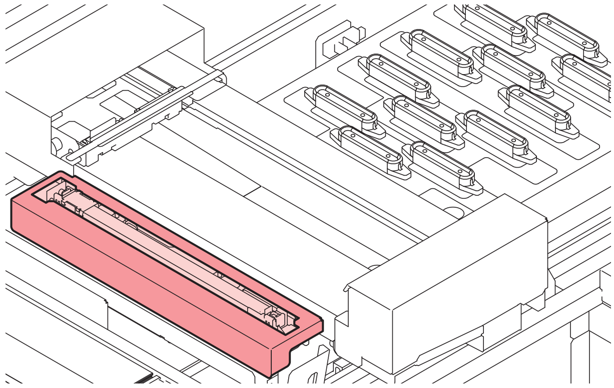
キャリッジ

キャリッジには、プリント用のインクヘッドや、メディアカット用のカッターユニットなどが付いています。



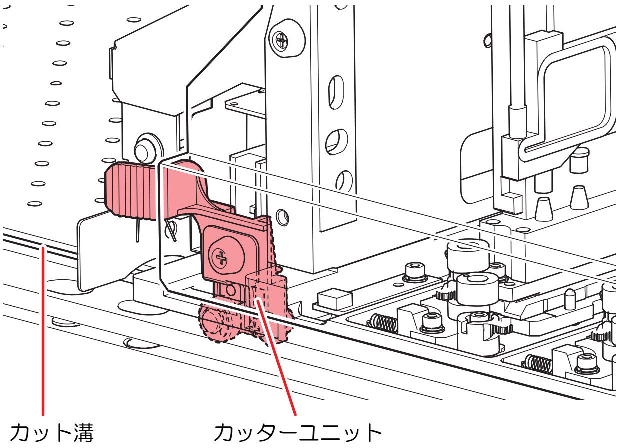
ノズルチェックユニット (NCU)

ノズルチェックユニットは、プリント中にノズル抜けが発生していないかチェックをしています。
ノズル抜けを検出した場合は、ノズル復旧動作を自動的に行います。(☞ P.3-31)



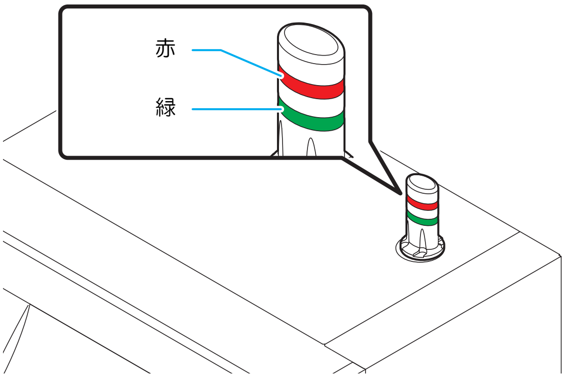
カッター刃とカット溝

キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。
プラテンのカット溝に沿ってメディアをカットします。
カッター刃は、消耗品です。切れ味が悪くなった場合は、新しいカッター刃に交換してください。



表示灯

本体右上にある表示灯の動作について説明します。
表示灯には緑と赤の 2 色のランプがあります。

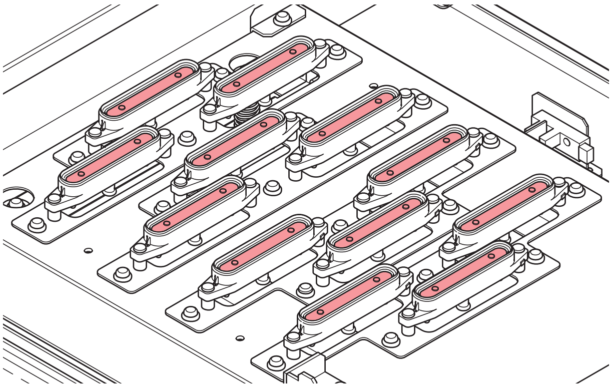


ランプ色	状態	本装置の状態
緑	点灯	リモート
	点滅	リモート (プリント中)
	消灯	ローカル
赤	点灯	エラー発生中 (システムダウン)
	点滅	エラー / ワーニング発生中
	消灯	正常

キャッピングステーション

• キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属のゴーグルを着用してください。目にインクが入る危険があります。

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成されています。
インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。
ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。
ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。

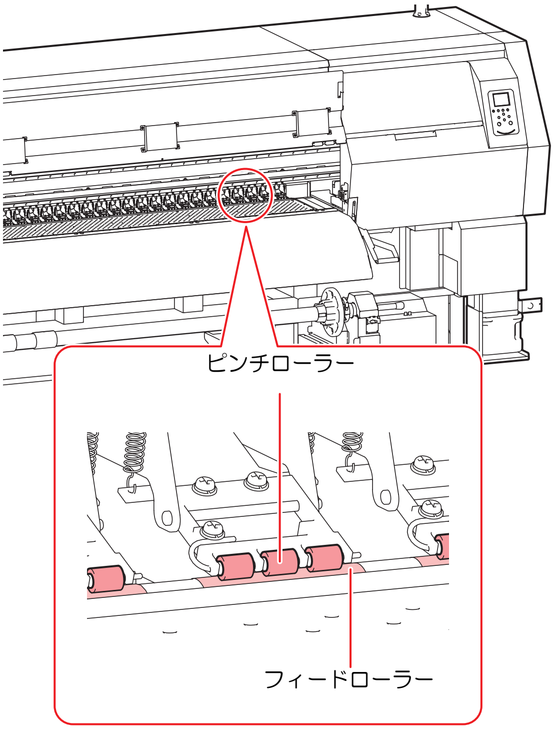


ピンチローラーとフィードローラー

重 要!

• 本装置を使用しない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラーが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、プリント時にメディアを前側に送り出します。



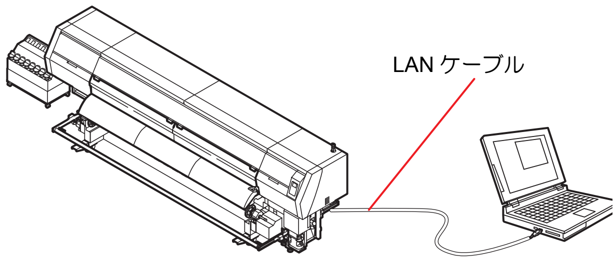
ケーブルを接続する

LAN ケーブルを接続する

LAN ケーブルを接続するときは、以下の注意事項を厳守してください。

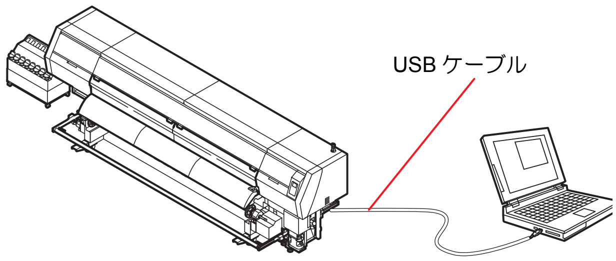
重 要!

- 本機と PC を LAN ケーブルで直接接続してください。
- LAN ケーブルは、カチッと音が出るまで確実に差し込んでください。
- データ転送中は、ケーブルの抜き差しをしないでください。



USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本装置をUSB2.0インターフェイスケーブルで接続します。



注 意

- ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

USB 2.0 インターフェイスについての注意事項

重 要!

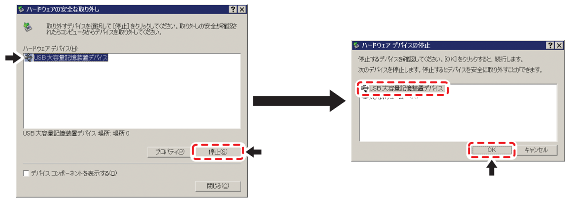
- 本機は LAN ケーブルを接続して使用することを推奨しているため、USB2.0 を接続していると、仕様を満足しないプリントモードがあります。
- ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

● USB ハイスピードモードの周辺機器について

TS500P と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。
外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに TS500P を接続した場合、TS500P へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

● USB メモリの抜きかた

TS500P を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。
[ERROR 201 コマンドエラー] 発生の原因になります。
スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。



電源ケーブルの接続について

本機の設置は、お客様が行うことはできません。電気工事事業者にお任せください。

警 告

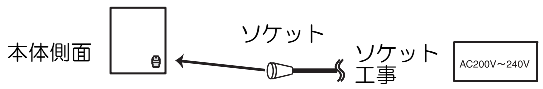
- 本機の電源仕様は、以下のようになります。
  単相 AC200~240V、30A(100V 系では使用できません。)
- 本体への電源供給は、以下の電気工事が必要となります。工事は、電気工事業者に依頼してください。
- ブレーカへのソケット工事
- C 種接地工事 (特別第 3 種接地工事)
- コンセントは必ず本装置の近くにあるようにしてください。また、容易に取り外しが可能な場所に置いてください。
- 本装置の電気工事は、感電事故防止のため、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。
- 誤配線をしないようにご注意ください。火災や感電の恐れがあります。

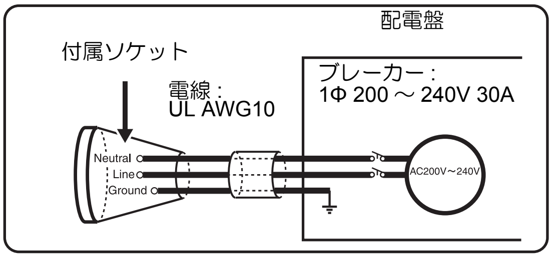
注 意

- 付属の電源ケーブル以外を使用する場合は、下記の電線相当を使用し、下図のように配線してください。
- VCT-5.5m m^2 x3 芯 (600V)
- UL-AWG10x3C (600V)

本機の電源接続は、「プラグ差し込み式 タイプ B」の規定に基づき、IEC60309 規格のプラグを使用しています。
本機の電源ケーブルのプラグに合うソケット工事が必要な場合は、添付のソケットをご利用の上、配電盤とソケットの間の工事を行ってください。

ソケット工事





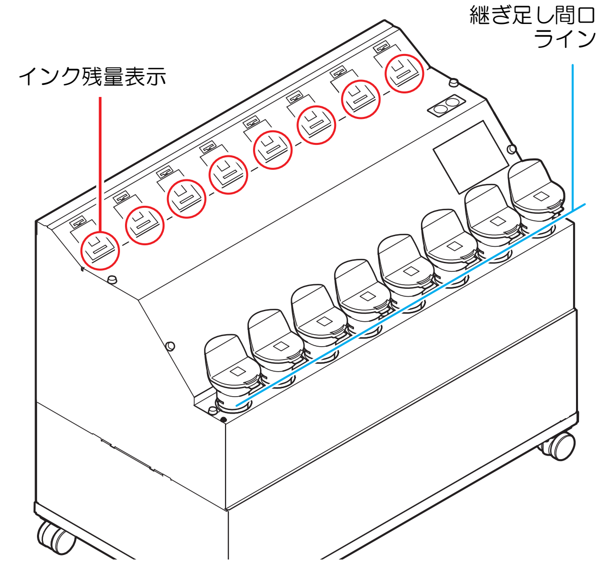
インクの補充とチャージ

本機のインクタンクにインクを補充します。

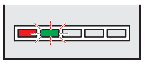
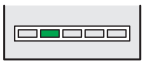
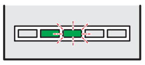
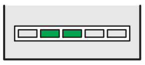
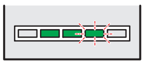
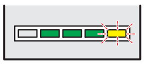
> 注意
> • 必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。

インク継ぎ足しの目安

現在、本機のインクタンクに入っているインク量 (目安) をインクタンクの下にあるインク残量表示で確認できます。
インク残量表示の見方とインク残量については次のようになります。
また、本機が [インクニアエンド] や [インクエンド] の状態になると、ディスプレイでお知らせします。



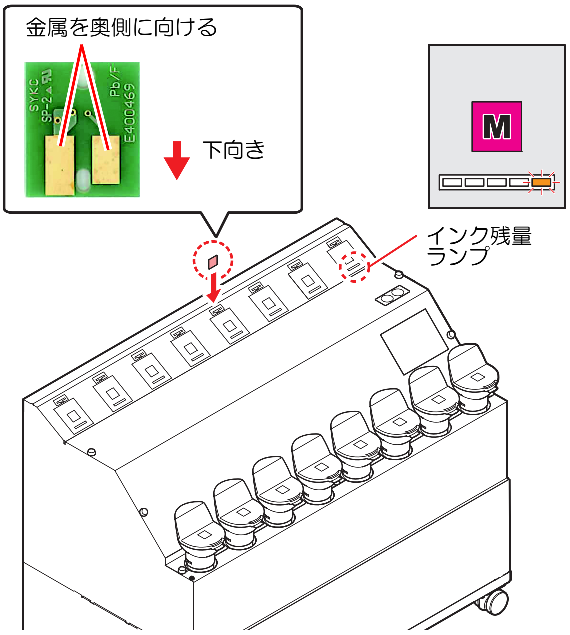
> 注意
> • インク継ぎ足し前の注意事項
> インクを継ぎ足す前に次の事項を確認してください。誤ってインクを継ぎ足してしまうと、インクタンク内のインクを全て廃棄することになります。
> • インクの種類
> • インクの色
> • インクの有効期限
> 継ぎ足しをするインクボトルと本機のインクタンクに入っているインクの両方の有効期限を確認してください。
> 継ぎ足しをするインクボトルの有効期限は、ラベルを確認してください。
> 本機のインクタンク内に残っているインクの有効期限は、[ENTER] キーを押して確認できます。
> (☞ P.3-28)

インク残量表示の状態	インク量の状態とインク残量 *1
	インクエンド / タンクナシ インク残量：300cc 未満
	インクニアエンド / インク残量：400cc 未満 *2
	インク残量：400~1L 未満
	インク残量：1L~1.5L 未満
	インク残量：1.5L~2L 未満
	インク残量：2L~2.5L 未満
	インクフル / インク残量：2.5L~3.2L 未満
	インクオーバー / インク残量：3.2L 以上 *3

*1. インク残量表示はあくまでも目安です。インクの充填は、つぎ足し口から液面を確認することをお勧めします。
*2. 400cc で「インクニアエンド」、300cc で「インクエンド」
*3. 本機にセットされているインクタンクには、最大で 3.6L までインクを継ぎ足すことができますが、インク継ぎ足し間口からインクがこぼれてしまう可能性があります。オレンジのランプが点灯したら、インクの継ぎ足しは行わないでください。

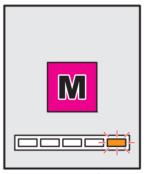
1 2 リットルインクボトルに付属している、IC チップを差し込む

• IC チップを差し込むと、インク残量ランプがオレンジ色に点灯し、ブザーが鳴ります。
• IC チップは金属が付いている方を奥側に向け、金属を下向きにして差し込んでください。間違えて差し込むと、故障や IC チップ 破損の原因となります。
• IC チップ の金属部分には触れないでください。静電気による IC チップ 破損や、汚れ・傷による IC 読み取り不良の原因となります。



2 自動的に IC チップのチャージが始まる

- IC チップ内に記録されているインク量や有効期限などの情報を本機に取り込み、管理します。
- インク残量ランプがオレンジ色に点滅します。

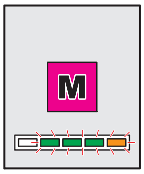


インク残量ランプ

重要!
- インクを補充したときは、必ずチャージを行ってください。本機でインク情報の管理ができなくなります。
- チャージ中は IC チップを抜いたり、本機の電源をオフにしないでください。IC チップ内の情報を正常にチャージできなくなります。

3 チャージが完了したら、IC チップを抜く

- チャージが完了すると、インク残量ランプがオレンジと緑が点滅をし、ブザー音が鳴ります。
- チャージした内容は、ローカルから [ENTER] キーを押して確認できます。



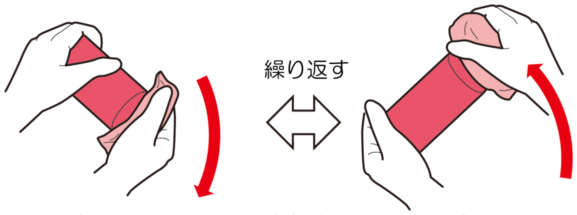
インク残量ランプ

重要!
- チャージが完了したら、必ず IC チップを抜き、廃棄してください。一度チャージをした IC チップは再使用できません。
- ディスプレイにエラーメッセージ " チャージデキマセン " を表示したとき
- 以下の理由でチャージを実行できませんでした。
  (1) IC チップ異常
  (2) 本機で管理しているチャージ残量が 3 リットル以上になっているとき
  (3) インクの有効期限が切れているインクをチャージしようとしている
- エラーの詳細は、ローカルから [ENTER] を押して確認できます。(☞ P.3-28)
- チャージし直したい場合は、メンテナンス機能の「インクチャージ」をして、再度、チャージを行ってください。(☞ P.4-19)

4 インクボトルを取り出し、20 回以上ゆっくりと左右に振る

- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、手袋を着用して紙タオルなどでインクボトルのフタをしめた状態で、ゆっくりとインクを流すように左右に 20 回以上振ります。

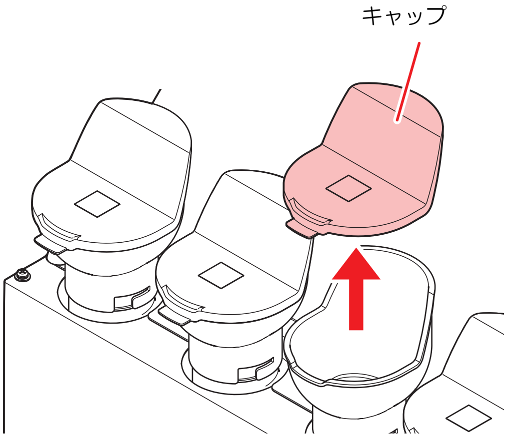
注意
- フタがしっかりと閉まっていることを確認してから振ってください。
- 強く振りすぎるとインク漏れの原因となることがあるため、慎重に行ってください。
- インク残量が少ないと十分にかくはんできない場合があるので、インクボトルが縦になるまで傾けてください。



紙タオルでしっかりと押さえてゆっくり振る

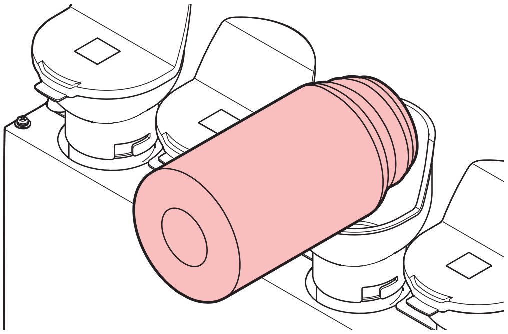
5 インクタンクのキャップを外す

- 手が汚れないようにウェスなどでキャップを包んでから取り外してください。

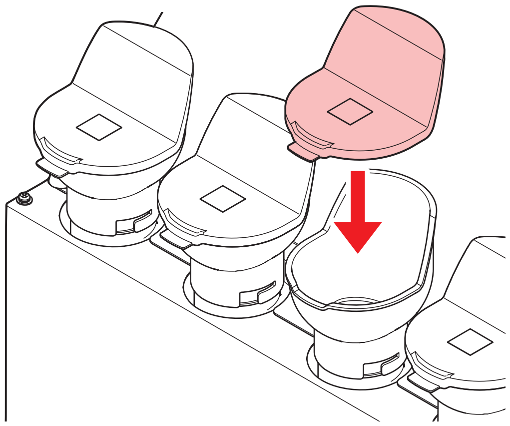


6 インク残量表示を確認しながら、インクを充填する

- インクの種類によっては、ボトルの天面にアルミシートが貼り付いています。この場合は、カッターなどを使って取り除いてください。
- インクタンクの上にあるインク残量ランプを確認しながらインクを充填してください。詳しくは、P.1-10「インク継ぎ足しの目安」を参照してください。



7 インクタンクのキャップを確実に取り付ける



重要!
- キャップは確実に取り付けてください。

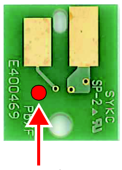
1

IC チップについて

- IC チップには、インクカラーやインク残量・使用期限などの情報が書き込まれています。
  インクを補充するときは、インクボトルと一緒に梱包されているICチップをICチップ挿入口に差し込んでください。
- インクボトルと対になっていない IC チップをセットすると、インクが使用できなくなります。
- IC チップにはカラー情報を表すマークが貼られています。

インクカラー	表示マーク
ブラック	●（黒丸がひとつ）
ブルー	●●（赤丸と青丸がひとつずつ）
マゼンタ	●（赤丸がひとつ）
イエロー	●（黄丸がひとつ）

IC チップ



マーク表示場所

[インクニアエンド] が表示されたとき

インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクの補充をすることをお勧めします。ローカルで [ENTER] キーを押すと、補充対象のインクタンクをローカルガイダンスで確認できます。（☞ P.3-28）

[インクエンド] が表示されたとき

インクエンド (残量なし) の場合、プリントをすることができなくなります。インクを補充してください。

インク使用期限について

インクには使用期限があります。
インクボトルに記載してある期限の翌々月までは使用可能ですが、3 か月後になった時点で使用できなくなりますので、使用期限が切れたインクは早めに使い切るようにしてください。
インクの使用期限切れについては、インク残量ランプの赤色点灯状態および、ディスプレイに表示してお知らせします。

例) 消費期限の記載が 2015 年 9 月の場合

10 月 ： 使用可能
(ディスプレイに“インクキゲンギレ”を表示)

11 月 ： 使用可能
(ディスプレイに“キゲンギレ(IM)”を表示し、インクボトルランプが赤色点滅)

12 月 ： 使用不可
(ディスプレイに “ キゲンギレ (2M)” を表示し、インクボトルランプが赤色早点滅)

- ローカルで [ENTER] キーを押すと、インクの使用期限をローカルガイダンスで確認できます。(☞ P.3-28)

重要!

- ディスプレイに “ キゲン ギレ (2M)” と表示されインクの使用ができなくなると、プリントやクリーニング動作および IC チップへのチャージ (☞ P.1-11) ができなくなります。
  その場合、インクタンク内のインクは廃棄 (☞ P.4-25) し、新しいインクを補充してください。(☞ P.1-10)

ローカル画面で “ インクチャージ ” と表示されたとき

以下の理由でオートチャージができなかった場合、ディスプレイにワーニングメッセージ “ インクチャージ ” を表示してお知らせします。

- 挿入した IC チップの期限が切れている
  (“ キゲンギレ (2M)” を除く)
- チャージ対象のインクボトルの期限が切れている
  (“ キゲンギレ (2M)” を除く)

メッセージが表示されたらインク期限を確認してから、[MAINTE] キーを押し、メンテナンス機能の「インクチャージ」(☞ P.4-19) を参照してインクチャージをしてください。

インクボトル取り扱い上のご注意

- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、３時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- インクボトルは冷暗所で保存してください。
- インクボトルは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 空になったインクボトルは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。
- インクボトルは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。
- インクボトルを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、ボトルからインクがもれることがあります。
- IC チップの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

機種名		TS500P-3200
推奨メディアの種類		転写紙
最大幅		3300mm
最小幅		210mm
最大プリント範囲		3290mm
ロールメディア	厚さ	0.2mm 以下
	ロール外径	Φ300mm 以下
	ロール重量 *1	巻取装置と繰出装置使用時 :130kg 以下 ロールホルダー使用時 :18kg 以下
	紙管内径	繰出装置使用時 :3 インチ ロールホルダー使用時 :2 または 3 インチ
	プリント面	ロール外側面
	巻き終り処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着

*1. ロールメディアの左右を保持したときに、ロールにタワミが無い場合。

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

重要!

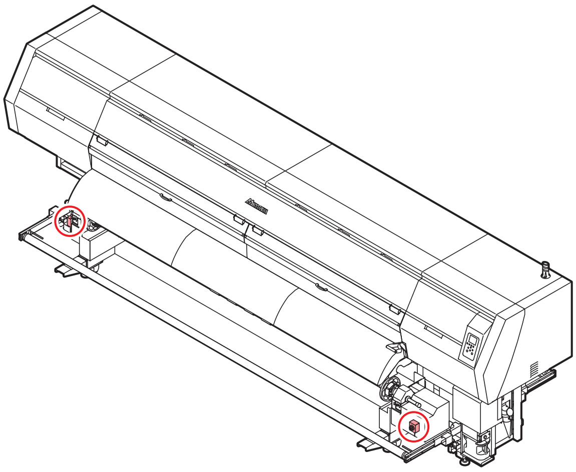
- **メディアを扱うときは、手袋を着用してください。**
  素手でメディアに触れると、指紋や手の脂などでメディアが汚れるので注意してください。
- **メディアをセットしたまま、ヒーターオン状態で長時間放置しないでください。**
  メディアが波打ち、メディア詰まりの原因になります。
- **推奨メディアをご使用ください。**
  安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- **メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。**
  メディアの種類や特性に合わせて、プリントヒーターおよびポストヒーター①・②の温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。
- **メディアの伸縮にご注意ください。**
  包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する環境で 1 日以上さらしてから装置に取り付けてください。
- **カールしたメディアは使用しないでください。**
  紙詰まりの原因になります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
- **メディアのフチのホコリにご注意ください。**
  ロールによっては、包装に含まれるホコリがロール端面に溜まっていることがあります。そのままお使いになると、ノズル抜けやインクのボタ落ちなどによるプリント品質劣化の原因となりますので、ロール端面についたホコリを取り除いてからセットしてください。
- **メディア保管場所の湿度にご注意ください。**
  メディアの特性上、メディアを保管している場所の湿度により、メディアの貼り付きなどが発生します。本機の使用環境およびメディアの保管環境は P.6-2「本体仕様」の設置環境で規定されている内容に準じてください。

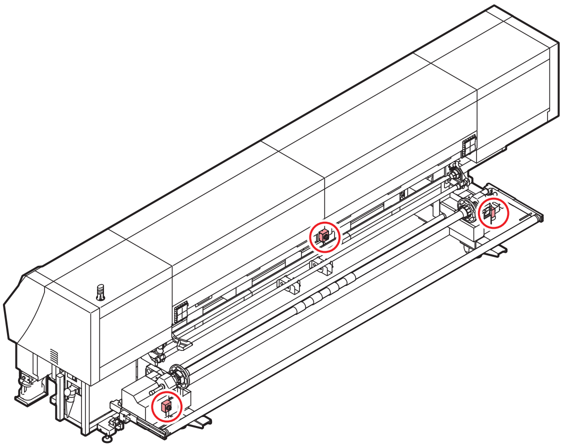
緊急停止スイッチについて

本機を使用していて、手や髪の毛が巻き込まれるなど、危険を感じたときに“緊急停止スイッチ”を押してください。

緊急停止スイッチの位置

緊急停止スイッチは下図の位置に付いています。
危険を感じたときは、近くにあるスイッチを押してください。





危険を感じたときは

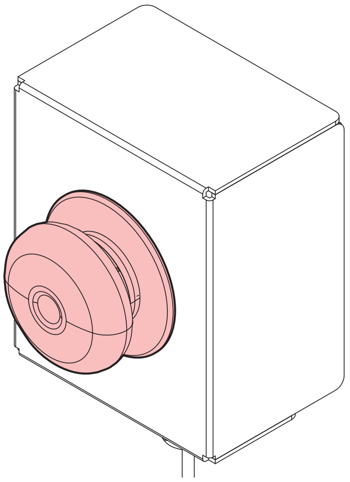
1 緊急停止スイッチを押す

- ブザー音が鳴り、本機が緊急停止したことをお知らせします。
- ディスプレイには、次のメッセージが表示されます。

2 緊急停止スイッチを押した原因を取り除き、安全を確認する

3 緊急停止状態を解除する

- 緊急停止スイッチを回す、または手前に引くことによって、緊急停止状態は解除されます。



重要!
- フロントカバーなどのカバー類が空いているときは、カバーを閉めてください。
本機がローカルに戻らなくなります。

第２章
基本的な使い方

この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ 2-2
電源を入れる / 切る 2-3
　電源を入れる 2-3
　電源を切る 2-3
メディアをセットする 2-4
　ヘッドギャップを設定する 2-4
　メディアセットに関するご注意 2-4
　ロールメディアをセットする 2-5
　リーフメディアをセットする 2-15
　原点を変更する場合は 2-16
ヒーターの準備をする 2-17
　ヒーターの温度設定を変更する 2-17
テストプリントをする 2-17
　テストプリントを行う 2-18
ヘッドクリーニング 2-18
　ヘッドクリーニングについて 2-18
　テストプリントの結果に合わせて
　ヘッドクリーニングを行う 2-18
フィード補正の設定をする 2-19
　フィード補正の設定 2-19
双方向プリントのドット位置を調整する 2-20
データをプリントする 2-21
　プリントを開始する 2-21
　プリントを中止する 2-21
　受信したデータを消去する
　(データクリア) 2-21
　プリント完了後の動作 2-21
　メディアをカットする 2-22

作業の流れ

電源を入れる / 切る	「電源を入れる / 切る」(☞ P.2-3) を参照してください。
メディアをセットする	「メディアをセットする」(☞ P.2-4) を参照してください。
ヒーターの準備をする	「ヒーターの準備をする」(☞ P.2-17) を参照してください。
テストプリントをする	「テストプリントをする」(☞ P.2-17) を参照してください。
ヘッドクリーニング	「ヘッドクリーニング」(☞ P.2-18) を参照してください。
フィード補正の設定を する	「フィード補正の設定を する」(☞ P.2-19)を参照してください。
双方向プリントのドット位置を調整する	「双方向プリントのドット位置を調整する」(☞ P.2-20) を参照してください。
データをプリントする	「データをプリントする」(☞ P.2-21) を参照してください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

本装置には、2 つの電源スイッチがあります。

主電源スイッチ :

本装置の側面にあります。常時「オン」にしておいてください。

[END/POWER] キー :

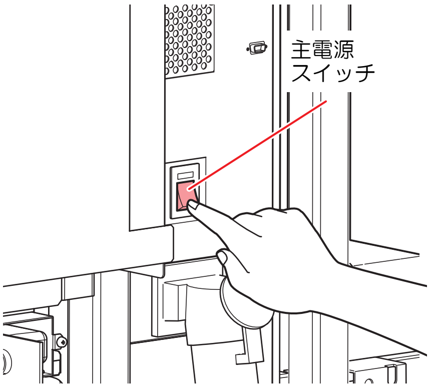
通常、電源のオン / オフをするときはこのキーを使用します。

[END/POWER] キーがオフでも、主電源スイッチがオンになっていれば、定期的に電源が自動的に入り、ノズル詰まり防止機能が動作します。

重 要 !
- フロントカバー / メンテナンスカバーを閉じてから電源を入れてください。

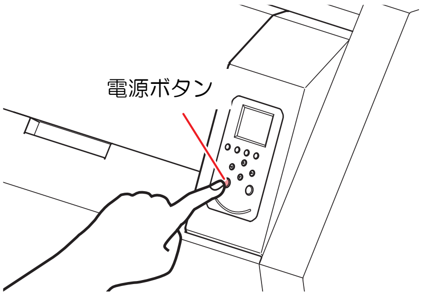
1 主電源スイッチを入れる

- 装置側面にある主電源スイッチを「I」側に倒します。



2 END/POWER キーを押して、電源を入れる

- ローカルになります。



- 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示し、初期動作を実行します。

3 ローカルになる

4 接続しているコンピュータの電源をオンにする

- 主電源スイッチは通常オンにしておいてください。主電源スイッチをオフにしたまま放置すると、ヘッドのノズルが目詰まりを起こす原因になります。症状によっては、復旧が困難になる場合があります。

電源を切る

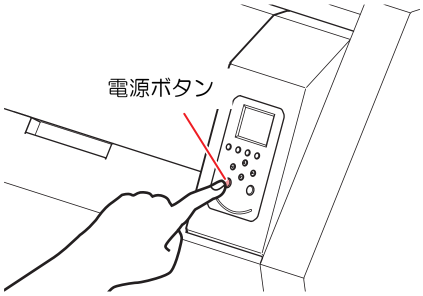
プリンタの使用が終了したら、装置前面にある電源ボタンを押して電源をオフにします。

電源を切るときは、次のことを確認してください。
- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。（☞ P.5-13 エラーメッセージ）

1 接続してあるコンピュータの電源をオフにする

2 END/POWER キーを長押しして、電源を切る

- 装置側面にある主電源スイッチは、切らないでください。
- 次に、本装置をご使用になるときは、[END/POWER] キーを押してからお使いください。



電源を切るときのご注意

● **主電源スイッチは切らないでください。**

主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能（フラッシング機能）が働きます。

主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

● **カバー類は閉めた状態にしてください。**

● **ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。**

ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。

このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

● **プリント中は電源を切らないでください。**

ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。

● **[END/POWER] キーで電源を切ってから、主電源スイッチを切ってください。**

装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある [END/POWER] キーを長押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

メディアをセットする

本機では、ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。
使用できるメディアについては、P.1-13 使用可能メディアサイズを参照してください。

ヘッドギャップを設定する

ヘッドギャップ(メディアからヘッドノズル面までの高さ) を設定します。
プリント時やメンテナンス機能などでヘッドがプラテン上へ移動する動作が行われる際に、設定されているヘッドギャップ位置に移動します。
ヘッドギャップの上限は、メディア厚により変化します。
設定値 : [1.5 ㎜～ 7.0 ㎜] (0.1 ㎜単位 / 初期値 : 2.0 ㎜)

1 ローカルで (SEL) キーを押し、(FUNC1) **(MEDIA)** を押す

- メディア設定メニューを表示します。

2 (▲)(▼)を押して“ヘッドギャップ”を選び、(ENTER)キーを押す

3 (▲)(▼)を押してヘッドギャップ値を設定し、(ENTER)キーを押す

- 設定値：1.5 ～ 7.0mm

4 (ENTER) キーを押す

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

重 要!

- ヘッドギャップ値は使用するメディアが変わるたびに変更する必要があります。
- 本機では使用するメディアに合わせてあらかじめプリント条件 (設定 1 ～ 4) を登録しておくことができます (☞ P.3-5)。
  設定 1 ～ 4 の中でヘッドギャップ値を登録しておけば、メディアを変えるたびにヘッドギャップ値の設定をする必要がなくなります。

ヘッドギャップ値を確認する

現在設定されているヘッドギャップ値を確認したいときは、次の操作をしてください。

1 ローカルで、(ENTER) キーを押す

2 (ENTER) キーを数回押して、[ヘッドギャップ] を表示させる

- 現在設定されているヘッドギャップ値が表示されます。

メディアセットに関するご注意

メディアをセットする際は、次の注意事項を良くご理解ください。

注 意

- ロールメディアをセットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みで怪我をすることがあります。
- ロールメディアをセットする場合は、2 人以上でセットしてください。ロールメディアの重みでコシを傷める可能性があります。
- 次のようなときは、必ずテンションバーをテンションバー固定板に固定してください。テンションバー固定板に固定していない状態で次のような作業を行うと、メディアに支えられていたテンションバーが落下し、大変危険です。
  (1) クランプレバーを上げるとき
  (2) 手動でメディアカットをするとき
  (3) お手持ちの工具 (カッターやハサミなど) を使って、メディアをカットするとき

重 要!

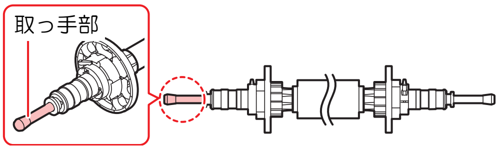
- 次のようなときは、正しいメディア検出ができない場合があります。
- 透明なメディアをセットしたとき / メディアに直射日光が当たっているとき
- プリント済みのメディアは使用しないでください。インクがピンチローラーに付着し、メディアが汚れたり、メディアを検出できなくなる場合があります。
- カールがきついメディアや内巻きのメディアは、メディアがプラテンに沿うように、巻きくせをなおしてからご使用ください。
- メディアをセットしたまま放置すると、プリントヒーターの熱でメディアに凹凸が発生します。この状態で作図すると、ヘッドがメディアをこする原因になります。メディアに凹凸が発生したら、凹凸部分に作図しないよう [▼] キーでメディアをフィードして、原点を設定し直してください。(☞ P.2-16)
- メディアは、本体の右側を基準にセットしてください。
- メディア巻き取り用の紙管は、定期的に交換してください。右図のように長期間の使用により内側が削れているような紙管を使用すると、メディアの巻き取りが正常に行えない場合があります。

ロールメディアをセットする

最初に、メディア巻取装置の準備をする

ロールメディアをセットする前に、巻取装置の準備を行ってください。

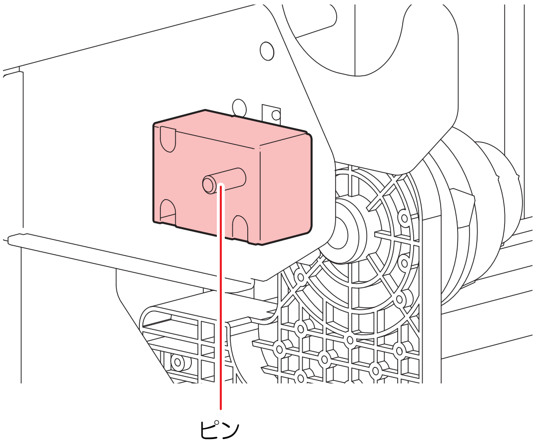
- ロールシャフトはメディアの重量も含めると、とても重くなるため、取り扱いには十分ご注意ください。また、事故やケガ等を防ぐため、ロールシャフトを持つときは、必ず両端の取っ手部を持ってください。



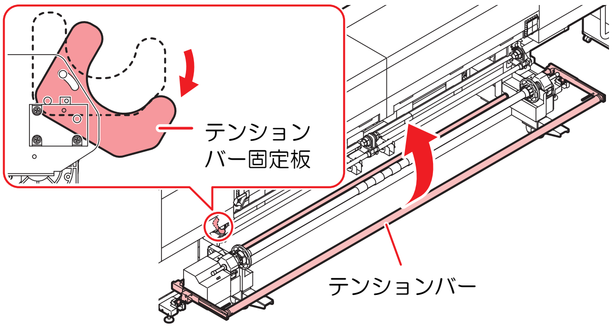
1 装置前面と背面のテンションバーをテンションバー固定板で固定する

- テンションバー固定板は装置前面の右側と、装置背面の左側にあります。

(1) テンションバー固定板の外側に付いているピンを引っぱり、ロックを解除する

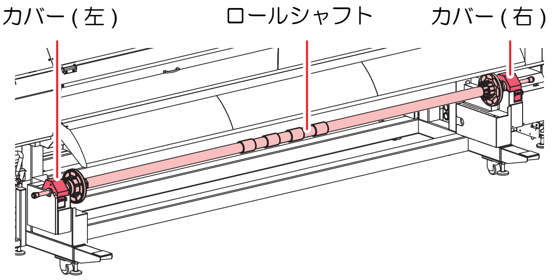


(2) テンションバーを持ち上げ、テンションバー固定板を使って固定する

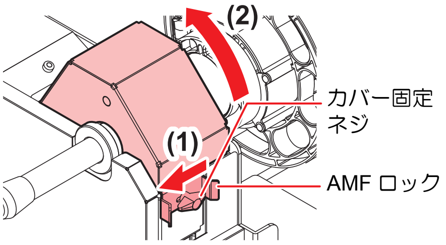


- テンションバーはテンションバー固定板よりも外側の部分を持って操作してください。ほかの箇所を持つと、手を挟む可能性があり、危険です。

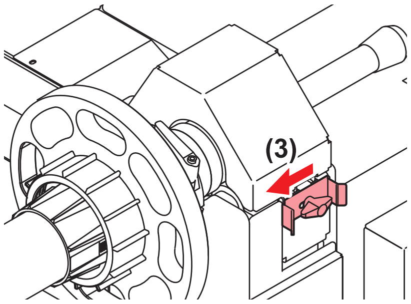
2 装置前面のメディア巻取装置にセットされているロールシャフトを取り外す

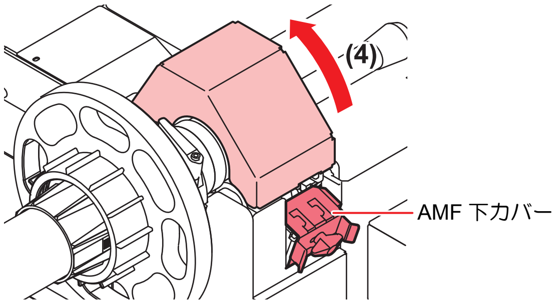


(1) 巻取装置の左のカバーに付いているカバー固定ネジを緩め、AMF ロックをスライドしてロックを解除する
(2) カバーを開ける



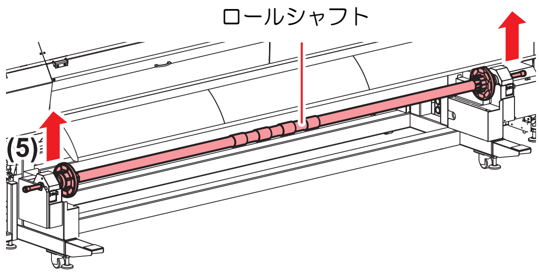
(3) 巻取装置の右のカバーに付いているカバー固定ネジを緩め、AMF ロックをスライドしてロックを解除する
(4) カバーを開ける





- AMF ロックを外すと下カバーがさがります。

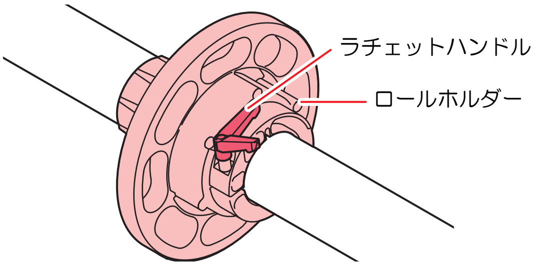
(5) ロールシャフトを取り外す



3　ロールホルダーを外す

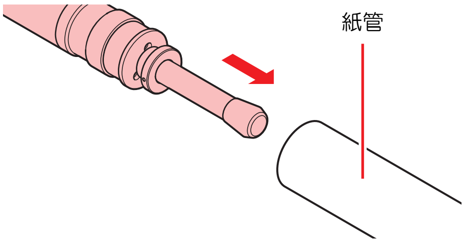
• ロールホルダーは、左右両方にあります。左右両方とも、下の手順で外してください。

(1) 付属のラチェットハンドルでネジ (左右 1 本ずつ) をゆるめる
(2) ロールホルダーを取り外す



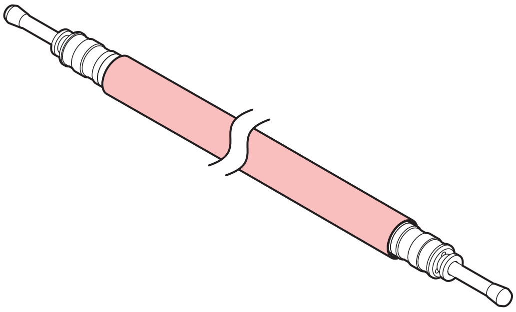
4　紙管を取り付ける

(1) ロールシャフトを紙管に通す

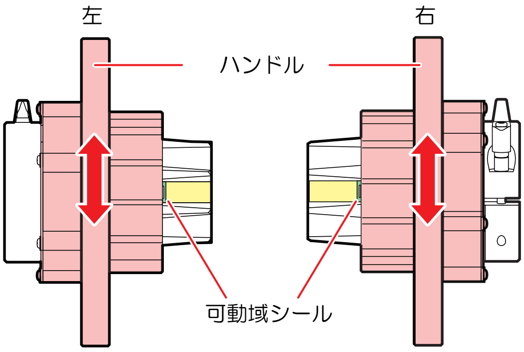


重 要！　• 紙管とロールシャフトの間に手を挟まないよう注意してください。

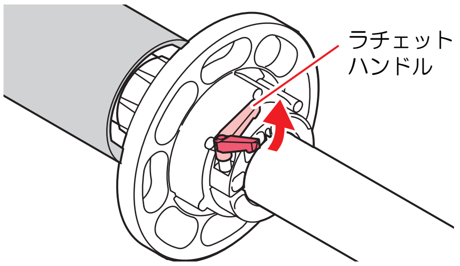
(2) 紙管がロールシャフトの中央に来るように調整する



(3) 左右のロールホルダーのハンドルを回して、可動域シールの緑地部分の一番内側に合わせる



(4) 左右のロールホルダーを紙管に押し込み、付属のラチェットハンドルでネジを締め、固定する

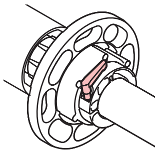


重 要！　**ロールホルダーを固定するときは、固定ネジのレバーを持ち上げないでください。**

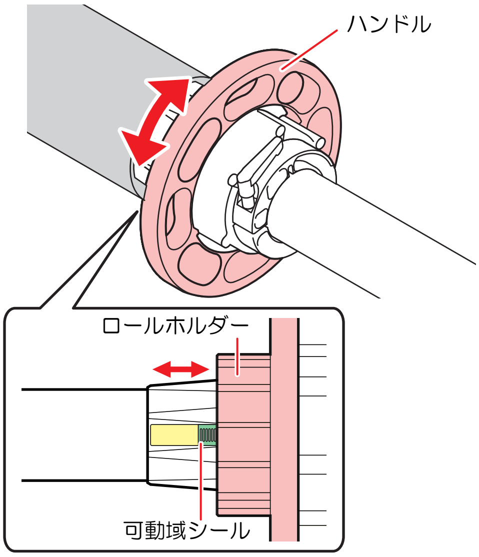
• 固定ネジ全体を上に上げるとネジが空転し、固定することができません。

固定するときのラチェットハンドルの向きに注意してください。

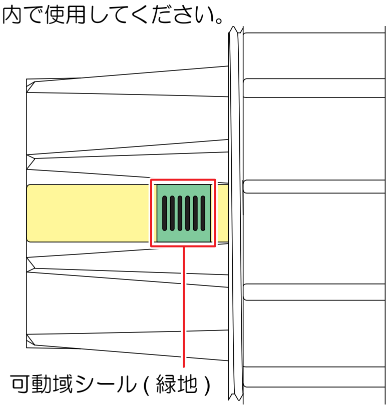
• ラチェットハンドルが横向きになっていると、本機が動作中にラチェットハンドルがロールシャフトに当たり、スムーズに回転しなくなることがあります。
ラチェットハンドルをロールホルダーに沿わせるようにしてください。



(5) 巻取ロールホルダーのハンドルを回して、紙管をきつく固定する

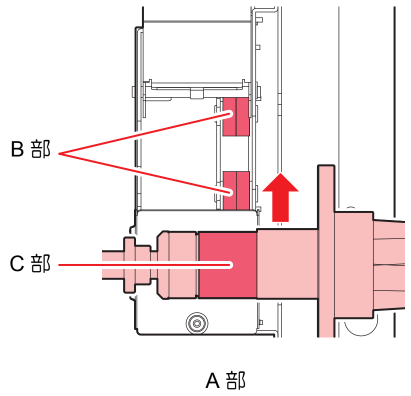


重 要！　• メディアを巻き取っている途中で紙管が空回りしないように、紙管をきつく固定してください。
• 紙管を固定するときは、必ず " 可動域シール " の範囲内で使用してください。



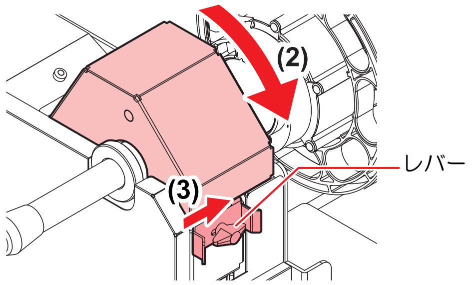
5 紙管をセットしたロールシャフトをメディア巻取装置にセットし、左右のカバーを閉める

(1) ロールシャフトの A 部を装置 B 部のベアリングに合わせるようにしてセットする

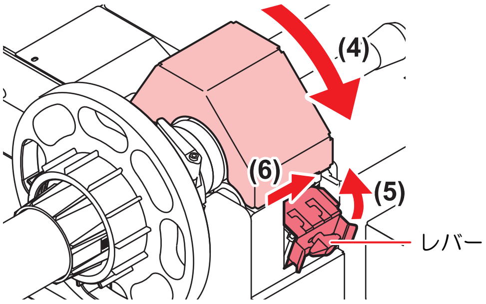


注意
- C 部を近くのフレームなどに当てないよう、慎重にセットしてください。傷を付けると、動作不良の原因になります。

(2) 左のカバーを閉める
(3) レバーをスライドさせてロックする



(4) 右のカバーを閉める
(5) AMF 下カバーを持ち上げる
(6) レバーをスライドさせてロックする



注意
- シャフトをセットするときは、勢いよく落とさずに静かに置いてください。

ロールメディアをセットする

装置背面にあるメディア繰出装置にロールメディアをセットします。
ロールメディアをセットするときは、マシン設定の繰出ユニットと巻取ユニットの設定を “ON” に設定してください。

注意
- ロールメディアセットするときは、メディアを足などに落とさないよう注意してください。
- クランプレバーの操作は、慎重に行ってください。
テンションバーを上げたときにレバーを上げると大変危険です。必ずテンションバーをテンションバー固定板に固定してから、レバーを操作してください。

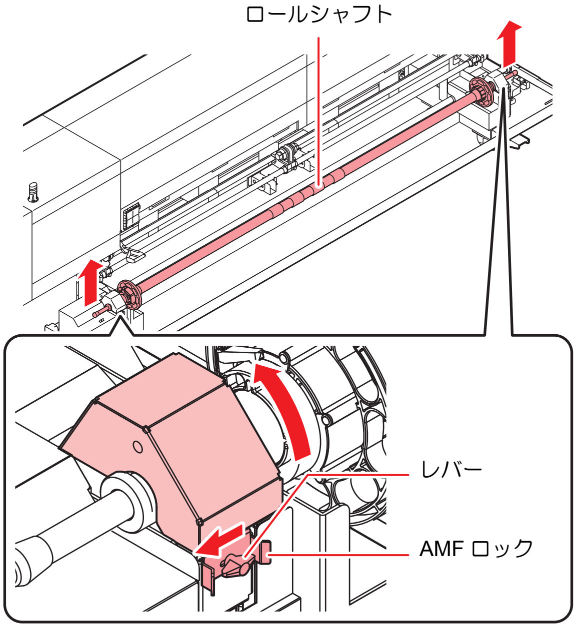
重要！
- メディア巻取装置をお使いになる場合は、次のことに注意してください。
- 繰り出し側は、プリント面が “ 外巻き ”(外表) となるようにセットする。
- 巻き取り側は、プリント面が “ 内巻き ” となるようにセットする。(外巻きになるようにセットすると、メディア搬送に悪影響を及ぼすことがあります。)

1 マシン設定の「繰出しユニットの設定」、「巻取りユニットの設定」でそれぞれの設定を “ON” にする (☞ P.3-18,P.3-19)

重要！
- 小幅ロールホルダーにメディアがセットされている場合は、メディアを取り外してください。また、小幅ロールホルダーは、装置の両端に移動させておいてください。
メディア搬送不良の原因になります。

2 装置背面のメディア繰出装置にセットされているロールシャフトを取り外す

(1) メディア繰出装置左右のカバーに付いているレバーを下ろし、ロックを解除する
(2) カバーを開ける
(3) ロールシャフトを取り外す



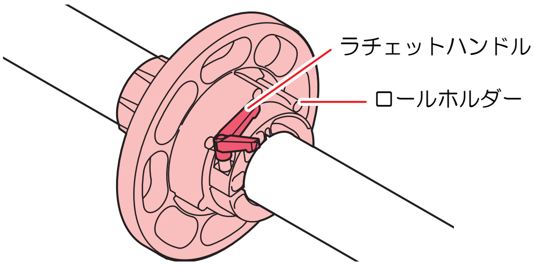
注意
- ロールシャフトを持つときは、必ず両端の取っ手部を持ってください。他の部分を持つと、指が挟まれる恐れがあります。

- ロールシャフトを本装置から取り外して紙管やメディアをセットするときは、ホコリ等の付着を防ぐため､台やシートの上などで作業してください｡紙管やメディアにホコリ等が付くと、プリントの不具合の原因になります。

3 ロールホルダーを外す

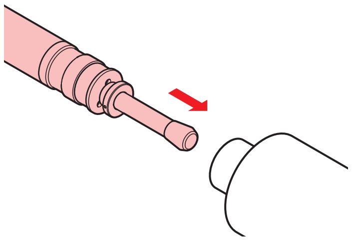
- ロールホルダーは、左右両方にあります。左右両方とも、下の手順で外してください。

(1) 付属のラチェットハンドルでネジ (左右 1 本ずつ) をゆるめる
(2) ロールホルダーを取り外す



4 ロールシャフトにメディアをセットする

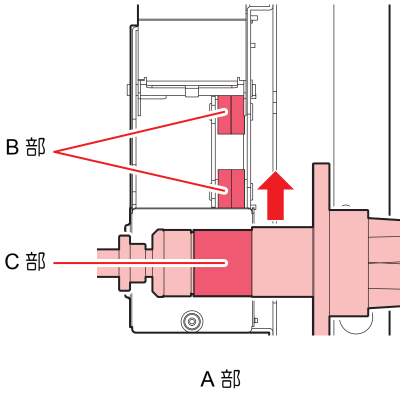
(1) ロールシャフトをメディアの紙管に通す
- 紙管がロールシャフトの中央に来るよう位置を調整する必要があります。メディアセットラベルの目盛りと紙管の中央位置を合わせるようにして、メディアをセットてください。



重要!
- 紙管とロールシャフトの間に手を挟まないよう注意してください。

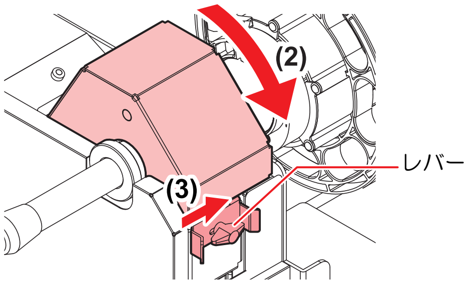
5 メディアをセットしたロールシャフトをメディア繰出装置にセットする

(1) ロールシャフトの A 部を装置 B 部のベアリングに合わせるようにしてセットする



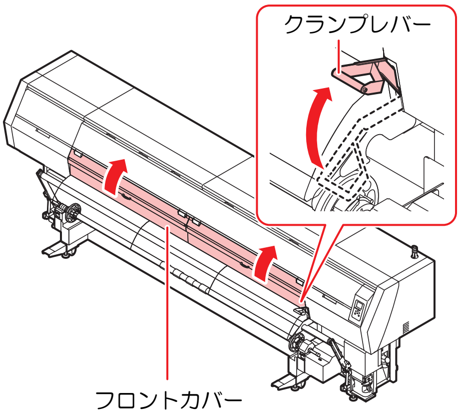
注意
- C 部を近くのフレームなどに当てないよう、慎重にセットしてください。傷を付けると、動作不良の原因になります。

(2) カバーを閉める
(3) レバーをスライドさせてロックする



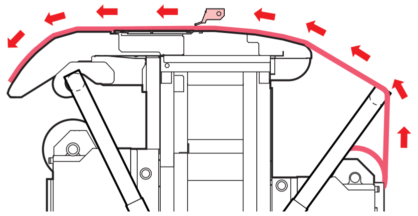
注意
- シャフトをセットするときは、勢いよく落とさずに静かに置いてください。

6 装置前面からフロントカバーを開け、クランプレバーを上げる



7 装置背面から、メディアを前面に送る

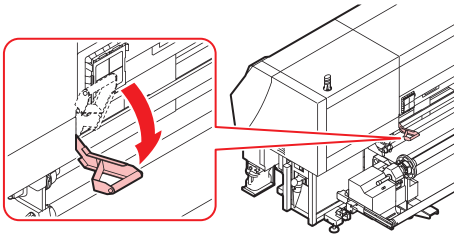
- ロールメディアをプラテンとピンチローラーの間に差し込み､装置の前面までメディアを送ります｡
- このとき、十分な長さのメディアを装置の前面に送り出しておいてください。



注意
- メディアをセットするときは、プラテン後部側にあるメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。

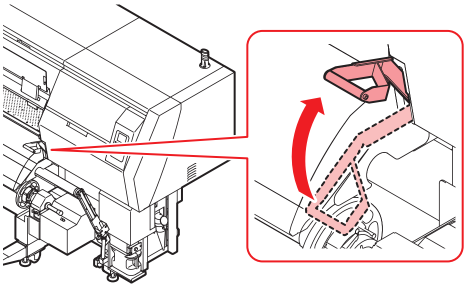
8 装置背面からクランプレバーを下げる

- メディアを仮ロックします。



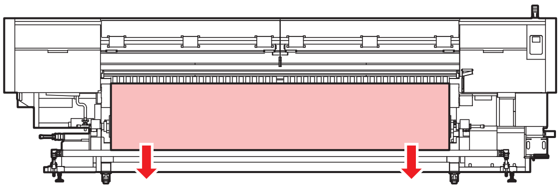
9 装置前面に回り、クランプレバーを上げる

- メディアの仮ロックが解除されます。



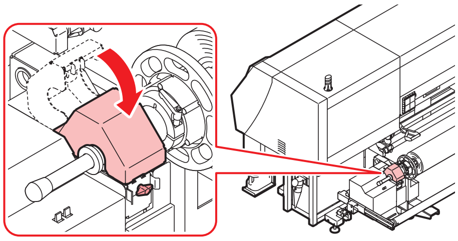
10 メディアを引き出す

- メディアの両端を持ち、メディアの先端が床よりも 50cm くらい長く出るように引き出します。
- まっすぐセットするため、メディアを長めに引き出す必要があります。



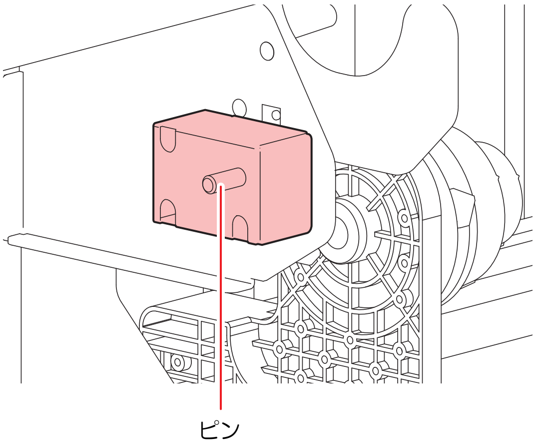
11 装置背面に回り、メディア繰出装置の左右のカバーを閉める

- カバーを閉め、ロックします。

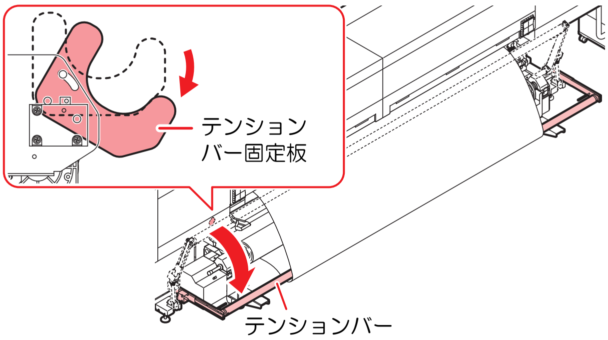


12 背面のテンションバーをストッパーまでゆっくり下ろし、メディアを張る

(1) テンションバー固定板の外側に付いているピンを引っぱり、ロックを解除する



(2) テンションバー固定板を外してから、テンションバー下ろす



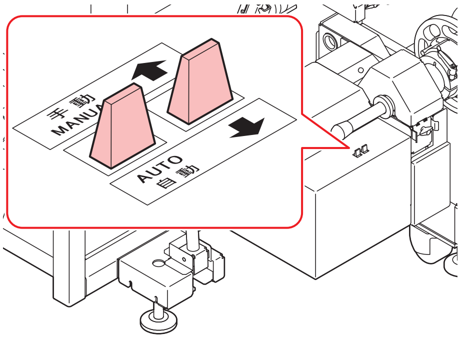
注 意

- テンションバーはテンションバー固定板よりも外側の部分を持って操作してください。ほかの箇所を持つと、手を挟む可能性があり、危険です。

13 クランプレバーを下げる

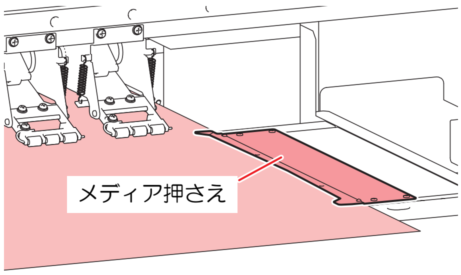
14 メディア繰出装置の左側にあるスイッチでテンションバーの位置を調整する

(1) ↑↓のスイッチをメディアの巻取方向にセットする
(2) 左側のスイッチを [手動 /MANUAL] にする
(3) メディアを巻き取りながら、テンションバーが上がります。このとき、メディアが繰り出され、テンションバーが上がらない場合は、↑↓のスイッチを切り替えてください。
(4) テンションバーアームが床とほぼ平行になったら、左のスイッチを [AUTO] にして、テンションバーを止める
(5) ↑↓のスイッチを、メディアを繰り出す方向に切り替える



15 メディア押さえでメディアを軽くはさむ

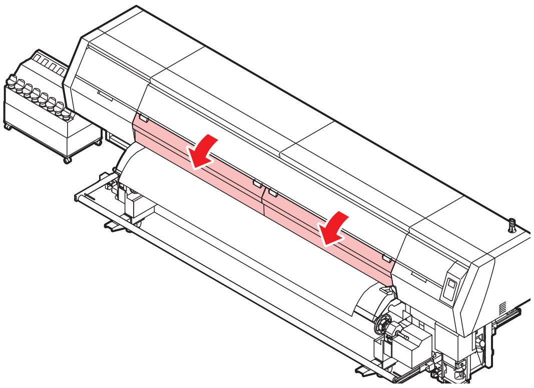
- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。



注意

- メディアが右に寄りすぎていると、メディア検出後、警告メッセージ " メディア位置が右すぎます " を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

16 フロントカバーを閉じる

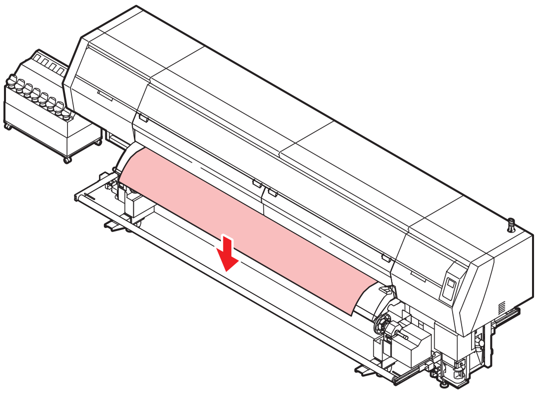


17 [◀]を押して、" ロール " を選択する

- メディアの幅と厚みを検出します。
- メディア厚さを検出できなかったときは、エラーが表示されます。P.2-11「メディアの厚さを検出できなかった場合」を参照して、メディア厚さを入力してください。
- マシン設定の「メディア残量表示」と「メディア検出」の設定をそれぞれ "ON"・"MANUAL" にしている場合 (☞ P.3-19、P.3-20)、メディア幅の検出後メディア厚さと残量の入力画面を表示します。(☞ P.2-11)

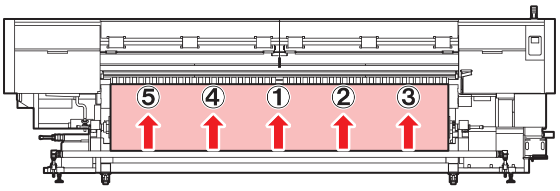
18 メディア巻取装置にメディアを固定する

(1) [▼] を押して、巻き取り装置の紙管に届くまでメディアをフィードする



(2) 図のようにして、プリント面が内巻きになるように紙管にメディアをテープ固定する

- メディアがシワにならないよう、メディアを紙管に沿わせながら、図の順番に複数箇所をテープで固定してください。



- メディアのたるみやシワはプリント中の画質に影響を与えます。
  メディアをテープ固定するときは、図の矢印の方向へメディアを沿わせながら行ってください。
- テープ固定するときにメディアを引っ張りすぎると、メディアの張りが均一にならないためメディアの搬送に悪影響を及ぼすことがあります。

19 [▲][▼]を押して、メディアをたるませる

- メディアが床に着くくらいまでたるませます。

20 メディア巻取装置のスイッチを使って、紙管にメディアを軽く 1 周ほど巻きつける

(1) 左のスイッチを [MANUAL]、右の↑↓スイッチをメディアを巻き取る方向にして、メディアを巻きつける

(2) メディアが張る直前で、左のスイッチを [AUTO] にして巻きつけを止める

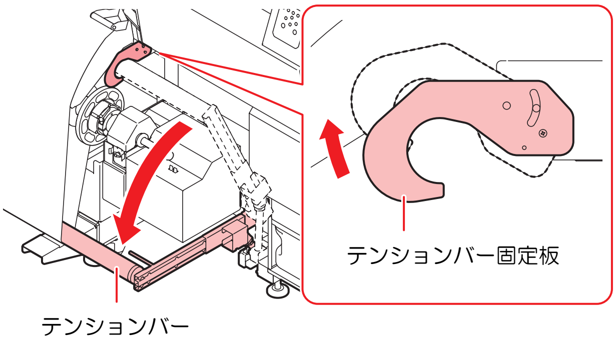
- メディアを巻きつけすぎると、巻取装置の左右のカバーが開き、操作パネルに「カバーオープン」のエラーが表示されます。この場合は巻取装置の右のカバーを開けて、メディアの張りをゆるめるようにほぐします。

21 再度ジョグキー[▲][▼]を押して、メディアをたるませる

- メディアが床に着くくらいまでたるませます。

22 装置前面のテンションバーをゆっくり下ろす

- テンションバーは、テンションバー固定板を外してから下ろしてください。



23 [▲][▼]を押してテンションバーを上げ、たるんだメディアを張る

- スイッチは[AUTO]にしておいてください。メディアを巻き取りながらテンションバーが上がり、適切な位置で自動的に止まります。

- [▲][▼] を押してもテンションバーが上がらない場合は、スイッチを操作してたるんだメディアを張ります。
  - **(1)** ↑↓のスイッチをメディアの巻き取り方向にセットして、スイッチを [手動 /MANUAL] にする (テンションバーが上がります)
    - このとき、メディアが繰り出され、テンションバーが上がらない場合は、↑↓のスイッチを切り替えてください。
  - **(2)** テンションバーアームが床とほぼ平行になったら、スイッチを [自動 /AUTO] にして、テンションバーを止める
  - **(3)** ↑↓のスイッチをメディアを巻き取る方向にセットする
- 巻取装置とキャリッジの間のメディアにはプリントできません。

メディアの厚さを検出できなかった場合

お使いのメディアによっては、厚さが正しく検出できない場合があります。
その際は、マニュアルでメディアの厚さを入力する必要があります。

1 エラーが表示され、キャリッジがステーションに戻る

2 [▲][▼]を押して、メディアの厚さ **(0.0 ～ 1.0mm)** を入力する

3 [ENTER]キーを押す

- メディア選択画面が表示されます。

4 [◀][▶]を押して、“ロール”または“リーフ”を選ぶ

- メディア幅を検出します。
- 手順 2 で [END/POWER] キーを押した場合は、メディア厚さの検出も行われます。

メディア厚さと残量の入力について

マシン設定の「メディア残量表示」と「メディア検出 / 厚さ」の設定をそれぞれ “ON”・“MANUAL” にしている場合 (☞ P.3-19、P.3-20)、メディア幅の検出が終了すると、メディアの厚さと残量の入力画面が表示されます。

1 メディア検出が終了すると、メディア厚さ入力画面を表示する

- マシン設定の「メディア検出 / 厚さの設定をする」を ”AUTO” にしている場合、この画面は表示されません。(☞ P.3-20)

2 [▲][▼]を押して、メディアの厚さ **(0.1 ～ 1.0mm)** を入力する

3 [ENTER]キーを押す

4 メディア残量入力画面を表示する

- マシン設定の「メディア残量表示の設定」を ”OFF” にしている場合、この画面は表示されません。(☞ P.3-19)

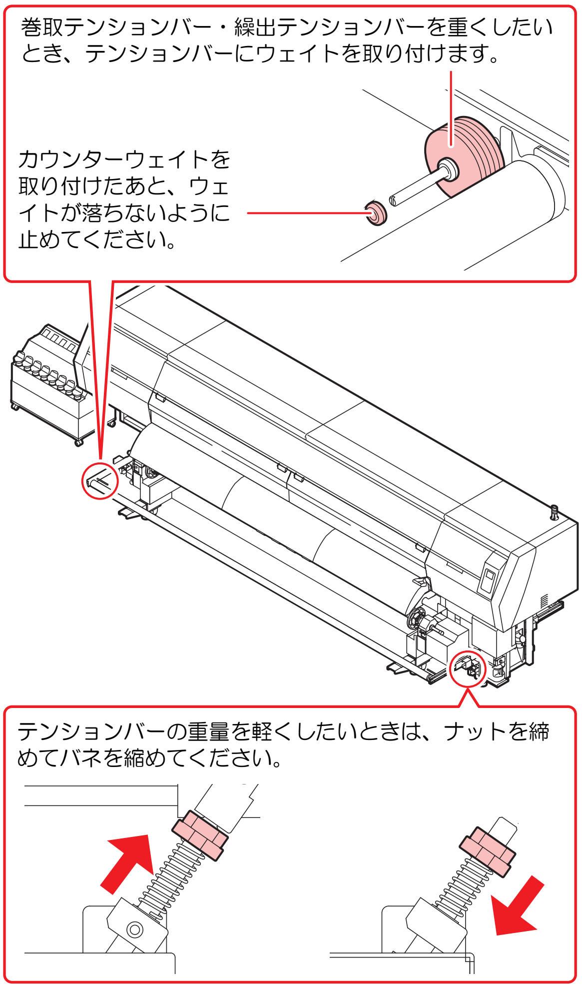
5 [▲][▼]を押して、メディア残量を入力する

6 [ENTER]キーを押す

巻取 / 繰出テンションバーの重量調整用カウンターウェイトの取り付け

メディアの性質によって、カウンターウェイトを取り付けてください。
カウンターウェイトは、左右それぞれに最大 5 枚まで取り付けることができます。

メディアの状況	対　策
メディアの送り方向にシワが発生する	メディアにかかるテンションが強すぎます。お使いのメディアに合わせて、カウンターウェイトを減らしてください。
プリント時にメディアが蛇行する	
メディアがたるんでキレイに巻き取れない	メディアにかかるテンションが弱すぎます。お使いのメディアに合わせて、カウンターウェイトを増やしてください。
プラテン上でメディアが浮いている	



注 意
- カウンターウェイトは非常に重いため、取り扱いには十分にご注意ください。
  誤って指や足を挟むと、怪我の原因になります。

重 要!
- 使用しないカウンターウェイトは、保管箱に入れ紛失しないようにしてください。

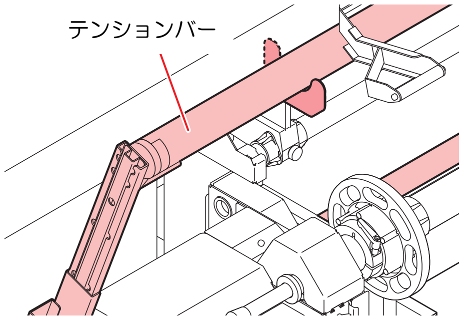
小幅ロールメディアをセットする

幅が小さいロールメディア(1mまで)をお使いになるときは、小幅ロールホルダーにメディアをセットしてください。

重 要!
- メディア巻取装置をお使いになる場合は、次のことに注意してください。
- 繰り出し側は、プリント面が " 外巻き "(外表) となるようにセットする。
- 巻き取り側は、プリント面が " 内巻き " となるようにセットする。(外巻きになるようにセットすると、メディア搬送に悪影響を及ぼすことがあります。)

1 装置背面のテンションバーをテンションバー固定板で固定する

- テンションバー固定板は、装置背面の左側にあります。テンションバーを持ち上げ、テンションバー固定板を使って固定してください。

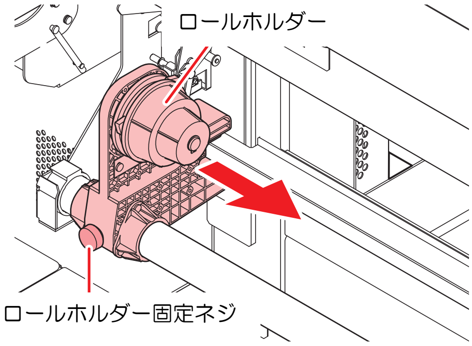


注 意
- テンションバーはテンションバー固定板よりも外側の部分を持って操作してください。ほかの箇所を持つと、手を挟む可能性があり危険です。

2 マシン設定の「繰出しユニットの設定」、「巻取りユニットの設定」でそれぞれの設定を "OFF" にする (**P.3-18,P.3-19**)

3 装置背面にあるロールホルダーを移動する

- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。
- メディアが装置前面から見て右側になるような位置にロールホルダーを移動させてください。

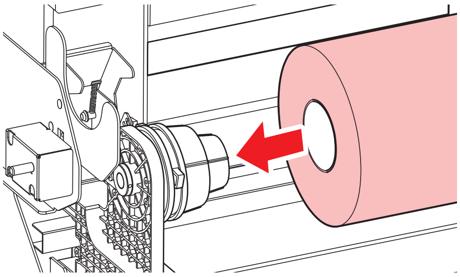


4 ロールホルダー固定ネジを締める

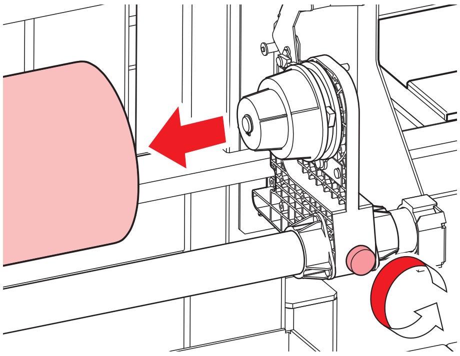
- 手順 2 ～ 3 を再度確認してください。

5 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込む

- 紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。

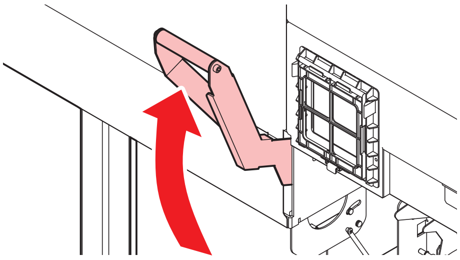


6 右側のロールホルダーのネジを緩め、紙管にホルダーを差し込む

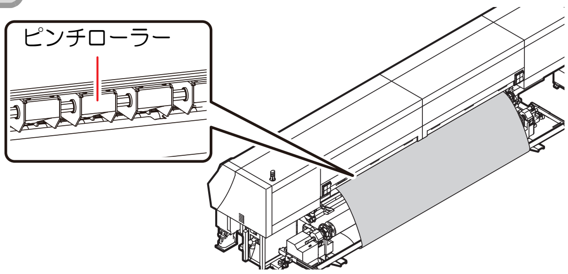


重 要！
- 長いメディアをセットするとき、ロールホルダーのガイドレール中央にあるレール補助具が引っかかることがあります。
  その場合は、メディア置きバーを上げながら補助具の横のピンを外して下げ、レール補助具を外してから、ロールホルダーをスライドさせてください。その後、レール補助具は元の位置に戻してください。

7 装置背面のクランプレバーを上げる



8 装置にロールメディアを差し込む



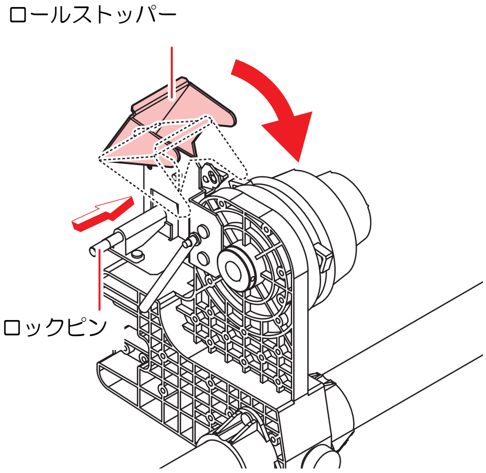
- メディアを斜めにすると、引っかかりが少なくスムーズに差し込めます。

(1) プラテンの先端に届くくらいまで、メディアを引き出す
(2) プラテンとピンチローラーの間にメディアを差し込む
- 装置前面からメディアをつかめるくらい、メディアを送り出してください。

(3) 装置背面からクランプレバーを下げる
- メディアが保持されます。

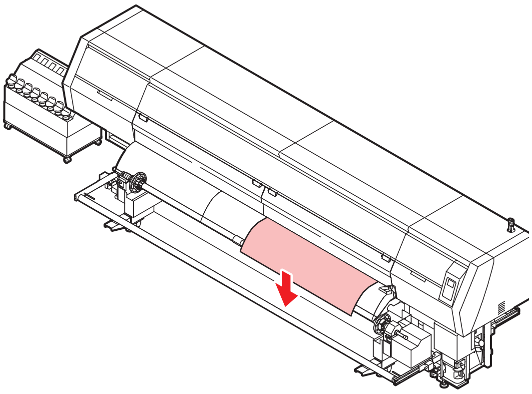
9 ロールストッパーをロックする

(1) ロールストッパーを矢印の方向に倒す
(2) ロックピンを押して固定する

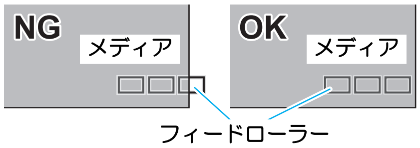


10 ロールメディアを引き出す

(1) フロントカバーを開ける
(2) 装置前面からクランプレバーを上げる
(3) ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックのかかる位置で止める



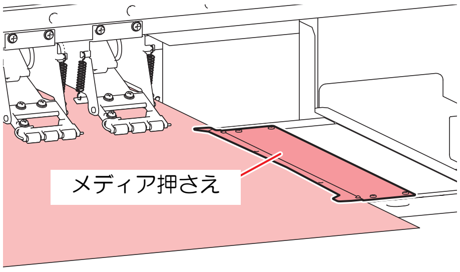
重 要！
- メディア端面とフィードローラーの位置を確認してください。
- メディア端面をピンチローラー、フィードローラーでクランプすると、メディアの搬送性が悪化することがあります。メディアを固定しているロールホルダーの位置を調整してからメディアをセットしてください。



11 装置前面からクランプレバーを下げる

12 メディア押さえでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。



13 フロントカバーを閉じる

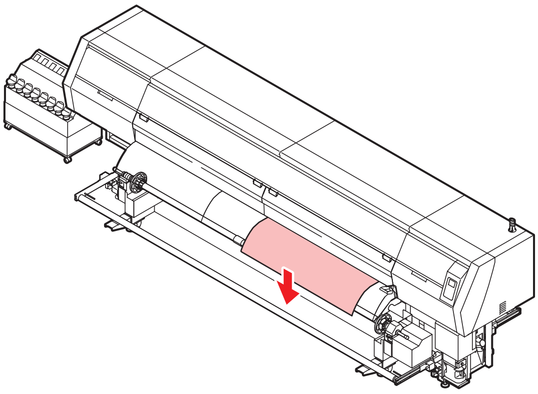
- メディア選択画面が表示されます。

14 [◀]を押して、“ ロール ” を選択する

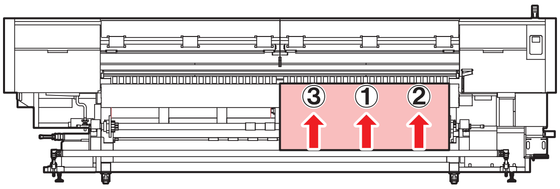
- メディア幅を検出します。
- マシン設定の「メディア残量表示の設定」の設定が “ON” の場合 (☞ P.3-19)、メディア幅の検出後メディア残量入力画面を表示します。(☞ P.2-11)

15 巻き取り装置にメディアを固定する

(1) [▼] を押して、巻き取り装置の紙管に届くまでメディアをフィードする



(2) 図のようにして、プリント面が内巻きになるように紙管にメディアをテープ固定する
- メディアがシワにならないよう、メディアを紙管に沿わせながら、図の順番に複数箇所をテープで固定してください。



- メディアのたるみやシワはプリント中の画質に影響を与えます。
  メディアをテープ固定するときは、図の矢印の方向へメディアを沿わせながら行ってください。
- テープ固定するときにメディアを引っ張りすぎると、メディアの張りが均一にならないためメディアの搬送に悪影響を及ぼすことがあります。

16 [▲][▼]を押して、メディアをたるませる

- メディアが床に着くくらいまでたるませます。

17 メディア巻取装置のスイッチを使って、紙管にメディアを軽く 1 周ほど巻きつける

(1) 左のスイッチを [MANUAL]、右の↑↓スイッチをメディアを巻き取る方向にして、メディアを巻きつける

(2) メディアが張る直前で、左のスイッチを [AUTO] にして巻きつけを止める

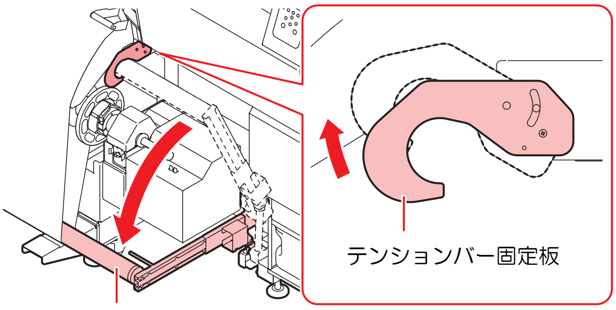
- メディアを巻きつけすぎると、巻取装置の左右のカバーが開き、操作パネルに「カバーオープン」のエラーが表示されます。この場合は巻取装置の右のカバーを開けて、メディアの張りをゆるめるようにほぐします。

18 再度ジョグキー[▲][▼]を押して、メディアをたるませる

- メディアが床に着くくらいまでたるませます。

19 装置前面のテンションバーをゆっくり下ろす

- テンションバーは、テンションバー固定板を外してから下ろしてください。



20 [▲][▼]を押してテンションバーを上げ、たるんだメディアを張る

- スイッチは「AUTO」にしておいてください。メディアを巻き取りながらテンションバーが上がり、適切な位置で自動的に止まります。

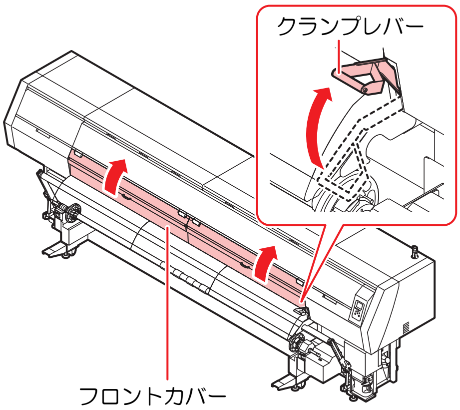
- [▲][▼] を押してもテンションバーが上がらない場合は、スイッチを操作してたるんだメディアを張ります。
  (1) ↑↓のスイッチをメディアの巻き取り方向にセットして、スイッチを [手動 /MANUAL] にする (テンションバーが上がります)
  - このとき、メディアが繰り出され、テンションバーが上がらない場合は、↑↓のスイッチを切り替えてください。

  (2) テンションバーアームが床とほぼ平行になったら、スイッチを [自動 /AUTO] にして、テンションバーを止める
  (3) ↑↓のスイッチをメディアを巻き取る方向にセットする
- 巻取装置とキャリッジの間のメディアにはプリントできません。

リーフメディアをセットする

リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

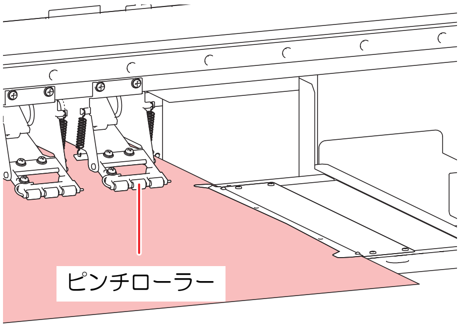
1 フロントカバーを開ける



2 クランプレバーを上げる

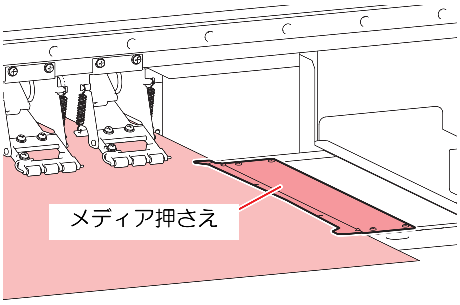
3 リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込む

- メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。
- ポストヒータの溝にメディアの先端がかからない位置にセットしてください。



4 メディア押さえでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。



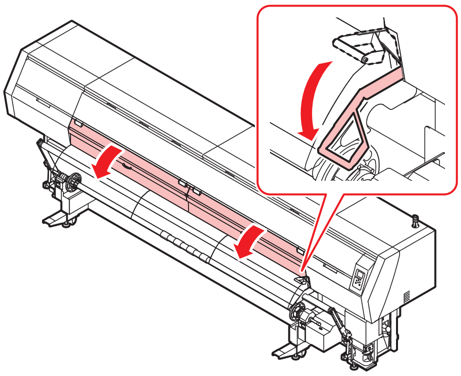
注意

- メディアが右に寄りすぎていると、メディア検出後、ディスプレイに " メディア位置が右すぎます " を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

5 クランプレバーを下げる

- メディアはまっすぐにセットしてください。

6 フロントカバーを閉じる



7 ENTER キーを押す

- メディア選択画面が表示されます。

8 ▶を押して、" リーフ " を選択する

9 メディアの検出を始める

(1) メディア幅を検出する
(2) 検出が終わると、ローカルに戻る

2

原点を変更する場合は

プリント原点の位置を変更することができます。

1 ローカルで、[▲][▼][◀][▶]を押す

- 原点設定モードになります。

2 [▲][▼][◀][▶]を押して、原点を変更したい位置へ合わせる

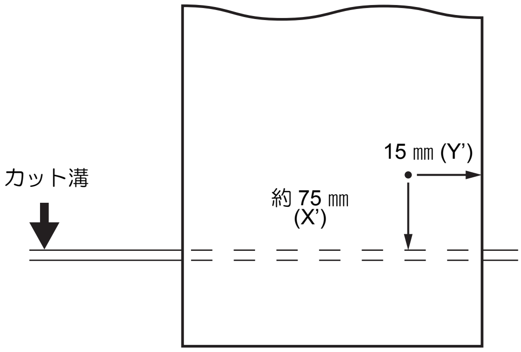
- [▲][▼][◀][▶]でキャリッジとメディアを移動させて選びます。
- ここで [FUNC2](CUT) を押すと、メディアカットを実行できます。

3 プリント原点を決定したら、[ENTER]キーを押す

- 原点が変更されます。

原点設定位置の目安

プリント原点は、奥行方向 (X') はプラテン上にあるカット溝から奥側約 75 mm の位置になります。
横方向 (Y') の値は、メディア右端より 15 mm です。設定メニューの「マージン」(☞ P.3-9) により変更できます。
また、ジョグキーを使って変更することもできます。



ヒーターの準備をする

ヒーターの温度設定を変更する

ヒーターの温度を設定します。
お使いになるメディアやプロファイルに合わせて、ヒーター温度を設定してください。
- 周囲の温度により、設定した温度に到達するまでに数分から数十分かかることがあります。

- ここで設定する温度は、設定メニュー内の [ヒーター] でも変更することができます。（☞ P.3-8）

1 ローカルで SEL キーを押し、FUNC2 (HEATER) を押す

- ヒーター温度調節画面を表示されます。

2 ▲▼を押して、ヒーターの温度を設定する

温度の設定 ：[▲][▼] で設定
- ヒーターの加熱が始まります。

3 ヒーターの加熱が終了する

- ヒーターの温度が設定温度に達すると、ディスプレイのヒーターアイコンが緑色に変わります。

4 終了するとき、ENTER キーを押す

- ローカルに戻ります。

- お使いの RIP が、ヒーターの温度をコントロールできる機能を搭載している場合は、RIP 側でコントロールすることができます。（設定方法は、お使いの RIP の取扱説明書をご覧ください。）

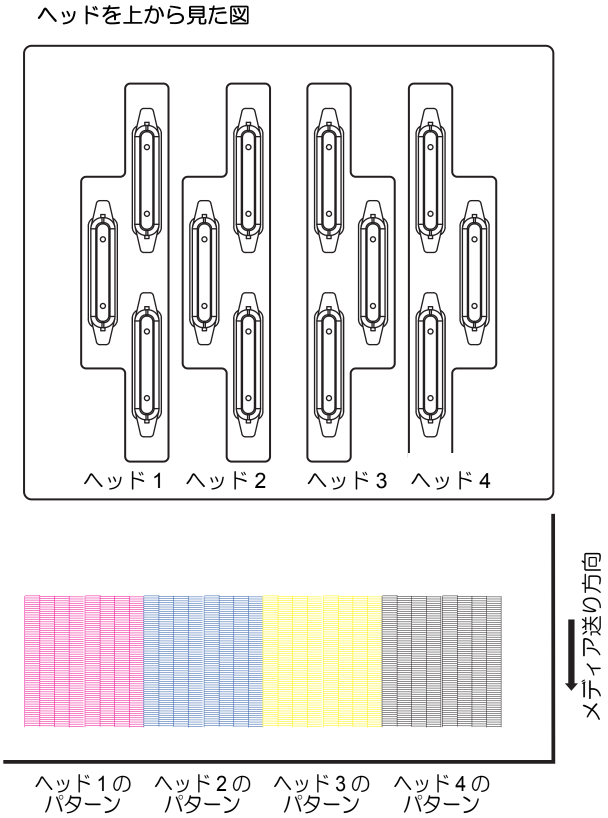
重要！
- 本機は、20 ～ 30°C の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

テストプリントをする

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

ヘッドの配列とテストパターンの関係

ヘッドの配列とプリントしたテストパターンのプリント位置は、下図の通りです。

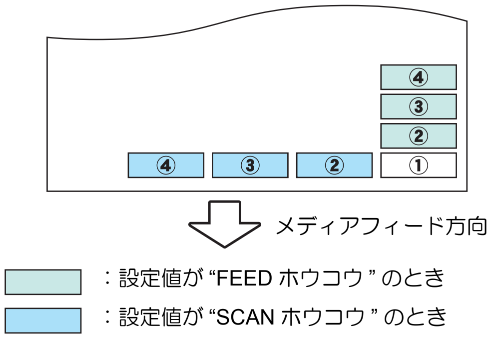


テストプリントに関する注意事項

重要！
- リーフメディアを使用する場合、210mm 以上のサイズのメディアをセットしてください。幅の狭いメディアをセットすると、途中までしかプリントされません。
- 小幅ロールホルダーにメディアをセットして使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。
- テストプリントをするときは、必ず全てのカバー (フロントカバー / 背面カバー) を閉じてください。

テストプリントを行う

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。
また、テストプリントを繰り返し実行するときのために、プリントするテストパターンの配置方向を次の 2 種類から選択することができます。使い方に合わせて選択してください。



テストプリントの前に確認してください
• メディアをセットしているか（☞ P.2-4）
• 原点位置をセットしているか
• ヘッド高さを調整しているか（☞ P.2-4）

1 ローカルで、(FUNC2) (TEST PRINT/CLEANING)を押し、(ENTER)キーを押す

- テストプリントメニューを表示します。
- [▲][▼] を押して、テストパターンの配置方向を変更できます。ここで変更した配置方向は、次回プリント時にも反映されます。
- 配置方向を “ スキャン方向 ” から “ フィード方向 ” に変更してテストプリントを実行すると、1 つめのテストプリントの位置に改行されます。

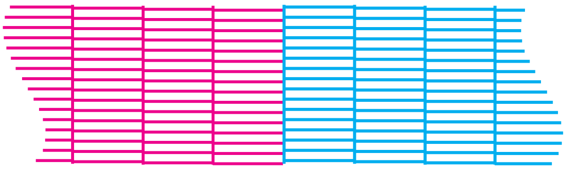
2 (ENTER)キーを押す

- テストプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

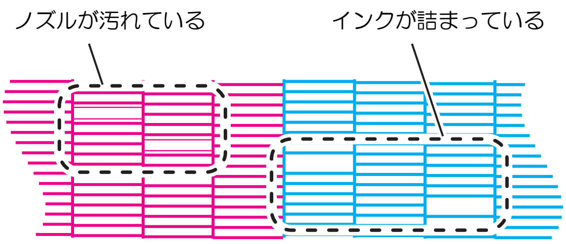
3 プリント結果を確認する

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。（☞ P.2-18）

正常なパターン



異常なパターン



ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。
次の 3 種類から選んでください。

ソフト　：線の曲がり、抜けがある時
ノーマル：線の抜けがある時、混色している時
ハード　：ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、3 種類あります。パターンプリントの結果によって使い分けてください。

1 ローカルで、(FUNC2) (TEST PRINT/CLEANING)を押す

2 (▲)(▼)を押して “ クリーニング ” を選び、(ENTER)キーを押す

- クリーニングメニューを表示します。

3 (▲)(▼)を押して、クリーニングタイプを選択する

- ソフト　：線の曲がり、抜けがある時
- ノーマル：線の抜けがある時、混色している時
- ハード　：ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

4 (ENTER)キーを押す

5 (▲)(▼)を押してクリーニングするヘッドを選び、(FUNC2) (✔) を押してチェックする

- ヘッド選択後に [FUNC2] を押して、チェックボックスにチェックを入れてください。
  チェックが入っているヘッドのみクリーニングを行います。

6 (ENTER)キーを押す

7 再度テストプリントを実行し、プリント結果を確認する

- プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。

ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合
- ワイパーとインクキャップのクリーニングをする（☞ P.4-8）
- ヘッドノズルの洗浄をする (☞ P.4-14)

フィード補正の設定をする

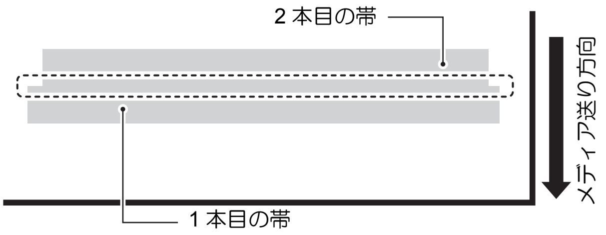
お使いになるメディアの種類に合わせて、メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

重要！
- フィード補正は、毎回プリント前に必ず行ってください。ロールメディアの残量によって、メディアの送り量が変化する場合があります。
- 小幅ロールホルダーにメディアをセットしてお使いの場合、ロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。
  正確に送り量の補正ができない恐れがあります。
- フィード補正を終了すると、プリント原点位置までメディアが戻ります。小幅ロールホルダーにメディアをセットしている場合、本機背面のロールメディアにたるみが生じます。
  プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
- 巻取装置を使用してのプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でフィード補正を行ってください。
- 巻取装置を使用しないでプリントしている場合、メディアが床に届くまで送り出してから補正を行ってください。正常に送り量の調整ができない恐れがあります。

フィード補正の設定

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。

- 補正パターンでは 2 本の帯をプリントします。
- 2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



1 メディアをセットする (☞ P.2-4)

2 ローカルで SEL キーを押し、FUNC1 (ADJUST) を押す

- 調整メニューを表示します。

3 ENTER キーを押す

4 ENTER キーを押して、補正パターンをプリントする

5 補正パターンを確認し、補正値を入力する

- 補正値の入力画面が表示されます。
- " ＋ " に入力すると：
  2 本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- " － " に入力すると：
  2 本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
- 補正値を "30" 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。

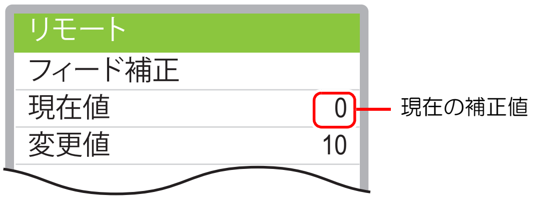
6 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

- [FUNC2] (ADJUST) キーを押さなくても、ローカルから [FUNC1](MENU) を使ってフィード補正を選ぶことができます。(☞ P.3-6)

プリント中にメディア送りを補正したいときは

リモートモードや画像データのプリント中でもメディア送り量の補正ができます。

1 リモートで、FUNC1 (ADJUST) を押す



2 ▲▼を押して、補正量を入力する

- 補正量：-9999 ～ 9999
- ここで入力した値は、すぐに補正量に反映されます。

3 ENTER キーを押す

- 変更した値が登録されます。
- [ENTER] キーの代わりに [END/POWER] キーを押すと、ここで補正した内容は無効となります。

4 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

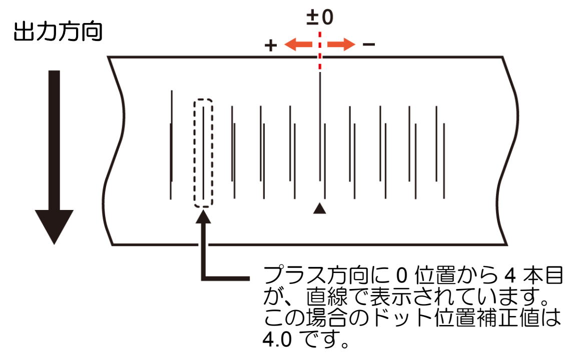
2

双方向プリントのドット位置を調整する

プリント時の条件（メディアの厚み／インクの種類など）が変わったときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

重要!
- リーフメディアを使用する場合、210mm 以上のサイズのメディアをセットしてください。幅の狭いメディアをセットすると、途中までしかプリントされません。

パターンプリント例



1 メディアをセットし、プリント原点を設定する (P.2-4)

2 ローカルで SEL キーを押し、FUNC1 (ADJUST) を押す

- 調整メニューを表示します。

3 ▲▼を押して“ドット位置補正”を選び、ENTER キーを押す

4 ENTER キーを押す

- ドット位置補正のパターンプリントを開始します。
- 複数のテストパターンをプリントします。（ プリント順にパターン 1,2 と呼ぶ)

5 ▲▼を押してパターン 1 の補正値を入力し、ENTER キーを押す

- 補正値：-40 ～ 40
- テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。
- 補正値が -40 ～ 40 の間にない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順 2 から操作をし直してください。

6 手順5と同様にして、パターン2～5の補正値を入力し、ENTER キーを押す

7 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

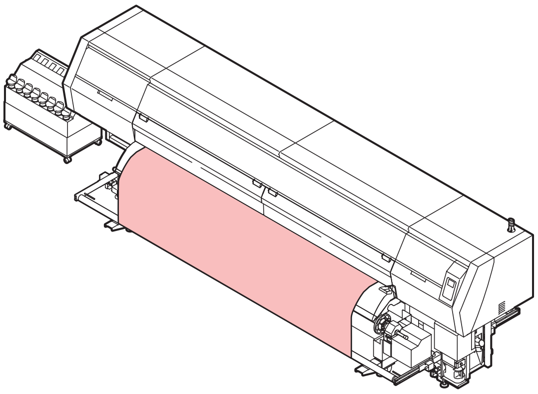
- [FUNC2] (ADJUST) キーを押さなくても、ローカルから [FUNC1](MENU) を使ってドット位置補正を選ぶことができます。(P.3-7)

データをプリントする

プリントを開始する

重 要!
- 小幅ロールホルダーにメディアセットして使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。
- 同じデータをプリントしても、解像度 / パス / スキャン速度 / プリント方向などのプリント条件を変更した場合、色味が異なる場合があります。事前に確認してからプリントしてください。

1 メディアをセットする（P.2-4）



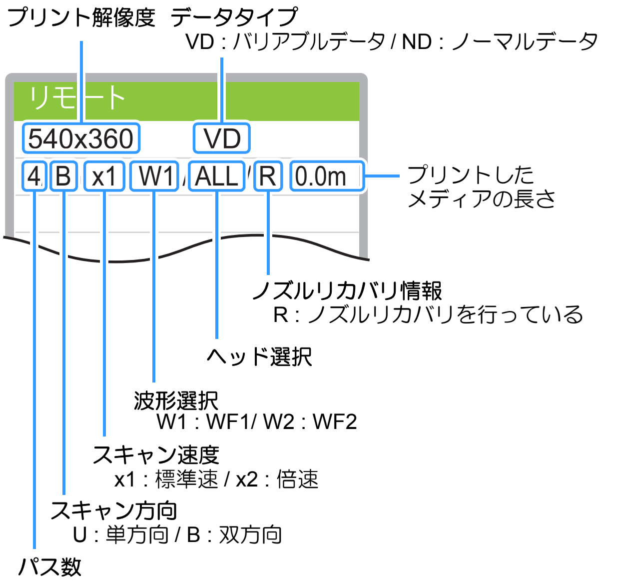
2 ヒーターの温度を確認する

3 ローカルで、FUNC3 (REMOTE) キーを押す

- ヒーター温度が設定値に到達していない場合、ディスプレイに " 温度制御中 " が表示されます。[ENTER] キーを押すと、未到達でもリモートに移行できます。
- リモートになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

4 コンピュータからプリントするデータを送信する

- データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。



5 プリント開始

- 解像度によっては同じデータをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置によってプリント速度が変化する場合があります。

プリントを中止する

プリントを途中で止める場合、次の操作をしてください。

1 プリント中に、FUNC3 (LOCAL) を押す

- プリント動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- 再度 [REMOTE] キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

受信したデータを消去する (データクリア)

プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

1 ローカルで SEL キーを押し、FUNC3 (DATA CLEAR) を押す

2 ENTER キーを押す

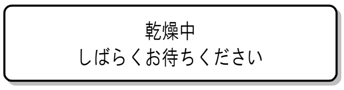
- 受信データを消去し、ローカルに戻ります。

プリント完了後の動作

乾燥フィード

プリントが完了すると、印刷面を乾燥ヒーターによって乾燥させるため、フィード動作を行います。
- プリントの後端が乾燥ヒーターを通過するまでフィード動作を行います。
- [END/POWER] キーを押すと動作を中止します。
- 連続して次のデータを受信している場合、最後のデータ完了後のみ動作します。
- お使いの乾燥ファンの位置に応じて、フィード量を設定してください。
(P.3-20「乾燥フィードの設定をする」)

乾燥フィード中の画面表示



メディアをカットする

ロールメディアでプリント終了後にメディアをカットしたいときは、操作パネル上のキーを使ってカットしてください。

重要!
- メディアをカットしたとき、印刷面が床や他の印刷面に触れないようにお気をつけください。
- 巻取装置をお使いの場合、カットしたメディアは巻取装置のスイッチを使って巻き取ってください。
- カットをする前に、装置前面と背面のテンションバーをロック位置で固定してください。

1 ローカルで SEL キーを押し、FUNC1 **(MEDIA)** を押す

- メディア設定メニューを表示します。

2 ▲▼を押して“メディアカット”を選び、ENTER キーを押す

3 ▲▼を押して“カット位置”を選び、ENTER キーを押す

4 ▲▼を押してカット位置を調整し、ENTER キーを押す

- メディアをカットします。
- カット位置を調整する必要が無い場合は、[▲][▼] を押さずに [ENTER] キーを押してください。その場でメディアをカットします。
- カットが終了すると、ローカルに戻ります。

- ジョグキーによる原点設定中に [FUNC2] (CUT) を押して、メディアカットを実行することもできます。

第３章
便利な使い方

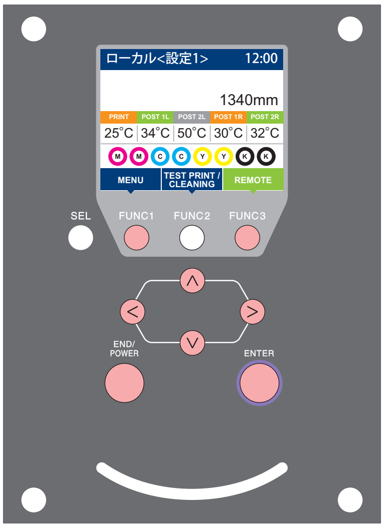
この章では ...

本機をより便利に使うための操作方法や、 各種設定方法について説明しています。

設定メニューについて 3-2
設定メニュー一覧表 3-3
使い方に合わせた最適なプリント条件を
登録する 3-5
フィード補正の設定 3-6
ドットの位置がずれたら 3-7
ヒーターの設定 3-8
ロジカルシークの設定 3-8
重ね塗りの設定 3-9
乾燥時間の設定 3-9
マージン (左 / 右) の設定 3-9
リフレッシュの設定 3-9
リフレッシュ 左の設定 3-10
吸着ファンの設定 3-10
フィード速度の設定 3-10
天井ファンの設定 3-10
MAPS4 の設定 3-11
オートノズルメンテナンスの設定 3-12
定期ワイピングの設定 3-15
ヘッドギャップの設定 3-15
マシン設定メニューについて 3-16
マシン設定メニュー一覧表 3-17
オートパワーオフの設定 3-18
繰出しユニットの設定 3-18
巻取りユニットの設定 3-19
メディア残量表示の設定 3-19
時刻の設定 3-19
単位 (温度 / 長さ) の設定 3-19
キーブザーの設定 3-20
使用ヘッドラインを選択する 3-20
メディア検出 / 厚さの設定をする 3-20
乾燥フィードの設定をする 3-20
確認フィードの設定 3-21
プリント間の余白を設定する 3-21
余白部分のフィード方式を設定する 3-21
ネットワークの設定をする 3-22
イベントメール機能の設定 3-22
設定ロックの設定をする 3-26
言語の設定をする 3-26
設定した内容を初期状態に戻す 3-26
情報メニューについて 3-27
情報メニュー一覧表 3-27
情報を表示させる 3-28
本機の情報を表示する 3-28

設定メニューについて

設定メニューでは、普段使用するメディアに合わせてプリント条件を設定することができます。

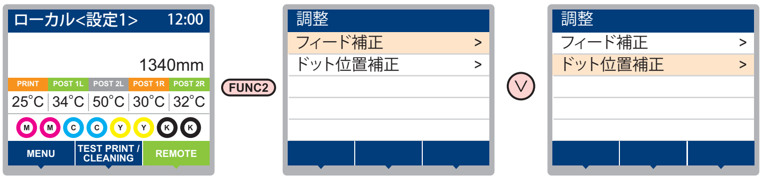


FUNC1 ： 設定メニューを選ぶとき、または、1 つ前の画面に切り替えるときに押す
FUNC2 ： 調整機能を使用するときに押す
FUNC3 ： 次の画面に切り替えるときに押す
∧∨ ： 設定項目を選択するときに押す
ENTER ： 設定を確定するときなどに押す

◆ 設定メニュー一覧

◆ FUNC1 (ADJUST) キーを押したときの画面遷移

調整機能(フィード補正/ドット位置補正)をするとき、ローカルから[MENU]-[設定]を選ばなくても簡単に調整メニューを表示させることができます。[SEL] キーを押して [FUNC1] に “ADJUST” を表示させてから、[FUNC1] キーを押してください。



設定メニュー一覧表

重 要!

- 次の各設定項目については、接続しているホスト PC でお使いの RIP ソフトウェアからプリント時に指定した設定値に従って動作するように設定できます。
- **設定項目** : 乾燥時間 / 吸着
- 各項目を “ ホスト ” に設定すれば、RIP の設定内容に従って動作します。本機での設定を優先させたいときは、“ ホスト ” 以外に設定してください。
- RIP ソフトウェアでの指定方法については、RIP ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称			設定値 *1	RIP から指示がない場合 *2	概　要
フィード補正 (☞ P.3-6)			-9999 ～ 0 ～ 9999	―――	メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。
ドット位置補正 (☞ P.3-7)			-40.0 ～ 0 ～ 40.0	―――	往復プリントにおける、着弾位置の調整を行います。
ヒーター (☞ P.3-8)	PRINT		OFF/ 20 ～ 60 ℃	―――	プリントヒーターの温度を設定します。
	POST 1L		OFF/ 20 ～ 60 ℃		左側のポストヒーター (1/2) の温度を設定します。
	POST 2L		OFF/ 20 ～ 70 ℃		
	POST 1R		OFF/ 20 ～ 60 ℃		右側のポストヒーター (1/2) の温度を設定します。
	POST 2R		OFF/ 20 ～ 70 ℃		
	外部ヒーター		ON/OFF		外部ヒーターの ON/OFF を設定します。
ロジカルシーク (☞ P.3-8)			ホスト /ON/OFF	―――	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。
重ね塗り (☞ P.3-9)			ホスト /1 ～ 9 回	1 回	インク重ね塗りの回数を設定します。
乾燥時間 (☞ P.3-9)	スキャン		ホスト /0.0 ～ 9.9 sec	0 sec	スキャン毎のインクの乾燥時間を設定します。
マージン / 左 (☞ P.3-9)			ホスト /-10 ～ 85mm	―――	左右のプリント余白を設定します。
マージン / 右 (☞ P.3-9)				―――	
リフレッシュ (☞ P.3-9)			ホスト /Lv.0 ～ Lv.3	Lv.3	プリント中にキャッピングステーション上で行うフラッシング動作の間隔を設定します。
リフレッシュ左 (☞ P.3-9)			ON/OFF	OFF	使用するインクの種類によって、キャッピングステーション上のフラッシング動作だけでは十分にヘッドをリフレッシュできない場合、左側でもフラッシング動作ができるように設定できます。
吸着ファン (☞ P.3-10)			ホスト、弱い、標準、強い、OFF	標準	メディアの吸着する力を設定します。
天井ファン (☞ P.3-10)			オート、弱い、標準、強い、OFF	標準	メディアを風で乾燥させる為の風量を設定します。(対応マシンのみ設定可能)
フィード速度 (☞ P.3-10)			ホスト /10 ～ 200%	―――	プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。
MAPS4 (☞ P.3-11)	Auto/ Manual			―――	パス間の縞を軽減する設定をします。
	Manual	速度	50 ～ 100%		
		スムージングレベル	0 ～ 25 ～ 100%		

機能名称			設定値 *1	RIP から指示がない場合 *2	概 要
オートノズルメンテナンス (☞ P.3-12)	オートクリーニング		ON / OFF	———	プリント前またはプリント中に行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定します。
	クリーニング間隔	距離	0.1 ～ 20.0 ～ 100.0 m	———	設定した距離ごとにクリーニングを行います。
	クリーニング間隔	ファイル	1 ～ 10 ～ 1000	———	設定したファイルごとにクリーニングを行います。
	クリーニング間隔	時間	10 ～ 120 min	———	設定した時間ごとにクリーニングを行います。
	タイプ		ソフト / ノーマル / ハード	———	実行するクリーニングの種類を設定します。
	印刷前クリーニング		10 ～ 720 min/ OFF	———	直前の印刷完了時間から、指定した時間が経過した場合、印刷開始前にクリーニングを行います。
	区切り		OFF / RIP 区切り	RIP からの指示に従って画像の区切りでクリーニングを行います。	
	バックフィード		ON / OFF	———	メンテナンス動作後にバックフィードをするか設定します。 [区切り] の設定を RIP 区切りにした時に選択できます。
	ノズルチェック		ON / OFF	———	自動的にノズルチェックを行いたい場合、設定します。
	チェック間隔	距離	0.1 ～ 30.0 ～ 100.0 m	———	設定した距離ごとにノズルチェックを行います。
	チェック間隔	ファイル	1 ～ 30 ～ 1000	———	設定したファイル数ごとにノズルチェックを行います。
	チェック間隔	時間	10 ～ 30 ～ 120 min	———	設定した時間ごとにノズルチェックを行います。
	クリーニングタイプ		ソフト / ノーマル / ハード / オート	———	ノズル抜けを検出したときに実行するクリーニングの種類を設定します。 オートを選択した場合、ノズルの復旧具合に応じて最適なクリーニングを行います。
	リトライ回数		0 ～ 3 回	———	設定回数分、ノズル抜けの復旧動作を行います。
	自動ノズルリカバリ		ON / OFF	———	自動でノズルリカバリしたい場合に設定します。
	判定条件		1 ～ 10 ～ 100 / OFF	———	ヘッドラインと色ごとに何本のノズル抜けを検出したら「ノズル抜け」と判定するか設定します。 “OFF” に設定した場合、ノズルチェックを行いません。
	区切り		OFF / RIP 区切り	RIP からの指示に従って画像の区切りでノズルチェックを行います。	
	バックフィード		ON / OFF	———	メンテナンス動作後にバックフィードをするか設定します。 [区切り] の設定を RIP 区切りにした時に選択できます。
定期ワイピング (☞ P.3-15)			3 ～ 255 min, OFF	———	プリント中に行う、ワイピング動作を設定します。
ヘッドギャップ (☞ P.3-15)			1.5 ～ 2 ～ 7.0mm	———	ヘッド高さを設定します。
設定リセット (☞ P.3-15)			設定 1 ～ 4 で設定した内容を、個別にリセットできます。		

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。
*2. 本機で “ ホスト ” を設定しているのに、RIP ソフトウェア (ホスト) 側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プリント時に使用される設定値です。

使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する

本機では、あらかじめ、お使いになるメディアに合わせて個別にプリント条件 (設定 1 ～ 4) を登録しておくことができます。
例えば、違う種類のメディアにプリントをした後に、いつも使っているメディアに戻した場合など、登録済みの設定 (1 ～ 4) を選ぶだけで最適の作図条件を設定できます。

- 本機であらかじめ登録できるプリント条件は、“ 設定 1” ～ “ 設定 4” の 4 種類です。
- 頻繁に使うことのないプリント条件でプリントする場合、“Temporary” を選んでプリント条件を設定することができます。
  Temporary で設定した内容は電源を再投入すると、初期値（お買い上げ時の状態）に戻ります。
  また、”Temporary” が選ばれた状態で電源を再投入すると、” 設定 1” が選ばれた状態になります。

設定 (1 ～ 4) にプリント条件を登録する

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** ➔ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して設定 **1** ～ **4** を選び、(ENTER) キーを押す

- 選択している項目には●、それ以外には○が表示されます。
- 設定メニューを表示します。

3 (▲)(▼) を押して設定メニュー一覧表の各項目を選び、設定する

- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

Temporary の使い方

Temporary は 1 度だけ使うプリント条件を設定するだけではなく、登録済みの設定「1 ～ 4」を一部だけ変えて使いたい場合や、Temporary で設定したプリント条件を、設定 1 ～ 4 に反映させることもできます。

● Temporary にプリント条件を登録する

Temporary へのプリント条件の登録は、設定 1 ～ 4 への登録と同様の方法で登録できます。

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** ➔ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して **“Temporary”** を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 (▲)(▼) を押して設定メニュー一覧表の各項目を選び、設定する

- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

● 設定 1 ～ 4 の内容を Temporary にコピーする

設定 1 ～ 4 の登録内容の一部を変更してお使いになることができます。
Temporary の設定リセットメニューから、“ コピー ” を選び、コピー元 (設定 1 ～ 4) を指定します。

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** ➔ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して **“Temporary”** を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 (FUNC1) **(<<)** を押す

4 (▲)(▼) を押して “ 設定リセット ” を選び、(ENTER) キーを押す

- コピー元選択画面を表示します。

5 (▲)(▼) を押して “ コピー ” を選び、(ENTER) キーを押す

- コピー元選択画面を表示します。

6 (▲)(▼) を押してコピー元 **(** 設定 **1** ～ **4)** を選び、(ENTER) キーを押す

- ディスプレイにコピーの確認画面を表示します。

7 (ENTER) キーを押す

- 手順 6 で選んだ設定内容が、Temporary にコピーされます。

8 (▲)(▼) を押して変更する設定項目を選び、(ENTER) キーを押す

- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

● Temporary で設定した内容を設定 1 ～ 4 へ反映させる

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** ➔ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して **“Temporary”** を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 (▲)(▼) を押して設定メニュー一覧表の各項目を選び、設定する

- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

4 **Temporary** の最終ページを表示させて “ 設定保存 ” を選び、(ENTER) キーを押す

- 保存先選択画面を表示します。

3

5 ▲▼を押して保存先 (設定 1 〜 4) を選び、ENTERキーを押す

- ディスプレイに保存確認画面を表示します。

6 ENTERキーを押す

- 手順 5 で選んだ保存先に、Temporary の設定内容が保存されます。

7 終了するとき、END/POWERキーを数回押す

登録した内容をリセットする

設定 1 〜 4 に登録した内容をリセットします。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➔ENTERキーを押す

2 ▲▼を押してリセットする設定(1〜4)を選び、ENTERキーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 FUNC1 (<<) を押す

4 ▲▼を押して " 設定リセット " を選び、ENTERキーを押す

- 設定リセットの確認画面を表示します。

5 終了するとき、END/POWERキーを数回押す

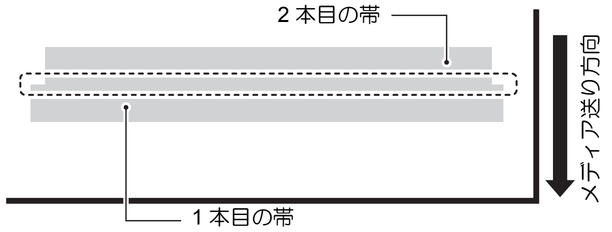
フィード補正の設定

お使いになるメディアの種類に合わせて、メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

重要!
- フィード補正は、毎回プリント前に必ず行ってください。ロールメディアの残量によって、メディアの送り量が変化する場合があります。
- 小幅ロールホルダーにメディアをセットしてお使いの場合、ロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。
正確に送り量の補正ができない恐れがあります。
- フィード補正を終了すると、プリント原点位置までメディアが戻ります。小幅ロールホルダーにメディアをセットしている場合、本機背面のロールメディアにたるみが生じます。
プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
- 巻取装置を使用してのプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でフィード補正を行ってください。
- 巻取装置を使用しないでプリントしている場合、メディアが床に届くまで送り出してから補正を行ってください。正常に送り量の調整ができない恐れがあります。

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。

- 補正パターンでは 2 本の帯をプリントします。
- 2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



1 メディアをセットする (☞ P.2-4)

2 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➔ENTERキーを押す

3 ▲▼を押して設定 1 〜 4 を選び、ENTERキーを押す

- 設定メニューを表示します。

4 ▲▼を押して " フィード補正 " を選び、ENTERキーを押す

5 ENTERキーを押して、補正パターンをプリントする

6 補正パターンを確認し、補正値を入力する

- 補正値の入力画面が表示されます。
- **" ＋ "** に入力すると：
  2 本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- **" － "** に入力すると：
  2 本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
- 補正値を "25" 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。

7 (ENTER) キーを押す

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。
- 補正の必要がある場合は、手順 6 の操作をして補正してください。

8 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

プリント中にメディア送りを補正したいとき

リモートモードや画像データのプリント中でもメディア送り量の補正ができます。

1 リモートで、(FUNC1) **(ADJUST)** を押す

2 (▲)(▼) を押して、補正量を入力する

- 補正量：-9999 ～ 9999
- ここで入力した値は、すぐに補正量に反映されます。

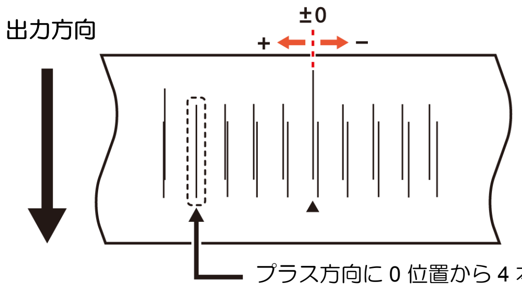
3 (ENTER) キーを押す

- 変更した値が登録されます。

ドットの位置がずれたら

プリント時の条件 (プラテンとヘッドの間隔 / メディアの厚み / メディアの種類など) が変わったときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

パターンプリント例



1 メディアをセットする (☞ P.2-4)

- パターンプリントをするには、幅 500mm 以上の大きさのメディアが必要です。

2 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** ➜ (ENTER) キーを押す

3 (▲)(▼) を押して設定 **1** ～ **4** を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定メニューを表示します。

4 (▲)(▼) を押して " ドット位置補正 " を選び、(ENTER) キーを押す

5 (ENTER) キーを押す

- ドット位置補正のパターンプリントを開始します。
- 複数のテストパターンをプリントします。(プリント順にパターン 1,2 と呼ぶ)

6 (▲)(▼) を押してパターン **1** の補正値を入力し、(ENTER) キーを押す

- 補正値：-40 ～ 40
- テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。
- 補正値が -40 ～ 40 の間にない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順 2 から操作をし直してください。

7 手順**6**と同様にして、パターン**2**～**5**の補正値を入力し、(ENTER) キーを押す

8 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

3

ヒーターの設定

プラテンには、プリントヒーター・ポストヒーターが内蔵されています。

ヒーターの種類	働き
プリントヒーター	プリントする際の画像品質を上げます。
ポストヒーター	プリント後のインクを乾燥させます。 本機ではプリント方法に合わせて、左側ポストヒーター (1/2) と右側ポストヒーター (1/2) があります。

1 ローカルで、[FUNC1] **(MENU)** ➜ [ENTER] キーを押す

2 [▲][▼] を押して設定 **1** ～ **4** を選び、[ENTER] キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 [▲][▼] を押して " ヒーター " を選び、[ENTER] キーを押す

4 [▲][▼] を押して、ヒーターを選び、[ENTER] キーを押す

- ヒーター : プリントヒーター、
  ポストヒーター (1L/1R/2L/2R)

5 [▲][▼] を押してヒーター温度を設定し、[ENTER] キーを押す

- プリント / ポスト **(1L/1R)** のヒーター温度
  OFF/ 20°C ～ 60°C
- ポスト **(2L/2R)** のヒーター温度
  OFF/ 20°C ～ 70°C

6 [▲][▼] を押して " 外部ヒーター " を選び、[ENTER] キーを押す

- ヒーター : プリントヒーター、
  ポストヒーター (1L/1R/2L/2R)

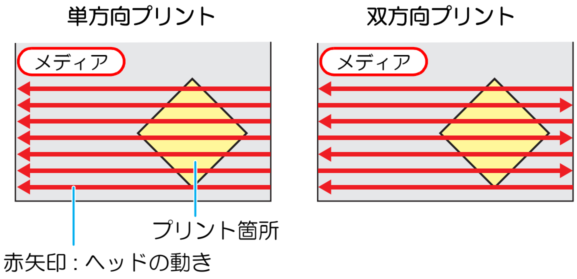
7 [▲][▼] を押して **ON/OFF** を選び、[ENTER] キーを押す

8 終了するとき、[END/POWER] キーを数回押す

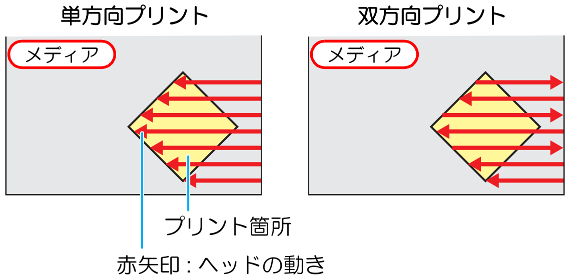
ロジカルシークの設定

ロジカルシークの設定により、下図のようにヘッドの動作が変わります。

ロジカルシーク **OFF** 時のヘッドの動き



ロジカルシーク **ON** 時のヘッドの動き



1 ローカルで、[FUNC1] **(MENU)** ➜ [ENTER] キーを押す

2 [▲][▼] を押して設定 **1** ～ **4** を選び、[ENTER] キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 [▲][▼] を押して " ロジカルシーク " を選び、[ENTER] キーを押す

4 [▲][▼] を押して設定値を選び、[ENTER] キーを押す

- 設定値 : ホスト /ON/OFF

5 終了するとき、[END/POWER] キーを数回押す

重ね塗りの設定

重ね塗りをするときの、回数を設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➜ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して設定 1 ～ 4 を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 (▲)(▼) を押して " 重ね塗り " を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼) を押して重ね塗り回数を設定し、(ENTER) キーを押す
- 設定値 : ホスト /1 ～ 9 回

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

乾燥時間の設定

乾燥時間の設定では、スキャン毎のインク乾燥時間 (双方向プリントの場合は、往路 / 復路のスキャン毎に設定した時間だけ一時停止する) を設定します。

重要!
- RasterLink 側の設定を優先させたいときは、設定値を " ホスト " にしてください。
- RasterLink では、本機で設定する " スキャン " は " スキャン毎の乾燥時間 " と表示しています。
- プリントエンドの設定については、RasterLink 側での指定ができません。本機の設定で " ホスト " に設定した場合は、プリント時 " プリントエンド =0 秒 " の状態でプリントされます。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➜ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して設定 1 ～ 4 を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 (FUNC3) (>>) を押す

4 (▲)(▼) を押して " 乾燥時間 " を選び、(ENTER) キーを押す

5 (ENTER) キーを押す

6 (▲)(▼) を押して乾燥時間を設定し、(ENTER) キーを押す
- メディアスキャン時との乾燥時間を設定します。お使いの RIP で指定している乾燥時間を有効にする場合は " ホスト " を選んでください。
- 設定値 : ホストまたは 0.0 ～ 9.9 秒

7 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

マージン (左 / 右) の設定

メディアの左右のマージン (余白) を設定します。
ここでは、標準マージン 15mm に対するオフセット値を設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➜ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して設定 1 ～ 4 を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 (FUNC3) (>>) を押す

4 (▲)(▼) を押して"マージン/左"または"マージン / 右 " を選び、(ENTER) キーを押す

5 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定値 : ホスト /-10 ～ 85mm

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

注意
- メディア押さえを使ってプリントする場合、左右のマージンをマイナス側に設定すると、メディア押さえの上からプリントを開始することがあるのでお気をつけください。

リフレッシュの設定

プリント中に行うリフレッシュの間隔を設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➜ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して設定 1 ～ 4 を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 (FUNC3) (>>) を押す

4 (▲)(▼) を押して " リフレッシュ " を選び、(ENTER) キーを押す

5 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定値 : ホスト /Lv.0 ～ Lv.3

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

リフレッシュ 左の設定

本機の左側でもフラッシング動作をしたいとき“ON” に設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** ➡ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して設定 **1** ～ **4** を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 (FUNC3) **(>>)** を押す

4 (▲)(▼) を押して“リフレッシュ左”を選び、(ENTER) キーを押す

5 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定値 :ON/OFF

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

吸着ファンの設定

メディアを吸着する強さを設定します。
メディアに合わせた吸着力を設定することにより、メディアの浮きによるプリントミスを防止できます。

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** ➡ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して設定 **1** ～ **4** を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 (FUNC3) **(>>)** を **2** 回押す

4 (▲)(▼) を押して “ 吸着ファン ” を選び、(ENTER) キーを押す

5 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定値：ホスト / 弱い / 標準 / 強い / OFF

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

フィード速度の設定

プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** ➡ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して設定 **1** ～ **4** を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 (FUNC3) **(>>)** を **2** 回押す

4 (▲)(▼) を押して “ フィード速度 ” を選び、(ENTER) キーを押す

5 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定値：ホスト /10 ～ 200%

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

重 要!
- フィード速度の設定を変更すると、色味が変化する場合があります。フィード速度を変更した後は、あらかじめ色味に変化がないか、確認してください。
- 設定値を変更した後は、フィード補正 (☞ P.3-6) を行ってください。

天井ファンの設定

（対応マシンのみ設定可能）
メディアを風で乾燥させる風量の強さを設定します。
インクの使用量にあわせた風量を設定することにより、メディアの伸長を抑えコックリング等を防止できます。

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** ➡ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して設定 **1** ～ **4** を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 (FUNC3) **(>>)** を **2** 回押す

4 (▲)(▼) を押して “ 天井ファン ” を選び、(ENTER) キーを押す

5 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す
- 設定値：オート / 弱い / 標準 / 強い / OFF

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

MAPS4 の設定

MAPS(Mimaki Advanced PassSystem) 機能とは、メディア補正をしても送り縞が解消できない場合に、MAPS 機能を使いパスの境界を分散させることにより、パス間の送り縞が目立ちにくくさせる機能です。

- MAPS4 の設定を変更すると、色味の変化がみられる場合があります。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。
- プリントする画像によっては MAPS 機能の効果が得られない場合があります。あらかじめ効果の確認を行った上で使用してください。

● MAPS 機能の効果が得られない条件

以下の条件では、MAPS 機能が無効になることがあります。また、プリントする画像によっては MAPS の効果が得られません。

4 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度	MAPS MODE
360 x 360HQ	2 pass	標準	Manual (速度 :100%)
540 x 360	2 pass	高速	
540 x 720	4 pass	高速	
720 x 720	4 pass	高速	
720 x 1080	6 pass	高速	

6 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度	MAPS MODE
540 x 360	4 pass	高速	Manual (速度 :100%)
540 x 540	6 pass	高速	
720 x 720	8 pass	高速	
720 x 1080	12 pass	高速	

MAPS4 機能を設定する

1 ローカルで、FUNC1 **(MENU)** ➜ ENTER キーを押す

2 ▲▼を押して設定 **1** ～ **4** を選び、ENTER キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 FUNC3 **(>>)** を **2** 回押す

4 ▲▼を押して **“MAPS4”** を選び、ENTER キーを押す

5 ▲▼を押して設定値を選び、ENTER キーを押す
- 設定値：Auto/ Manual
- 設定値を “Manual” にした場合は手順 6 へ、それ以外は手順 10 へ進んでください。

6 ▲▼を押して “ 速度 ” を選び、ENTER キーを押す

7 ▲▼を押して速度を選び、ENTER キーを押す
- 設定値：50 ～ 100%

8 ▲▼を押して “ スムージングレベル ” を選び、ENTER キーを押す

9 ▲▼を押してスムージングレベルを変更し、ENTER キーを押す
- 設定値 :0 ～ 100%(5% 単位で設定)
- 設定値を上げると、MAPS4 の効果が強くなり、設定値を下げると MAPS4 の効果が弱くなります。

10 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

3

オートノズルメンテナンスの設定

プリント前、プリント中に自動的にノズルのメンテナンス動作を行うよう設定できます。
メンテナンスはヘッドクリーニングの設定と、NCU を使用したノズルチェックの設定ができます。

- オートノズルメンテナンス中にフィードを行うかどうかを設定します。
- ON にするとオートノズルメンテナンス動作と同時にフィードを行い、メンテナンス直前までプリントしていた画像を発色機に通し、発色させます。
- OFF にするとオートノズルメンテナンス中のフィードは行いません。この場合、メンテナンス直前にプリントした画像が発色ムラになる場合があります。
- 発色機が ON の場合にフィードします。

オートクリーニングの設定

プリント終了後に今までプリントしたファイル数または長さまたは時間をカウントし､クリーニングが必要な場合は自動的にクリーニングを行うよう設定できます。
オートクリーニングの設定は、次の 3 種類から選択できます。

ファイル ：プリントファイル数でクリーニング間隔を設定する
距離 ：プリントした長さでクリーニング間隔を設定する
時間 ：プリントした時間でクリーニング間隔を設定する

ヘッドを常に清潔に保つことで､安定した出力結果を持続することができます。

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** ➔ (ENTER) キーを押す

2 (▲)(▼) を押して設定 **1** ～ **4** を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 (FUNC3) **(>>)** を **2** 回押す

4 (▲)(▼) を押して“オートノズルメンテナンス ” を選び、(ENTER) キーを押す

5 (▲)(▼) を押して “ オートクリーニング ” を選び、(ENTER) キーを押す

6 **“ON”** を選択し、(ENTER) キーを押す

7 (ENTER) キーを押し、(▲)(▼) でオートクリーニングの種類を選ぶ

- オートクリーニングの種類には “ ファイル ”、“ 距離 ” と “ 時間 ” があります。
- ファイル ：設定したファイル数のプリントが終了したら、自動的にヘッドクリーニングを行う
- 距離 ：設定した長さを経過したら、自動的にヘッドのクリーニングを行う
- 時間 ：設定した時間を通過したら、自動的にヘッドのクリーニングを行う
- オートクリーニングの設定をしない場合は、“OFF” を選んでから手順 9 へ進んでください。

8 (ENTER) キーを押し、(▲)(▼) でクリーニング間隔を設定する

- 手順 5 で選択したオートクリーニングの種類によって、設定値は異なります。
- ファイルの場合 ： 1 ～ 1000 (1 ファイル単位で設定)
- 距離の場合 ： 0.1 ～ 100.0m (0.1m 単位で設定)
- 時間の場合 ： 10 ～ 120min (10min 単位で設定)

9 (ENTER) キーを押し、(▲)(▼) でクリーニングタイプを設定する

- 設定値 : ノーマル / ソフト / ハード

10 (ENTER) キーを押し、(▲)(▼) で “ 印刷前クリーニング ” を設定する

- 最後のプリントから、設定した時間が経過した後のプリント開始時に自動的にクリーニングを行います。不要な場合は、OFF を選択します。
- 手動でクリーニングを行った場合や、他のメンテナンス動作が実行された場合は時間のカウントがクリアされます。

11 (ENTER) キーを押し、(▲)(▼) で “ 区切り ” を設定する

- “RIP 区切り ” を選択すると、RIP から指定される画像と画像の切れ目でクリーニングを行います。
- “RIP 区切り ” を選択すると、バックフィードの選択が出来ます。バックフィードを ON にすると、クリーニングする前の位置からプリントを再開できます。OFF を選択すると空白ができます。

12 (ENTER) キーを押す

13 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

重 要!
- ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

ノズルチェックの流れ

以下の流れでノズルチェックを行います。

重 要！
- 「ノズルチェック」の設定を ”ON” にすると、有効になります。
- リトライ、自動ノズルリカバリの設定は、設定が有効な場合のみ行います。

1	ノズルチェック → 判定	ノズル抜けを検出します。
2	復旧動作 → ノズルチェック → 判定	ノズルチェック後「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合、クリーニングを行ってから再度ノズルチェックを行います。
3	リトライ → 判定	復旧動作後「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合、再度復旧動作を行います。 •「リトライ回数」の設定を 1 回以上にすると、有効になります。
4	自動ノズルリカバリ → 判定	ノズルチェックならびに復旧動作後、自動でノズルリカバリを行います。 •「自動ノズルリカバリ」の設定を ”ON” にすると、有効になります。
5	ノズル抜け判定	最終的に「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合は、プリント継続不可能と判定して、プリントを停止します。

「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作

- 「ノズル抜け」と判定された場合 → プリントを停止します。
- ノズルチェック実施中にエラーが発生した場合 → 印刷を停止し、自動的に「ノズルチェック」を “OFF” に設定します。エラーから復旧後は、再度「ノズルチェック」の設定を行ってください。

3

ノズルチェックの設定

オンライン印刷中にノズルチェックしたい場合、ON に設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➔ (ENTER) キーを押す

- ノズルチェックメニューを表示します。

2 (▲)(▼) を押して設定 1 ～ 4 を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 (FUNC3) (>>) を 2 回押す

4 (▲)(▼) を押して " オートノズルメンテナンス " を選び、(ENTER) キーを押す

5 (▲)(▼) を押して " ノズルチェック " を選び、(ENTER) キーを押す

6 "ON" を選択し、(ENTER) キーを押す

7 (▲)(▼) を押して設定項目を選び、(ENTER) キーを押す

- ノズルチェックの間隔を " 距離 " または " ファイル " から選びます。
- 距離　　：プリントした距離が設定した長さに達すると、ノズルチェックを行う
- ファイル：プリントしたファイル数が設定した数に達すると、ノズルチェックを行う
- 時間　　：プリント時間が設定した時間に達すると、ノズルチェックを行う

8 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す

- 手順 5 で選んだ設定項目により、設定値は異なります。
- 距離　　：0.1 ～ 100.0m (0.1m 単位で設定)
- ファイル：1 ～ 1000 (1 ファイル単位で設定)
- 時間　　：10 ～ 120min (10min 単位で設定)

9 (END/POWER) キーを押す

10 (▲)(▼) を押してクリーニングタイプを選び、(ENTER) キーを押す

- 設定値：ソフト / ノーマル / ハード / オート
- オートを選択した場合、ノズルの復旧具合に応じて、自動的に最適なクリーニングを実施します。

11 (▲)(▼) を押して " リトライ回数 " を選び、(ENTER) キーを押す

12 (▲)(▼) を押してリトライ回数を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定値　：0 ～ 3 回

13 (▲)(▼) を押して " 自動ノイズリカバリ " を選び、(ENTER) キーを押す

14 (▲)(▼) を押して " 判定条件 " を選び、(▲)(▼) を押してヘッドラインと色を選び、(ENTER) キーを押す

15 (▲)(▼) を押して判定ノズル数を設定し、(ENTER) キーを押す

- 設定値　：0 ～ 100 ノズル / OFF
- "OFF" に設定した場合、ノズルチェックを行いません。

16 (▲)(▼) を押して " 区切り " を選択し、(ENTER) キーを押す

17 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す

- "RIP 区切り " を選択すると、RIP から指定される画像と画像の切れ目でクリーニングを行います。
- "RIP 区切り " を選択すると、バックフィードの選択が出来ます。バックフィードを ON にすると、ノズルチェックする前の位置からプリントを再開できます。OFF を選択すると空白ができます。

18 終了するとき、(END/POWER) キーを押す

定期ワイピングの設定

設定した時間が経過すると､自動的にヘッドのノズル面をワイピングし､ノズル面に付着したインク滴を取り除きます。
飛行曲がりやノズル抜け､インク滴が落ちるなどの症状が出た場合、動作間隔を設定します。

1 ローカルで､FUNC1 **(MENU)** ➜ ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して設定 **1** ～ **4** を選び､ENTER キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 FUNC3 **(>>)** を **2** 回押す

4 ▲ ▼ を押して“定期ワイピング”を選び､ENTER キーを押す

5 ▲ ▼ を押して、動作間隔を設定する

- 設定値：3 ～ 255 min, OFF
- [OFF] にすると、定期ワイピングを行いません。

6 ENTER キーを押す

7 終了するとき､END/POWER キーを数回押す

重 要！
- 定期ワイピングを行うタイミングによっては、色味が変化する場合があります。あらかじめ色味に変化がないか、確認してください。

ヘッドギャップの設定

ヘッドギャップ(メディアからヘッドノズル面までの高さ) を設定します。

1 ローカルで､FUNC1 **(MENU)** ➜ ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して設定 **1** ～ **4** を選び､ENTER キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 FUNC1 **(<<)** を押す

4 ▲ ▼ を押して“ヘッドギャップ”を選び､ENTER キーを押す

5 ▲ ▼ を押してヘッドギャップ値を設定し､ENTER キーを押す

- 設定値：1.5 ～ 7.0mm

6 ENTER キーを押す

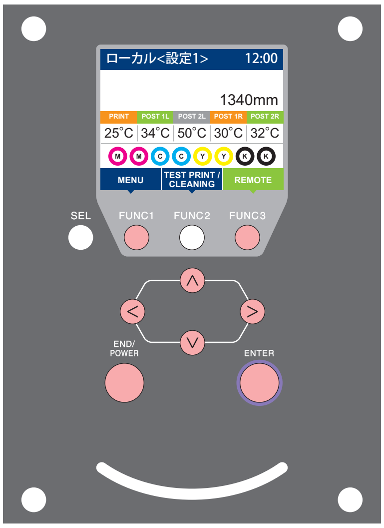
7 終了するとき､END/POWER キーを数回押す

重 要！
- 定期ワイピングを行うタイミングによっては、色味が変化する場合があります。あらかじめ色味に変化がないか、確認してください。

3

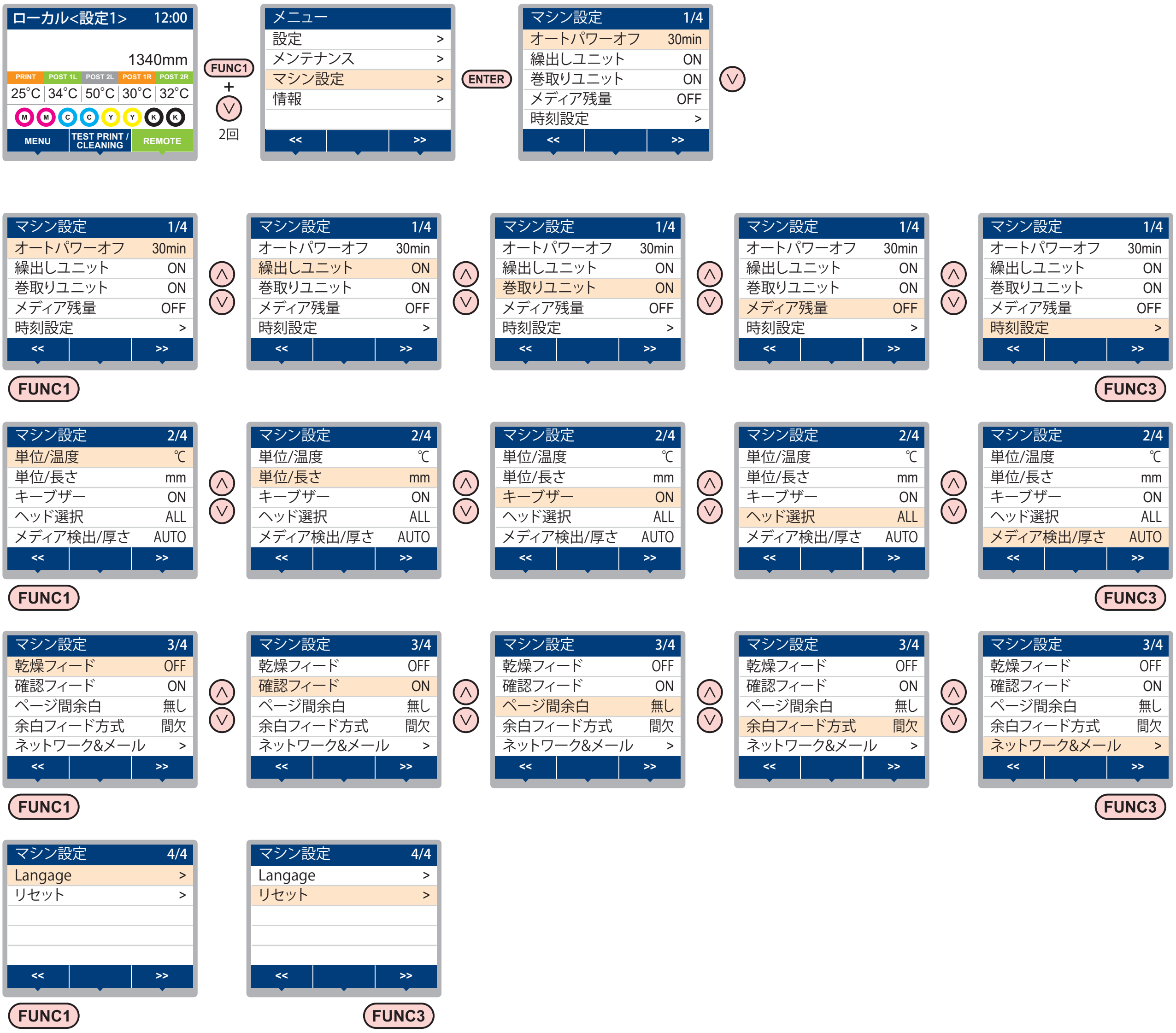
マシン設定メニューについて

本機を快適に使用するための各種設定です。
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。



- FUNC1 ： マシン設定メニューを選ぶとき、または、1 つ前の画面に切り替えるときに押す
- FUNC3 ： 次の画面に切り替えるときに押す
- ∧∨ ： 設定項目を選択するときに押す
- ENTER ： 設定を確定するときなどに押す

◆ マシン設定メニュー一覧



マシン設定メニュー一覧表

機能名称		設定値	初期値	内　容
オートパワーオフ (☞ P.3-18)		無し /10 ～ 600min	30min	設定した時間操作がない場合、自動で電源を "OFF" にします。
繰出しユニット (☞ P.3-18)		ON/ OFF	ON	繰出装置の ON/OFF ボタンを押したときの動作方法を設定します。
巻取りユニット (☞ P.3-18)		ON/ OFF	ON	巻取装置の ON/OFF ボタンを押したときの動作方法を設定します。
メディア残量 (☞ P.3-19)		ON/ OFF	OFF	メディアの残量を管理することができます。
時刻設定 (☞ P.3-19)		+4h ～ -20h		現在の日付と時刻を設定します。
単位 / 温度 (☞ P.3-19)		°C（摂氏）/ °F (華氏）	°C	温度の表示単位を設定します。
単位 / 長さ (☞ P.3-19)		mm / inch	mm	長さ、面積の表示単位を設定します。
キーブザー (☞ P.3-20)		ON / OFF	ON	キーを押したときのブザー音を設定します。
ヘッド選択 (☞ P.3-20)		All/ Head Line 1/ Head Line 2/ Head Line 3/ Head Line 1&2/ Head Line 2&3	All	ノズル詰まりなどのトラブルが解消しない場合、トラブルが発生していないヘッドのみを使用してプリントすることができます。
メディア検出 / 厚さ (☞ P.3-20)		Auto/Manual	Auto	メディアをセットしたときに任意のメディア厚さを入力したいときや、メディア厚さセンサーに問題があるとき "MANUAL" に設定します。
乾燥フィード (☞ P.3-21)		OFF/ 100 ～ 1000mm	OFF	プリントデータの後端まで均一に乾燥させるために、プリント完了後にフィードする長さを設定します。
	バックフィード	ON/ OFF	ON	
確認フィード (☞ P.3-21)		ON/ OFF	ON	テストプリントなどのプリント結果を確認するためにメディアのフィードを行うか設定します。
	バックフィード	ON/ OFF	ON	
ページ間余白 (☞ P.3-20)		無し / 10 ～ 500mm	無し	プリント間の余白量を設定します。
余白フィード方式 (☞ P.3-20)		連続 / 間欠	間欠	画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変更します。

機能名称				設定値	初期値	内　容
ネットワーク & メール	ネットワーク (☞P.3-21)					ネットワークの設定をします。
		IP アドレス確認				現在、本装置が使用中の IP アドレスを表示します。
		MAC アドレス確認				現在、本装置が使用中の MAC アドレスを表示します。
		DHCP		オン / オフ		オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。
		AutoIP		オン / オフ		オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。
		IP アドレス*1				本装置が使用する IP アドレスを設定します。
		デフォルトゲートウェイ *1				本装置が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。
		DNS アドレス *1				本装置が使用する DNS サーバーのアドレスを設定します。
		サブネットマスク *1				本装置が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。
	イベントメール (☞P.3-21)	メール送信		OFF/ ON	オフ	設定したイベントが起こった際に、メールを送信する機能を設定します。
		送信イベント選択	プリントスタート	オン / オフ	オフ	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定します。
			プリントエンド	オン / オフ	オフ	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。
			エラー	オン / オフ	オフ	エラー発生時にメールを送信する / しないを設定します。
			ワーニング	オン / オフ	オフ	ワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定します。
			その他	オン / オフ	オフ	上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。
		メールアドレス	イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。		英数字、記号 (96 文字)	
		件名	イベントメールの件名に記載する文字を設定します。		英数字、記号 (8 文字)	

機能名称			設定値		初期値	内 容
ネットワーク&メール	イベントメール(☞P.3-21)	サーバー設定	SMTP アドレス			SMTP サーバーを設定します。
			SMTP ポート No.			SMTP のポート番号を設定します。
			送信元メールアドレス			メールの送信元として使用するメールアドレスを設定します。
			認証方式	POP before SMTP		SMTP サーバーの認証方式を設定します。
				SMTP 認証		
				OFF		
			ユーザー名 *2			認証に使用するユーザー名を設定します。
			パスワード *2			認証に使用するパスワードを設定します。
			POP3 アドレス *3			POP サーバーを設定します。
			APOP *3			APOP の ON/OFF を設定します。
		テストメール送信	テストメールの送信を実行します。			
	設定ロック(☞P.3-21)	ロック(パスワード未設定時)	0000 ～ 9999		0000	ネットワーク、メール設定を管理者以外ができないよう、任意に 4 桁のパスワードが設定できます。
		ロック解除(パスワード設定時)				
LANGUAGE (☞P.3-21)			日本語 English Deutsch Français Español Italiano Português		English	表示言語を変更します。
リセット (☞P.3-21)			―――		―――	すべての設定項目を初期値に戻します。

*1. [DHCP]、[AutoIP] が両方オフの場合のみ設定可能
*2. [認証方式] がオフでない場合のみ設定可能
*3. [認証方式] が POP before SMTP の場合のみ設定可能

オートパワーオフの設定

設定した時間操作がない場合、自動で電源を“OFF”にします。

1 ローカルで、FUNC1 **(MENU)** を押す

2 ▲▼を押して “ マシン設定 ” を選び、ENTER キーを押す

3 ▲▼を押して “ オートパワーオフ ” を選び、ENTER キーを押す

4 ▲▼を押して設定値を選び、ENTER キーを押す

- 設定値：無し , 10 ～ 600 min

5 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

重 要!
- オートパワーオフした状態でパソコンからデータを受信すると電源オンしますが、自動でプリントを開始しません。

繰出しユニットの設定

繰出しユニットを使用する / しないを設定します。

1 ローカルで、FUNC1 **(MENU)** を押す

2 ▲▼を押して “ マシン設定 ” を選び、ENTER キーを押す

3 ▲▼を押して “ 繰出しユニット ” を選び、ENTER キーを押す

4 ▲▼を押して **ON/OFF** を選び、ENTER キーを押す

5 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

巻取りユニットの設定

巻取りユニットを使用する / しないを設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) を押す

2 (▲)(▼)を押して " マシン設定 " を選び、(ENTER)キーを押す

3 (▲)(▼)を押して " 巻取りユニット " を選び、(ENTER)キーを押す

4 (▲)(▼)を押して ON/OFF を選び、(ENTER)キーを押す

5 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

メディア残量表示の設定

メディア残量表示の設定をします。

メディア残量表示を ON にすると	リモートでメディア残量を表示します。（ただし、リーフメディアを使用した場合は、プリント長を表示します。）
メディア残量表示を OFF にすると	リモートでメディア残量は表示されません。

重要！
- メディア残量の表示は目安です。実際の残量とは差が出ることがあります。

- プリント、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。
- メディア長 (残量初期値) はロールメディア検出時に入力します。(☞ P.2-11)
- ここで行う設定は、設定終了後にメディア検出を行わないと有効になりません。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) を押す

2 (▲)(▼)を押して " マシン設定 " を選び、(ENTER)キーを押す

3 (▲)(▼)を押して " メディア残量 " を選び、(ENTER)キーを押す

4 (▲)(▼)を押して ON/OFF を選び、(ENTER)キーを押す

5 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

時刻の設定

お使いの国に合わせた時刻（時差）に設定することができます。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) を押す

2 (▲)(▼)を押して " マシン設定 " を選び、(ENTER)キーを押す

3 (▲)(▼)を押して " 時刻設定 " を選び、(ENTER)キーを押す

- 現在設定されている時刻が表示されます。

4 (FUNC2) (✔) を押して時刻入力モードにする

5 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して時刻を入力し、(ENTER)キーを押す

- 時分秒の選択 ：[◀][▶] で選ぶ
- 時分秒の入力 ：[▲][▼] で入力

6 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

- -20 ～ +4 時間の間で、設定できます。

単位 (温度 / 長さ) の設定

本機で使用する単位を設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) を押す

2 (▲)(▼)を押して " マシン設定 " を選び、(ENTER)キーを押す

3 (FUNC3) (>>) を押す

4 (▲)(▼)を押して " 単位 / 温度 " または " 単位 / 長さ " を選択し、(ENTER)キーを押す

5 (▲)(▼)を押して設定値を選び、(ENTER)キーを押す

- 温度の設定値 ：°C/°F
- 長さの設定値 ：mm/inch

6 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

キーブザーの設定

キーを押したときのブザー音を消すことができます。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲ ▼ を押して " マシン設定 " を選び、ENTER キーを押す

3 FUNC3 (>>) を押す

4 ▲ ▼ を押して " キーブザー " を選び、ENTER キーを押す

5 ▲ ▼ を押して ON/OFF を選び、ENTER キーを押す

6 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

- 設定を "OFF" にしても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

使用ヘッドラインを選択する

ノズル詰まりなどのトラブルが解消しない場合、トラブルが発生していないヘッドを使用してプリントすることができます。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲ ▼ を押して " マシン設定 " を選び、ENTER キーを押す

3 FUNC3 (>>) を押す

4 ▲ ▼ を押して、" ヘッド選択 " を選び、ENTER キーを押す

5 ▲ ▼ を押して、使用するヘッドを選び、ENTER キーを押す

- 設定値：All/ Head Line 1/ Head Line 2/ Head Line 3/ Head Line 1&2/ Head Line 2&3

6 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

メディア検出 / 厚さの設定をする

メディアをセットしたときに任意のメディア厚さを入力したいときや、メディア厚さセンサーに問題があるとき "MANUAL" に設定します。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲ ▼ を押して " マシン設定 " を選び、ENTER キーを押す

3 FUNC3 (>>) を押す

4 ▲ ▼ を押して、"メディア検出/厚さ"を選び、ENTER キーを押す

5 ▲ ▼ を押して、**"Auto"** または **"Manual"** を選び、ENTER キーを押す

6 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

乾燥フィードの設定をする

プリントデータの後端まで均一に乾燥させるために、プリント完了後にフィードする長さを設定します。
お使いの外部ヒーターの位置に合わせ、データ後端が外部ヒーターを通過する位置までフィードするように設定してください。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲ ▼ を押して " マシン設定 " を選び、ENTER キーを押す

3 FUNC3 (>>) を 2 回押す

4 ▲ ▼ を押して " 乾燥フィード " を選び、ENTER キーを押す

5 ▲ ▼ を押してフィードする長さを選び、ENTER キーを押す

- 設定値：OFF/100 ～ 1000mm
- OFF を選択した場合は、手順 7 に進みます。

6 ▲ ▼ を押して乾燥フィード後にバックフィードをするかを選び、ENTER キーを押す

- 設定値：ON/OFF

7 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

確認フィードの設定

テストプリントなどのプリント結果を確認するためにメディアのフィードを行うか設定します。

1. ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す
2. ▲▼を押して " マシン設定 " を選び、ENTER キーを押す
3. FUNC3 (>>) を 2 回押す
4. ▲▼を押して " 確認フィード " を選び、ENTER キーを押す
5. ▲▼を押して ON/OFF を選び、ENTER キーを押す
   - OFF を選択した場合は、手順 7 に進みます。
6. ▲▼を押して確認フィード後にバックフィードをするかを選び、ENTER キーを押す
   - 設定値：ON/OFF
7. 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

プリント間の余白を設定する

プリント間の余白量を設定します。

1. ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す
2. ▲▼を押して " マシン設定 " を選び、ENTER キーを押す
3. FUNC3 (>>) を 2 回押す
4. ▲▼を押して " ページ間余白 " を選び、ENTER キーを押す
5. ▲▼を押して余白量を設定し、ENTER キーを押す
   - 設定値：無し /10 ～ 500mm
6. 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

重要!

- 余白量を詰める方向へ設定した場合、プリント終了時にバックフィード動作を行います。
  その場合、以下の点に注意してください。
- 装置背面の繰出装置を使用しないでロールホルダーにメディアをセットする場合、バックフィードにより次のプリントを行う際のメディアテンションが変動し、プリントする画像の前端部だけメディアの送り量が変わる場合があります。このようなときは、手動でメディアを巻き戻してください。
- マシン設定の「乾燥フィード」(☞ P.3-20) で、乾燥フィード後のバックフィードが "OFF" に設定されている場合、本機能は無効となります。
- プリントするデータに既に余白がついている場合、本機能を使うと、「データについている余白 + 本機で設定した余白量」が余白として出力されます。

余白部分のフィード方式を設定する

画像データに含まれる余白部分(プリントするデータの無い部分）のフィード方式を変更します。余白部分の多いデータをプリントする場合、" 連続 " に設定することで、プリント時間を短縮することができます。

1. ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す
2. ▲▼を押して " マシン設定 " を選び、ENTER キーを押す
3. FUNC3 (>>) を 2 回押す
4. ▲▼を押して " 余白フィード方式 " を選び、ENTER キーを押す
5. ▲▼を押してフィード方式を設定し、ENTER キーを押す
   - 間欠：パス分割単位での間欠フィード動作を行う
   - 連続：データがない部分を一度にフィードする
6. 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

ネットワークの設定をする

ネットワークの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリングダウンロードページ（http://japan.mimaki.com/download）より " ドライバ / ユーティリティ " をチェックしてダウンロードしてください。

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** を押す

2 (▲)(▼)を押して " マシン設定 " を選び、(ENTER)キーを押す

3 (FUNC3) **(>>)** を **2** 回押す

4 (▲)(▼)を押して"ネットワーク&メール"を選び、(ENTER)キーを押す

5 (▲)(▼)を押して " ネットワーク " を選び、(ENTER)キーを押す

6 (▲)(▼)を押して **"IP** アドレス確認 " を選び、(ENTER)キーを押す

- 現在、本装置が使用中のIPアドレスを表示します。

- ネットワークに接続後、IP アドレスが確定するまで時間がかかります。
IP アドレス未確定の場合、「0.0.0.0」と表示します。

7 (▲)(▼)を押して **"MAC** アドレス確認 " を選び、(ENTER)キーを押す

- 現在、本装置が使用中の MAC アドレスを表示します。

8 (▲)(▼)を押して **"DHCP"** を選び、(ENTER)キーを押す

- [▲][▼] を押して、オン / オフを設定します。
- オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。

9 (▲)(▼)を押して **"AutoIP"** を選び、(ENTER)キーを押す

- "▲""▼" を押して、オン / オフを設定します。
- オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。

10 (▲)(▼)を押して次の各項目を選び、(ENTER)キーを押す

- DHCP、AutoIP が両方オフの場合、IP アドレス / デフォルトゲートウェイ/DNS アドレス/サブネットマスクの設定ができます。それ以外の場合、手順 13 へ進みます。

11 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して設定する

12 (ENTER)キーを押して、設定値を確定する

13 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

- ネットワークの設定を反映するには、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

イベントメール機能の設定

プリントの開始 / 終了や、エラーによる中断などのイベントが発生した際に、設定したメールアドレスにメールを送信する機能を設定します。
イベントメールの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリングのダウンロードページ（http://japan.mimaki.com/download）より " ドライバ / ユーティリティ " をチェックしてダウンロードしてください。

免責事項
- メール通知その他、インターネットの通信が発生した場合の通信費用は、お客様負担となります。
- イベントメール機能による通知は、インターネット環境や機器の故障、電源の故障などの要因により、不達となることがありえます。不達や遅延があった場合などに置いて発生した損害について、当社では責任を負いかねます。

重 要！
- イベントメール機能は本機を LAN 接続することによって使用できます。あらかじめ LAN ケーブルの接続をしておいてください。
- SSL 通信には対応していません。

イベントメール機能を有効にする

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** を押す

2 (▲)(▼)を押して " マシン設定 " を選び、(ENTER)キーを押す

3 (FUNC3) **(>>)** を **2** 回押す

4 (▲)(▼)を押して"ネットワーク&メール"を選び、(ENTER)キーを押す

5 (▲)(▼)を押して " イベントメール " を選び、(ENTER)キーを押す

6 (▲)(▼)を押して " メール送信 " を選び、(ENTER)キーを押す

7 (▲)(▼)を押して **"ON"** を選び、(ENTER)キーを押す

8 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

イベントメールを送るイベントを設定する

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) を押す

2 (▲)(▼)を押して " マシン設定 " を選び、(ENTER)キーを押す

3 (FUNC3) (>>) を 2 回押す

4 (▲)(▼)を押して"ネットワーク&メール"を選び、(ENTER)キーを押す

5 (▲)(▼)を押して"イベントメール"を選び、(ENTER)キーを押す

6 (▲)(▼)を押して " 送信イベント選択 " を選び、(ENTER)キーを押す

7 (▲)(▼)を押してイベントを選び、(FUNC2) (✔) を押す

- イベント選択後に [FUNC2] を押して、チェックボックスにチェックを入れてください。
  チェックが入っているイベントが起こったときに、メール送信を行います。
- 複数のイベントを選択したい場合は、[▲][▼] を押して選択したいイベントにカーソルを合わせ、[FUNC2] を押してチェックを入れてください。

イベント名	概要
プリントスタート	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定します。
プリントエンド	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。
エラー	エラー発生によるプリント中断時にメールを送信する / しないを設定します。
ワーニング	プリント中のワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定します。
その他	上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。

8 (ENTER)キーを押す

9 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

メールアドレスを設定する

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) を押す

2 (▲)(▼)を押して " マシン設定 " を選び、(ENTER)キーを押す

3 (FUNC3) (>>) を 2 回押す

4 (▲)(▼)を押して"ネットワーク&メール"を選び、(ENTER)キーを押す

5 (▲)(▼)を押して"イベントメール"を選び、(ENTER)キーを押す

6 (▲)(▼)を押して " メールアドレス " を選び、(ENTER)キーを押す

7 (▲)(▼)(◀)(▶)を押してアドレスを設定し、(ENTER)キーを押す

- イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。
- 英数字、記号、96 文字以内で設定します。

8 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

件名を設定する

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) を押す

2 (▲)(▼)を押して " マシン設定 " を選び、(ENTER)キーを押す

3 (FUNC3) (>>) を 2 回押す

4 (▲)(▼)を押して"ネットワーク&メール"を選び、(ENTER)キーを押す

5 (▲)(▼)を押して " イベントメール " を選び、(ENTER)キーを押す

6 (▲)(▼)を押して " 件名 " を選び、(ENTER)キーを押す

7 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して件名を設定し、(ENTER)キーを押す

- イベントメールの件名に記載する文字を設定します。
- 英数字、記号、8 文字以内で設定します。

8 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

サーバーを設定する

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** を押す

2 (▲)(▼)を押して " マシン設定 " を選び、(ENTER)キーを押す

3 (FUNC3) **(>>)** を **2** 回押す

4 (▲)(▼)を押して"ネットワーク&メール"を選び、(ENTER)キーを押す

5 (▲)(▼)を押して " イベントメール " を選び、(ENTER)キーを押す

6 (▲)(▼)を押して " サーバー設定 " を選び、(ENTER)キーを押す

7 (▲)(▼)を押して **"SMTP** アドレス " を選び、(ENTER)キーを押す

8 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して**SMTP**アドレスを設定し、(ENTER)キーを押す

- [▲][▼][◀][▶] を押して、SMTP アドレスを設定します。
- SMTP アドレス名を入力してください。

9 (▲)(▼)を押して **"SMTP** ポート **No."** を選び、(ENTER)キーを押す

10 (▲)(▼)を押して**SMTP**ポート**No.**を設定し、(ENTER)キーを押す

- SMTP のポート番号を設定します。

11 (▲)(▼)を押して"送信元メールアドレス"を選び、(ENTER)キーを押す

12 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して送信元メールアドレスを設定し、(ENTER)キーを押す

- [▲][▼][◀][▶] を押して、送信元メールアドレスとして使用するアドレスを設定します。
- 英数字、記号、64 文字以内で設定します。

> • 使用するサーバーによっては、アカウントに対応したメールアドレスを設定しないとメールを送信できない場合があります。

13 (▲)(▼)を押して " 認証方式 " を選び、(ENTER)キーを押す

14 (▲)(▼)を押して認証方式を設定し、(ENTER)キーを押す

- SMTP サーバーの認証方式を設定します。
- [POP before SMTP] を選択した場合は、手順 15 に進みます。
- [SMTP 認証] を選択した場合は、手順 15 〜 18 の操作をした後、手順 23 に進みます。
- [オフ] を選択した場合は、手順 23 に進みます。

15 (▲)(▼)を押して " ユーザー名 " を選び、(ENTER)キーを押す

16 (▲)(▼)(◀)(▶)を押してユーザー名を設定し、(ENTER)キーを押す

- [▲][▼][◀][▶] を押して、認証に使用するユーザー名を設定します。
- 英数字、記号、30 文字以内で設定します。

17 (▲)(▼)を押して " パスワード " を選び、(ENTER)キーを押す

18 (▲)(▼)(◀)(▶)を押してパスワードを設定し、(ENTER)キーを押す

- [▲][▼][◀][▶] を押して、認証に使用するパスワードを設定します。
- 英数字、記号、15 文字以内で設定します。

> • パスワードの設定画面では、現在入力中の値のみ確認が可能です。

19 (▲)(▼)を押して **"POP3** アドレス " を選び、(ENTER)キーを押す

20 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して **POP3** アドレスを設定し、(ENTER)キーを押す

- [▲][▼][◀][▶] を押して、POP サーバーを設定します。
- POP サーバー名を入力してください。

21 (▲)(▼)を押して **"APOP"** を選び、(ENTER)キーを押す

22 (▲)(▼)を押して **ON/OFF** を設定し、(ENTER)キーを押す

23 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

テストメールを送信する

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲▼を押して " マシン設定 " を選び、ENTER キーを押す

3 FUNC3 (>>) を 2 回押す

4 ▲▼を押して"ネットワーク&メール"を選び、ENTER キーを押す

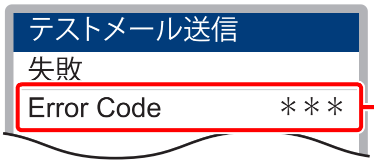
5 ▲▼を押して " イベントメール " を選び、ENTER キーを押す

6 FUNC3 (>>) ➡ ENTER キーを押す

- " テストメール送信 " が選択されます。

7 ENTER キーを押す

- 送信結果を表示します。
- テストメールの送信に失敗した場合、エラーコードを表示します。



エラーコード

8 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

重要!

- テストメールの送信結果は、本装置がメールサーバーに対して行ったメール送信処理の結果です。メールが宛先に届いたことを示すものではありません。
- メールを受信する端末側で迷惑メールフィルタなどを設定している場合、「ソウシンカンリョウ」となってもメールが届かない場合があります。
- テストメールの送信に失敗した場合、以下のエラーコードを表示します。
- エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してみてください。
- サーバーの設定等については、ネットワーク管理者またはプロバイダにご相談ください。

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワーク接続エラー	• 装置がネットワークに接続されていることを確認してください。 • 装置の IP アドレスが正しいことを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません	• 正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません	• POP サーバーのアドレスを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
11021	POP サーバーに接続できません	• POP サーバーの設定を確認してください。 • ファイアーウォールの設定を確認してください。
12010	POP サーバーからエラーが返答されました	• POP サーバーの設定を確認してください。
13000	POP 認証に失敗しました	• ユーザー名とパスワードを確認してください。 • APOP の設定を確認してください。 • 認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません。	• SMTP サーバーのアドレスを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
10021	SMTP サーバーに接続できません	• SMTP サーバーの設定を確認してください。 • SMTP ポート番号を確認してください。 • ファイアーウォールの設定を確認してください。
10*** 11*** 20*** 21***	SMTP サーバーからエラーが返答されました	• SMTP サーバーの設定を確認してください。 • SSL 通信が必須のサーバーとは通信できません。 • プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです	• ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
13***	メールの宛先が見つかりません	• メールアドレスを確認してください。 • メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。
22000 22008	SMTP 認証エラー	• 認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP 認証に失敗しました	• ユーザー名とパスワードを確認してください。

"***" はメールサーバーから返答されたエラーコード

設定ロックの設定をする

ネットワーク、メール設定を管理者以外ができないよう、任意に 4 桁のパスワードが設定できます。

ネットワーク、イベントメール機能のパスワードを設定する

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲▼を押して " マシン設定 " を選び、ENTER キーを押す

3 FUNC3 (>>) を 2 回押す

4 ▲▼を押して"ネットワーク&メール"を選び、ENTER キーを押す

5 ▲▼を押して " 設定ロック " を選び、ENTER キーを押す

6 任意のパスワード (4 桁) を設定し、ENTER キーを押す

- 設定開始通知を一定時間表示します。

7 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

ネットワーク、イベントメール機能のパスワードを解除する

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲▼を押して " マシン設定 " を選び、ENTER キーを押す

3 FUNC3 (>>) を 2 回押す

4 ▲▼を押して"ネットワーク&メール"を選び、ENTER キーを押す

5 ▲▼を押して " 設定ロック " を選び、ENTER キーを押す

6 4 桁のパスワードを入力し、ENTER キーを押す

- 解除が成功すると
  ディスプレイに " 解除成功 " のメッセージを表示します。
- 解除が失敗すると
  ディスプレイに " 解除失敗 " のメッセージを表示します。

7 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

重 要!
- パスワードを忘れてしまった場合には、手順 7 の画面を表示中に "[FUNC2] (✔)" キーを押すことで、パスワード強制解除画面となります。[ENTER] キーを押すとパスワードの強制解除はできますが、ネットワーク & イベントメールで設定した項目も初期化してしまいますので、再設定が必要となりますのでご注意ください。

言語の設定をする

表示言語を変更します。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲▼を押して " マシン設定 " を選び、ENTER キーを押す

3 FUNC1 (<<) を押す

4 ▲▼を押して **"Language"** を選び、ENTER キーを押す

5 ▲▼を押して言語を選び、ENTER キーを押す

- 設定値：日本語 / English / Deutsch / Français / Español / Italiano / Português

6 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

設定した内容を初期状態に戻す

「設定」「メンテナンス」「マシン設定」で設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲▼を押して " マシン設定 " を選び、ENTER キーを押す

3 FUNC1 (<<) を押す

4 ▲▼を押して " リセット " を選び、ENTER キーを押す

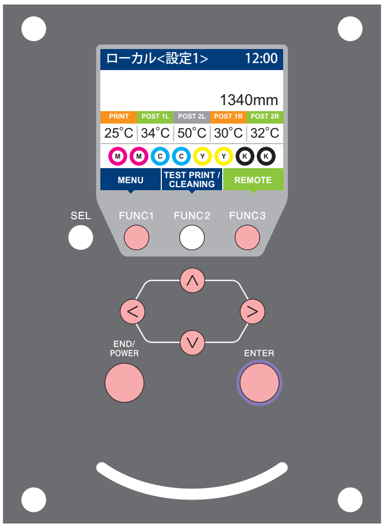
5 ENTER キーを押す

- 設定を初期化します。

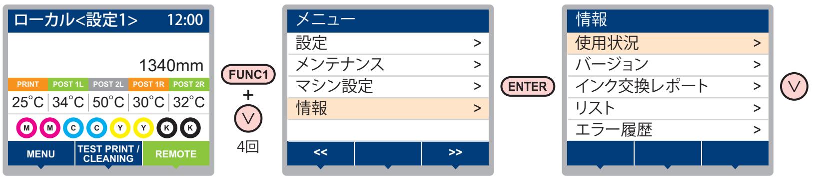
6 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

情報メニューについて

本機の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は、次の項目です。



FUNC1 ：情報メニューを選ぶときに押す
FUNC3 ：次の画面に切り替えるときに押す
∧∨ ：設定項目を選択するときに押す
ENTER ：設定を確定するときなどに押す



情報メニュー一覧表

項　目		内　容
使用状況	ワイピング	ワイピングした回数を表示します。
	プリント長	今までプリントした長さを表示します。
	最新プリント長	直前にプリントしたプリント長さを表示します。
	プリント面積	今までプリントした面積を表示します。
	使用時間	今までの使用時間を表示します。
	ヘッドメンテナンス	最後にヘッドメンテナンスを実行してからの経過時間を表示します。
	ステーションメンテナンス	最後にステーションメンテナンスを実行してからの経過時間を表示します。
	ノズル洗浄	最後にノズル洗浄を実行してからの経過時間を表示します。
	ポンプ洗浄	最後にポンプ洗浄を実行してからの経過時間を表示します。
	保管洗浄	最後に保管洗浄を実行してからの経過時間を表示します。
バージョン		装置のバージョン情報を表示します。
リスト		装置の設定内容をプリントします。
インク交換レポート		装置で使用したインクの履歴をプリントします。
エラー履歴		現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。 [▲][▼] を押して、発生順に発生日時 (年月日時分) とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。

情報を表示させる

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲▼を押して " 情報 " を選び、ENTER キーを押す

- 情報メニューを表示します。

3 ▲▼を押して項目を選ぶ

- 「情報メニュー一覧表」を参照して、表示する情報を選びます。

4 ENTER キーを押す

- 手順 2 で [リスト] を選んだ場合、装置の設定内容がプリントされます。

5 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

ワイパーの使用カウントをリセットしたい場合

1 情報メニューの " 使用状況 " を表示させる

(1) ローカルで [FUNC1](MENU) を押す
(2) [▲][▼] を押して " 情報 " を選び、[ENTER] キーを 2 回押す

2 ▲▼を押して " ワイピング " を選び、FUNC2 (✔) キーを押す

- ワイパーの使用カウントをクリアするかの確認画面を表示します。

3 クリアする場合、ENTER キーを押す

- ワイピング回数がクリアされます。

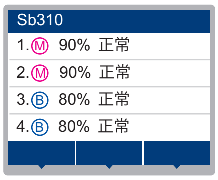
本機の情報を表示する

1 ローカルで、ENTER キーを押す

2 ENTER キーを押すごとに、順次情報が表示される

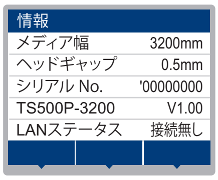
- 以下のような情報が表示されます。

インク情報



エラー / ワーニング表示 (発生時のみ)

マシン情報 (メディア幅 / シリアル No./ バージョン)



ノズルチェック結果 (ノズルチェックで検出したノズル抜け本数)

3 ENTER キーを押して、ローカルに戻る

第 4 章
お手入れ

この章では ...

日常行っていただくお手入れ方法やインクユニットのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ 4-2
　お手入れ上のご注意 4-2
　メンテナンス洗浄液について 4-2
　外装のお手入れ 4-2
　プラテンの清掃 4-2
　背面カバー・ポストヒーターカバーの清掃 4-2
　メディアセンサーの清掃 4-3
　メディア押さえの清掃 4-3
フラッシングユニット周辺の清掃 4-4
　フラッシング BOX センサーの清掃 4-4
　インク受けスポンジの清掃 4-5
メンテナンスニューについて 4-6
　メンテナンスメニュー一覧表 4-7
キャッピングステーションのメンテナンス .. 4-8
　ワイパーとキャップの清掃 4-8
　インク排出路の洗浄 4-10
　長期間使用しない場合 (保管洗浄) 4-10
ヘッド周辺の清掃 4-12
ノズル詰まりが復旧しない場合 4-14
　ヘッドノズルの洗浄 4-14
　ノズルリカバリ機能 4-15
オートメンテナンス機能 4-18
　リフレッシュレベルの設定をする 4-18
　クリーニングレベルを設定する 4-18
インクチャージをする 4-19
廃インクタンクの交換 4-21
　廃インクタンク確認メッセージが表示されたら 4-21
　廃インク量による動作制限について 4-23
消耗品の交換 4-23
　ワイパーを交換する 4-23
　ミストフィルター (HF フィルター) の交換 4-24
　期限切れのインクを廃棄する 4-25
　インクタンクを交換する 4-25
　カッター刃の交換 4-27
　NCU インク吸収材の交換 4-28
　タンクキャリブレーション 4-29

日常のお手入れ

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本機のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

	• メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の手袋と保護メガネを使用してください。
	• 本機を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。 また、お手入れは電源ボタン・主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
	• 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
	• 本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用 (出力) されないときには、定期的に微量のインクを吐出 (フラッシング) させる必要があります。 • 長時間使用されないときには、前面の電源ボタンのみを OFF とし、側面の主電源スイッチは ON(｜の状態) およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。 • ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。 • 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。 • メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

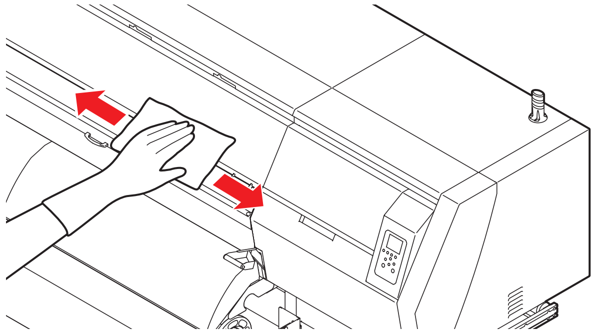
メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
昇華転写インク	洗浄液 03 メンテナンスキット (ML003-Z-K1)

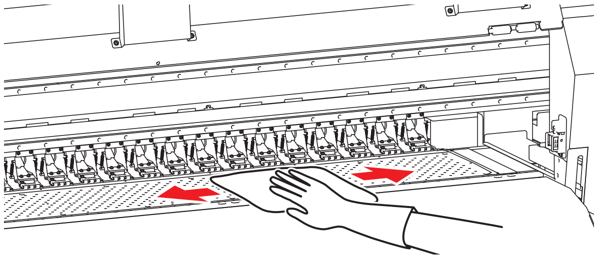
外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。



プラテンの清掃

プラテン上は、メディアの糸や紙粉等で汚れやすくなります。
汚れが目立つときは、やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。



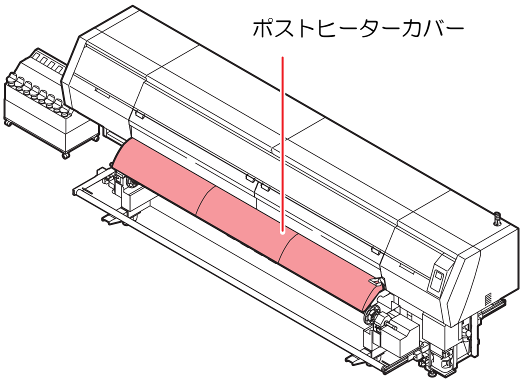
• インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。

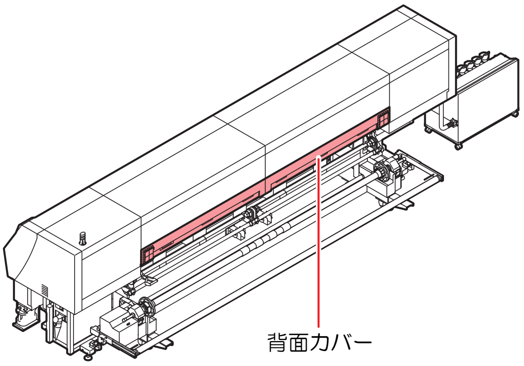
重要！
• プラテンの清掃は、ヒーターの温度が十分下がった状態で行ってください。
• プラテンの清掃時、プラテンに強い力を加えたり硬い布等で清掃しないでください。プラテンが傷ついたり変形し、プリント時に画質が低下する恐れがあります。また、プラテンが変形したためにメディアが蛇行し、プリントヘッドが破損する恐れがあります。

背面カバー・ポストヒーターカバーの清掃

背面カバーやポストヒーターカバーは、メディアの粉等で汚れやすくなります。
汚れが目立つ場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。

重要！
• ポストヒーターカバーの清掃は、ヒーターの温度を十分に下げてから行ってください。





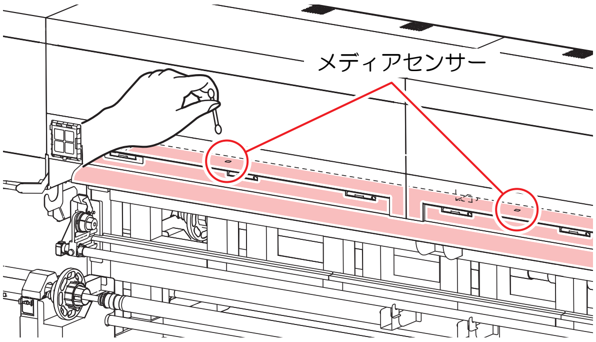
メディアセンサーの清掃

メディアセンサーは、背面カバー上 (2 カ所) と、ヘッドの下面 (1 カ所) にあります。センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。
綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。

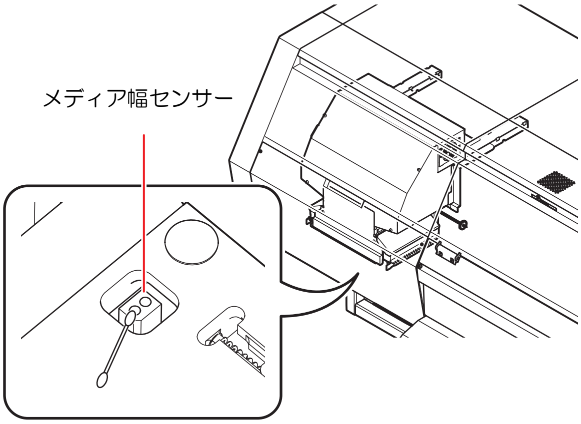
ヘッド下面のセンサーを清掃するときは、P.4-12「ヘッド周辺の清掃」手順 1 の操作をして、キャリッジを左端に移動させてから清掃してください。

注意
- センサーに綿棒を強く押し当てないでください。センサーが破損する恐れがあります。

装置背面



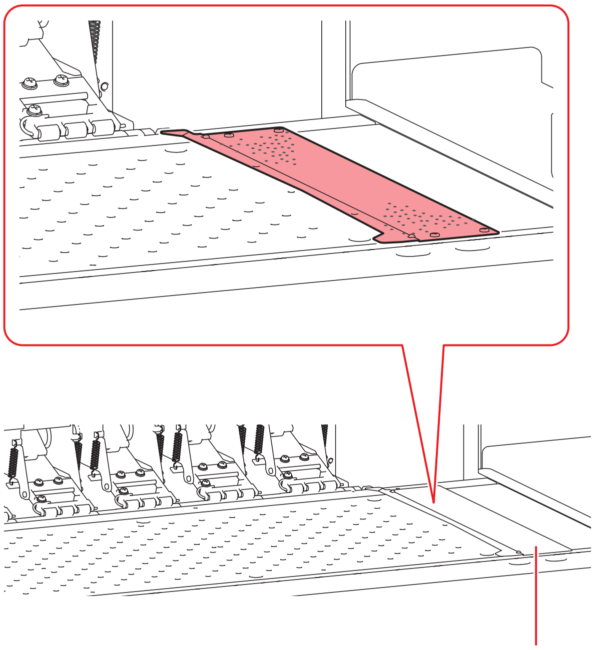
ヘッド下面



メディア押さえの清掃

メディア押さえに糸くずやホコリ等がたまると、プリント時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコリ等がノズルに付着して正常なプリントができなくなることがあります。
メディア押さえは、乾いた布やペーパータオルなどで定期的に清掃してください。
また、メディア押さえにインクが付着している場合は、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ってください。

重要!
- メンテナンス洗浄液を使用する場合は、メディア押さえにメンテナンス洗浄液が残らないように拭き取ってください。



4

フラッシングユニット周辺の清掃

本機はヘッドのインク詰まりを防止するため、定期的にフラッシングユニットにインクの吐出を行います。
本機を快適にお使いになるため、フラッシングユニット周辺の清掃をしてください。

清掃に必要な道具	
・クリーンスティック	・手袋
・ゴーグル	

注意
- 清掃を行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

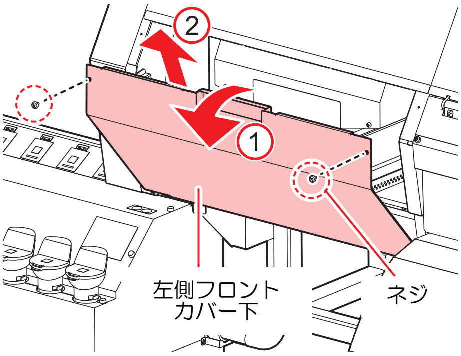
フラッシング BOX センサーの清掃

フラッシングBOXセンサーは、定期的(週に1回程度)清掃してください。

1 左側フロントカバー下を外す

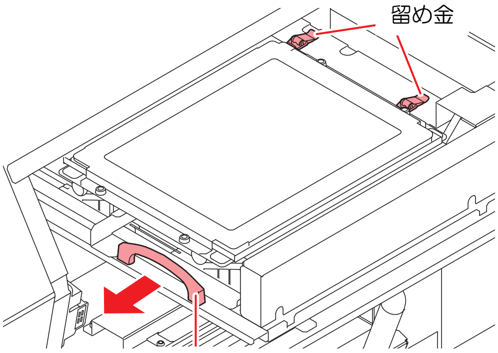
(1) 左側フロントカバー下のネジ (2 箇所) を外す
(2) 左側フロントカバー下を手前に引いてから上に上げ、左側フロントカバー下を取り外す

- 付属のドライバーを使って開けてください。

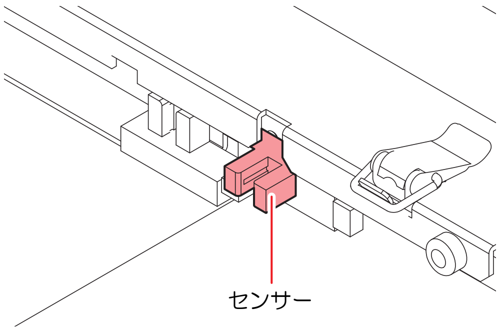


2 フラッシングユニットを左へずらす

(1) 留め金を外す
(2) 取っ手を持って、フラッシングユニットをずらす

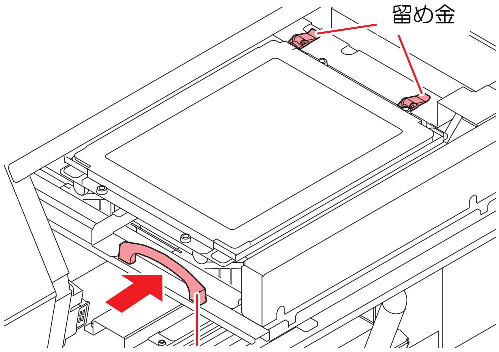


3 センサー部分をクリーンスティックで清掃する



4 フラッシングユニットを元の位置へ戻す

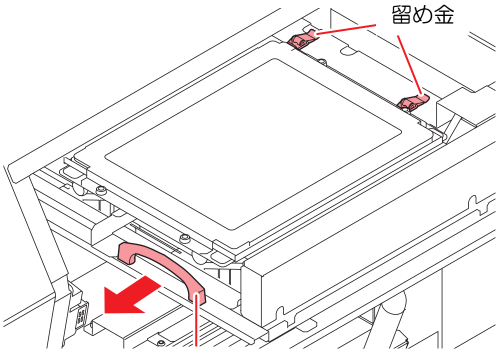
(1) 取っ手を持って、フラッシングユニットをずらす
(2) 留め金を留める



インク受けスポンジの清掃

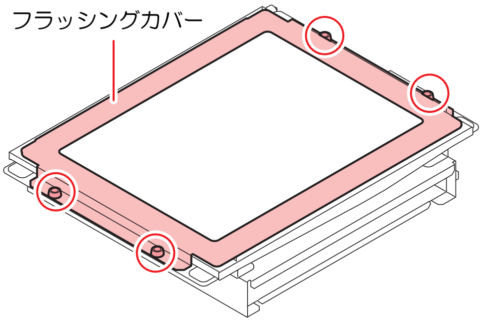
1 フラッシングユニットを左側へずらす

- P.4-4「フラッシング BOX センサーの清掃」手順 2 までの操作をしてください。

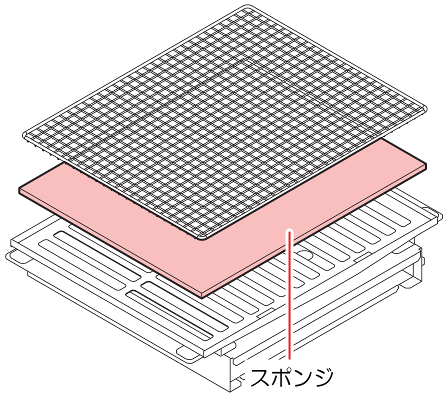


2 フラッシングカバーを取り外し、インク受けスポンジを取り出す

(1) フラッシングカバーのネジ (4 箇所) を外し、カバーを外す



(2) インク受けスポンジ押さえを取り外し、インク受けスポンジを取り出す

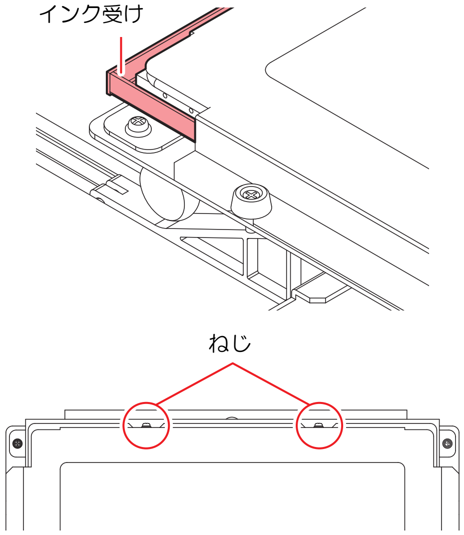


3 インク受けスポンジを水道水に浸し、軽くもみ洗いする

- スポンジを洗った廃液は、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

4 フラッシングユニットを元の状態に戻す

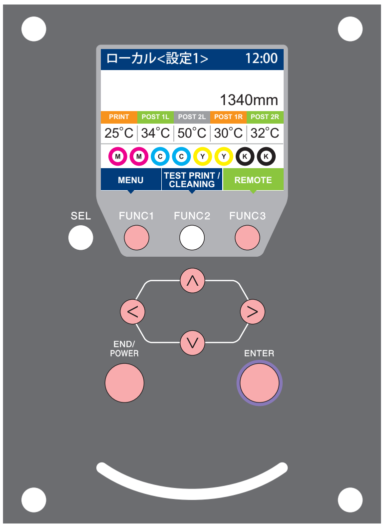
- フラッシングカバーはネジが付いている方を奥側にして取り付けてください。
- インク受けスポンジ・インクスポンジ押さえ・フラッシングカバーはインク受け内に収まっていることを確認してください。



4

メンテナンスメニューについて

本機のメンテナンスをするための各種設定です。
メンテナンス設定で設定できる内容は、次の項目です。



FUNC1 ：メンテナンスメニューを選ぶとき、または、1 つ前の画面に切り替えるときに押す
FUNC2 ：メンテナンス機能を使用するときに押す
FUNC3 ：次の画面に切り替えるときに押す
∧∨ ：設定項目を選択するときに押す
ENTER ：設定を確定するときなどに押す

◆ メンテナンスメニュー一覧

◆ FUNC2キーを押して “ ステーションメンテ ” を行う

ローカルから [MENU]-[メンテナンス] を選ばなくても簡単にステーションメンテメニューを表示させることができます。
[SEL] キーを押して [FUNC2] に “MAINT” を表示させてから、[FUNC2] キーを押してください。

メンテナンスメニュー一覧表

項　目		設定値	内　容
ステーションメンテナンス	キャリッジやステーション周辺のメンテナンスを行います。		
	キャリッジアウト (☞ P.4-8)		キャリッジを移動し、キャップ周辺やヘッド、ワイパー等の清掃を行います。
	ノズル洗浄 (☞ P.4-14)	1 ～ 15min	ノズル面をメンテナンス洗浄液で浸し、ノズル抜けや曲がり等の復旧を行います。
	ポンプチューブ洗浄 (☞ P.4-10)		吸引ポンプチューブの洗浄を行います。
	保管洗浄 (☞ P.4-10)	1 ～ 15min	本機を長期間使わないときに行います。あらかじめノズル洗浄と排路洗浄を行い、本機を快適な状態に保ちます。
	ワイパー交換 (☞ P.4-23)		ワイパーの交換をするときに使用します。ワイパー交換を行うと、本機で管理されていたワイパー使用回数がリセットされます。
ノズルリカバリ (☞ P.4-15)	ノズル洗浄等をしてもノズル抜け等が復旧しない場合、他のノズルを使用してプリントします。		
	プリント		パターンをプリントし、ノズル詰まりを起こしているノズルの確認 / 登録を行います。
	登録		“ プリント ” で確認した不良ノズルを登録します。
	チェック		リカバリーできるプリント条件を確認します。
	リセット		登録した不良ノズルをリセットします。
オートメンテナンス (☞ P.4-18)	各種メンテナンス機能を自動的に行います。各々のメンテナンス実行間隔を設定してください。		
	リフレッシュ	OFF/Lv.1/Lv.2/Lv.3	リフレッシュ動作の間隔を設定します。
	クリーニング	OFF/Lv.1/Lv.2/Lv.3	ヘッドクリーニングの動作間隔を設定します。 “OFF” 以外に設定したとき、クリーニングタイプ (ソフト / ノーマル / ハード) を設定できます。
サブタンク (☞ P.5-4)			インクの充填動作を行い、インクエラーやノズル詰まりを解消します。
インクチャージ (☞ P.4-19)			オートチャージができなかった場合や、IC チップの内容を確認してからインクのチャージをしたい場合に使用します。
インクタンク交換 (☞ P.4-25)			期限切れのインクタンクを交換し、チャージした情報をリセットします。
期限切れインク廃棄 (☞ P.4-25)			使用期限の切れたインクを廃棄して、チャージした情報をリセットします。
タンクキャリブレーション (☞ P.4-29)			インク供給ユニットの重量天秤の補正を行います。

キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー等のメンテナンスをします。
(ステーションメンテナンス)

インクキャップやワイパーは、それぞれ次のような働きをしています。
- **ワイパー**　　：ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- **インクキャップ**：ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本機を使用していると、インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。
ヘッドクリーニングを実行 (☞ P.2-18) しても、ノズル抜けが解消されない場合は、メンテナンス用洗浄液 とクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	
• 洗浄液 03 メンテナンスキット (品番 :ML003-Z-K1)	
• クリーンスティック (品番：SPC-0527)	
• 手袋	• ゴーグル

注 意
- キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、[FUNC2](TEST PRINT/CLEANING) キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(☞ P.4-8 手順 1 ～ 2)
- キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパは、必ず毎日メンテナンスをおこなってください。汚れたままにした場合、ノズル面に汚れが付着したり、ノズルにゴミや凝固インクをこすりつけ、吐出不良が発生する恐れがあります。

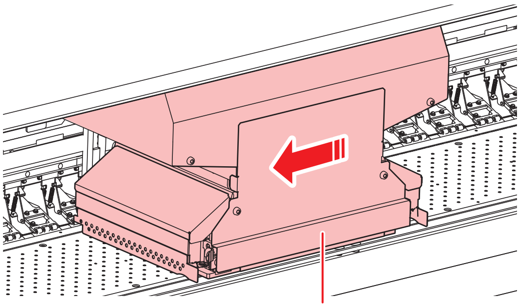
ワイパーとキャップの清掃

画質や本機の状態を良好に保つため、こまめに清掃されることをお勧めします。

重 要！
- 1 日の作業終了後に、ワイパーと周辺の清掃をしてください。
- ワイパーの汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパーと交換してください。(☞ P.4-23)
- 清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。

1 ローカルで (SEL) キーを押し、(FUNC2) (MAINT) を押す
- メンテナンスメニューを表示します。

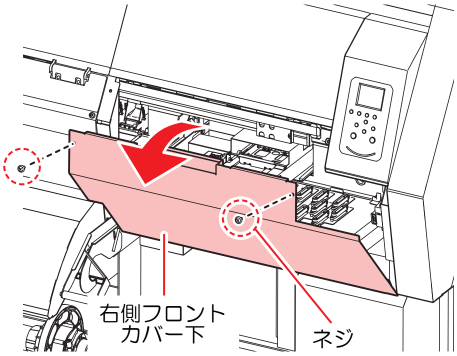
2 (▲)(▼)を押して “ キャリッジアウト ” を選び、(ENTER) キー 2 回を押す
- キャリッジがプラテン上に移動します。



3 右側フロントカバー下を開ける

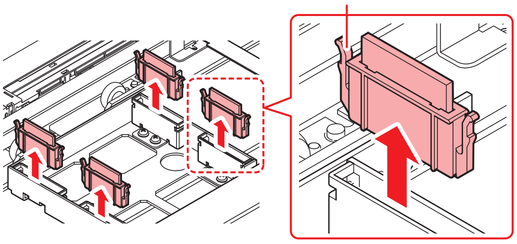
(1) 右側フロントカバー下のネジ (2 箇所) を取り除く
(2) 右側フロントカバー下の上側を持ち、手前に引く

- 右側フロントカバー下は、付属のドライバーを使って開けてください。



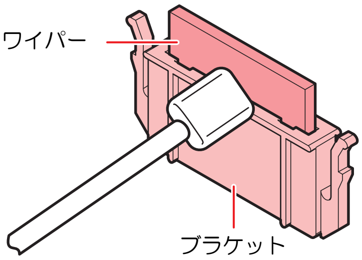
4 ワイパーを取り出す

- ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



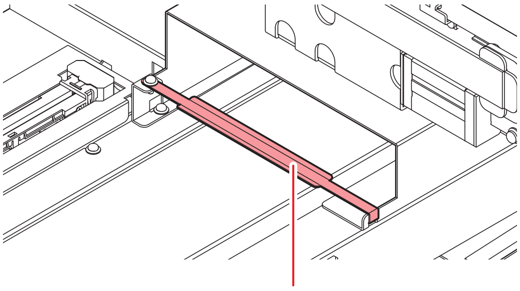
5 ワイパーとブラケットを清掃する

- ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
  メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



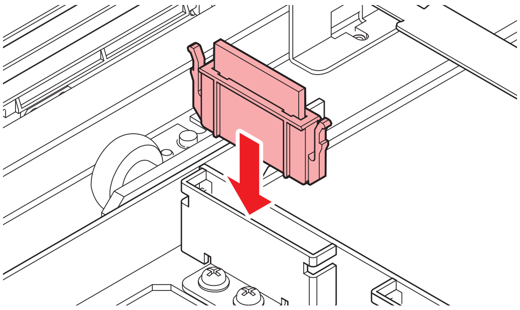
6 ワイパークリーナーを清掃する

- ワイパークリーナーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。



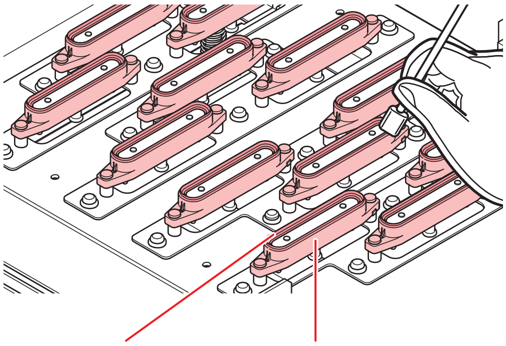
7 ワイパーを元の位置に戻す

- ワイパーの両端を持って差し込みます。



8 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
  メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



9 右側フロントカバー下を閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

[FUNC2] (MAINT) を使わないでステーションメンテナンスをするには

[FUNC2] (MAINT) を押さなくても、ローカルから [FUNC1] (MENU) を使ってステーションメンテを選ぶことができます。

(1) ローカルで [FUNC1] (MENU) を押す
(2) [▲][▼] キーを押して " メンテナンス " を選び、[ENTER] キーを押す
(3) [▲][▼] キーを押して " ステーションメンテ " を選び、[ENTER] キーを押す
- ステーションメンテナンスメニューを表示します。この後は、手順 2 以降の操作をしてください。

4

インク排出路の洗浄

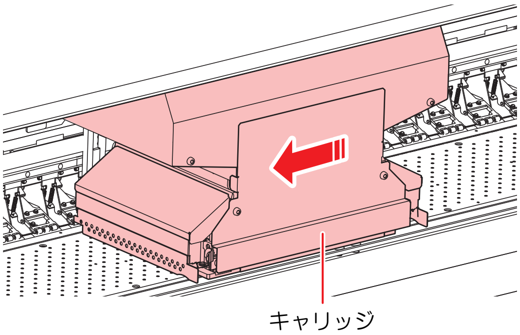
インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的 (2 ～ 3ヶ月に一度位) にインク排出路の洗浄をしてください。

1 ローカルで SEL キーを押し、FUNC2 (MAINT) を押す

- メンテナンスメニューを表示します。

2 ▲ ▼ を押して " ポンプチューブ洗浄 " を選び、ENTER キーを押す

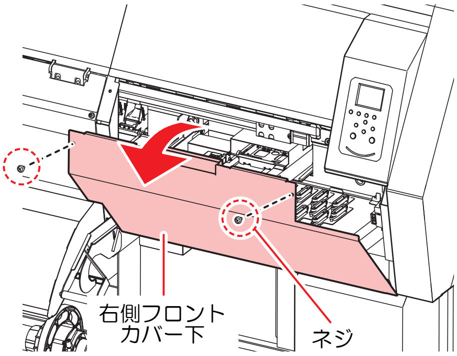
- キャリッジがプラテン上に移動します。
- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。



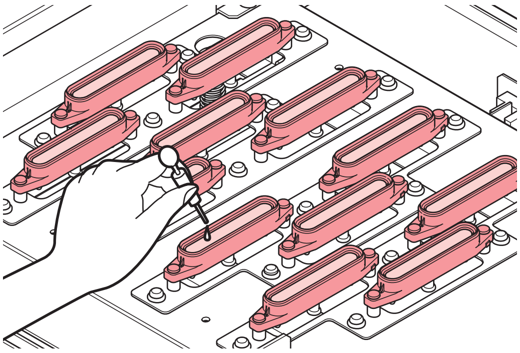
3 右側フロントカバー下を開ける

(1) 右側フロントカバー下のネジ (2 箇所) を取り除く
(2) 右側フロントカバー下の上側を持ち、手前に引く

- 右側フロントカバー下は、付属のドライバーを使って開けてください。



4 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、それぞれのキャップにスポイト 3 回分程度の洗浄液を流す



5 右側フロントカバー下を閉じ、ENTER キーを押す

- 一定時間空吸引を実行した後、手順 1 の表示に戻ります。

長期間使用しない場合 (保管洗浄)

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排出路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください。

事前に確認してください
" ニアエンド "、" インクエンド " は表示していませんか？ • 洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。 • インクを補充してください。

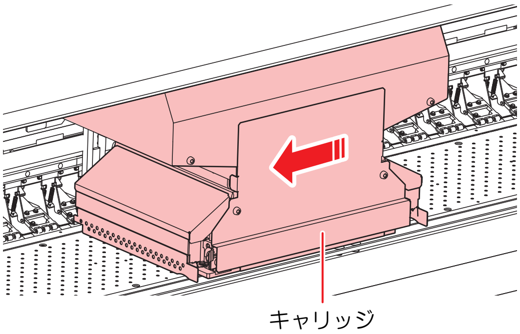
重 要！
- 必ず専用の洗浄液 03 メンテナンスキット (品番 :ML003-Z-K1) をお使いください。

1 ローカルで SEL キーを押し、FUNC2 (MAINT) を押す

- メンテナンスメニューを表示します。

2 ▲ ▼ を押して " 保管洗浄 " を選び、ENTER キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。

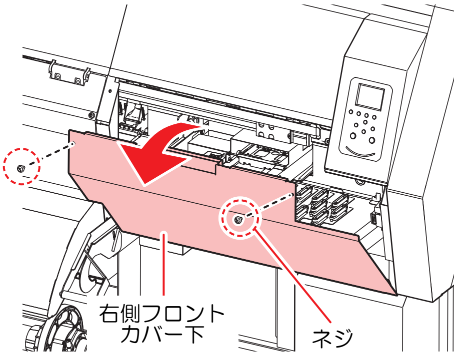


重 要！
- ワイパーとブラケットの清掃が終了するまで、ディスプレイには " ワイパ清掃してください " が表示されます。手順 5 の作業が完了してから [ENTER] キーを押してください。

3 右側フロントカバー下を開ける

(1) 右側フロントカバー下のネジ (2 箇所) を取り除く
(2) 右側フロントカバー下の上側を持ち、手前に引く

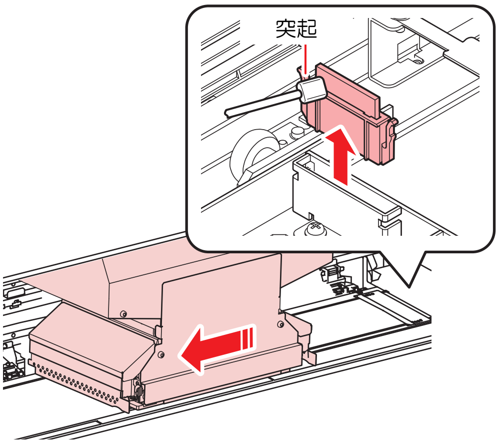
- 右側フロントカバー下は、付属のドライバーを使って開けてください。



4 ワイパーとブラケットを清掃し、ENTER キーを押す

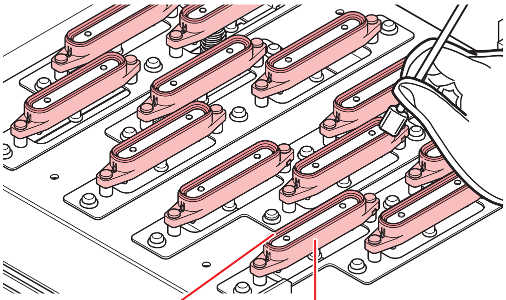
(1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く
(2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (ML003-Z-K1: メンテナンス用洗浄液)
- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む



5 キャップゴム、キャップゴムカバーを清掃する

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排出路が洗浄されます。



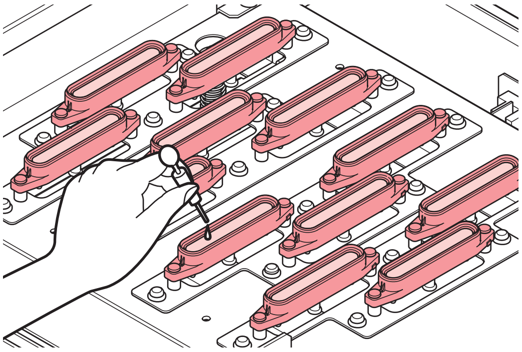
6 ENTER キーを押す

重 要 !
- 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには " 洗浄液を満たしてください " が表示されます。手順 8 の作業が完了しフロントカバーを閉じてから [ENTER] キーを押してください。

4

7 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

- キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



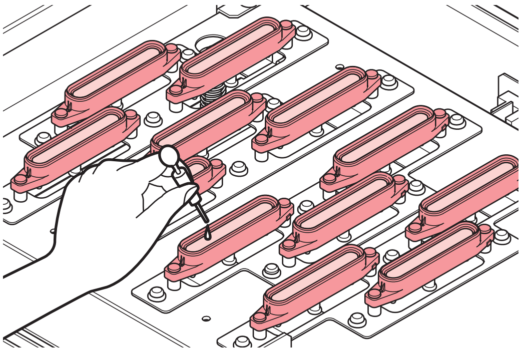
8 右側フロントカバー下を閉じ、ENTER キーを押す

- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

9 ▲▼を押して放置時間を設定し、ENTER キーを押す

- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

10 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、それぞれのキャップにスポイト 3 回分程度の洗浄液を流す



11 右側フロントカバー下を閉じ、ENTER キーを押す

- 30 秒間空吸引を実行した後、手順 1 の表示に戻ります。

ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	
• クリーンスティック	• 手袋
• ゴーグル	

注 意

- 清掃を行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

1 ローカルで SEL キーを押し、FUNC2 (MAINT) を押す

- メンテナンスメニューを表示します。

2 ▲▼を押して " キャリッジアウト " を選び、ENTER キーを押す

3 ▲▼を押して"ヘッドメンテナンス"を選び、ENTER キーを押す

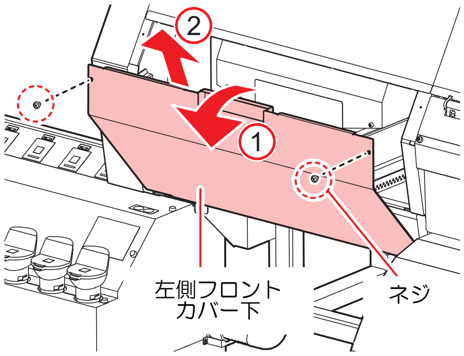
- キャリッジがキャリッジが、本機の左端まで移動します。

4 左側フロントカバー下を外す

(1) 左側フロントカバー下のネジ (2 箇所) を外す

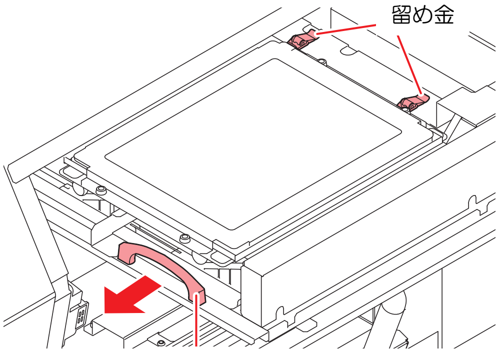
(2) 左側フロントカバー下を手前に引いてから上に上げ、左側フロントカバー下を取り外す

- 付属のドライバーを使って開けてください。



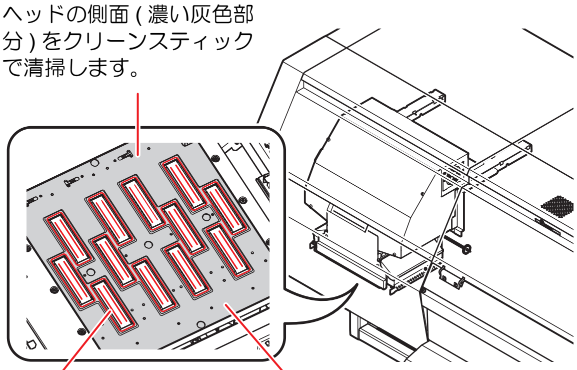
5 フラッシングユニットを左へずらす

(1) 留め金を外す
(2) 取っ手を持って、フラッシングユニットをずらす



6 ヘッドの側面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

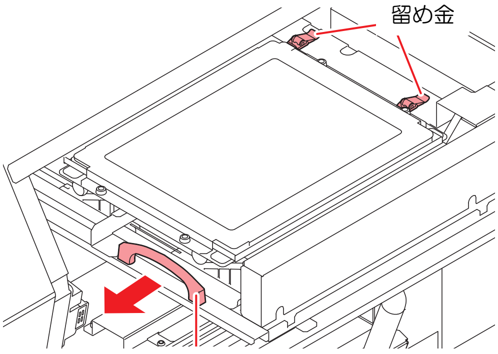
- ノズル部分は、絶対にこすらないでください。



7 清掃が終了したら、ENTER キーを押す

8 フラッシングユニットを元の位置へ戻す

(1) 取っ手を持って、フラッシングユニットをずらす
(2) 留め金を留める



9 左側フロントカバー下を閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

ノズル詰まりが復旧しない場合

ヘッドクリーニング (☞ P.2-18) をしても、ノズル詰まりが改善しない場合、次の 3 機能を実行してください。

ノズル洗浄	• ヘッドノズルを洗浄します。(☞ P.4-14)
ノズルリカバリ	• ノズル抜けが直らないとき、かわりのノズルでプリントします。(☞ P.4-15)
サブタンク	• ヘッドにインクを充填します。(☞ P.5-4)

ヘッドノズルの洗浄

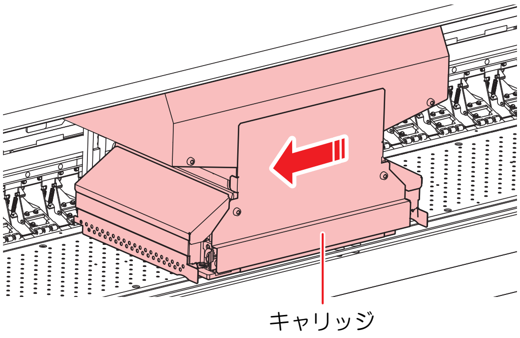
インクの凝固によるインク詰まりのを防止するため、ヘッドノズルの洗浄を行います。

1 ローカルで SEL キーを押し、FUNC2 (MAINT) を押す

• メンテナンスメニューを表示します。

2 ▲ ▼ を押して " ノズル洗浄 " を選び、ENTER キーを押す

• キャリッジがプラテン上に移動します。

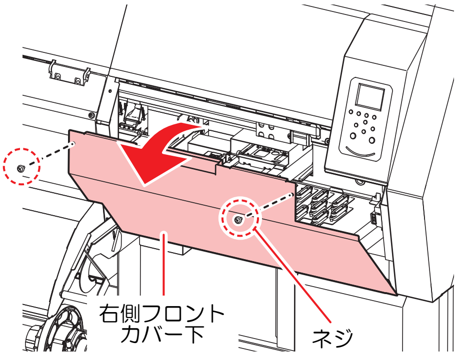


3 右側フロントカバー下を開ける

(1) 右側フロントカバー下のネジ (2 箇所) を取り除く

(2) 右側フロントカバー下の上側を持ち、手前に引く

• 右側フロントカバー下は、付属のドライバーを使って開けてください。



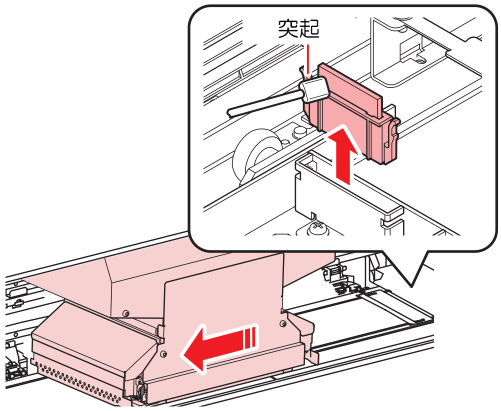
4 ワイパーとブラケットを清掃し、ENTER キーを押す

(1) ワイパー両端の突起を持って引き抜く

(2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (ML003-Z-K1: メンテナンス用洗浄液)

• メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む

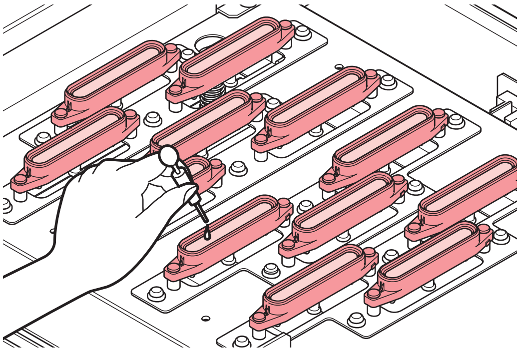


5 キャップゴムを清掃し、ENTER キーを押す

• キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
• メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
• このとき、自動的に排路が洗浄されます。

6 スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たす

• キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



7 右側フロントカバー下を閉じ、ENTER キーを押す

8 [▲][▼]を押して放置時間を設定し、[ENTER]キーを押す

- 放置時間が過ぎると、キャップに満たした洗浄液を吸引し、クリーニングを実行します。その後、手順 1 の表示に戻ります。

重 要!
- この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。

ノズルリカバリ機能

特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用(ノズルリカバリ) してプリントすることができます。

ノズルパターンをプリントする

パターンをプリントし、ノズル詰まりを起こしているノズルの確認 / 登録を行います。

1 ローカルで、[FUNC1] **(MENU)** を押す

2 [▲][▼]を押して " メンテナンス " を選び、[ENTER]キーを押す

- メンテナンスメニューを表示します。

3 [▲][▼]を押して " ノズルリカバリ " を選び、[ENTER]キーを押す

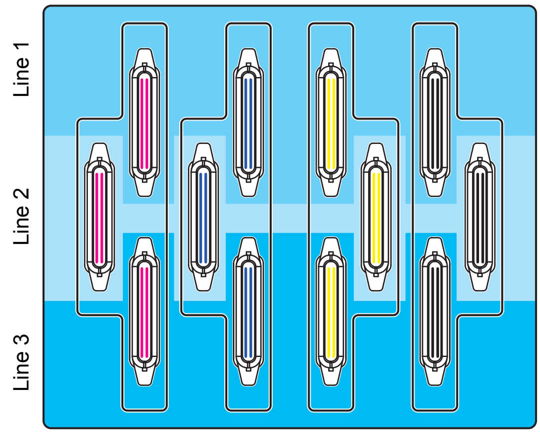
4 [ENTER]キーを押す

5 [▲][▼]を押してプリントするヘッド **(Head Line 1 ～ 3)** を選び、[ENTER]キーを押す

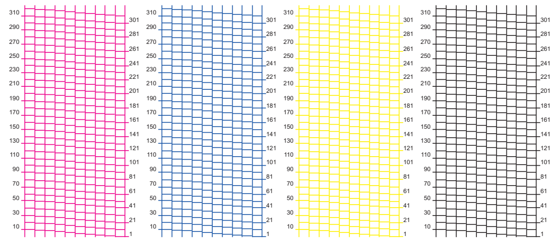
6 [ENTER]キーを押す

- ノズルパターンのプリントを開始します。
- " 登録 " を選択すると、プリントをしないで、ノズル列選択手順 (手順 5) に移ります。

ヘッドを上から見た図



ノズルパターン



重 要!
- 210mm 以上のサイズのメディアをセットしてください。幅の狭いメディアをセットすると、途中までしかプリントされません。

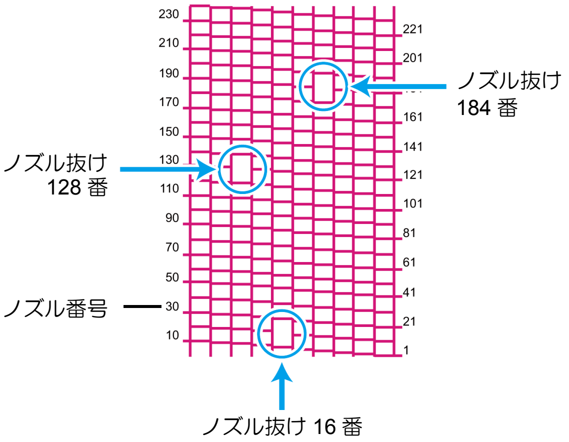
7 [▲][▼]を押してノズルリカバリをするノズル列を選び、[ENTER]キーを押す

4

8 リカバリが必要なノズル番号を登録し、ENTER キーを押す

(1) [▲][▼] を押して登録番号 (1~10) を選択し、[ENTER] キーを押します。
(2) [▲][▼] を押してリカバリするノズル番号を登録し [ENTER] キーを押します。

リカバリノズル登録例



登録番号	リカバリノズル番号	状態
1	16	ノズルリカバリする
2	128	ノズルリカバリする
3	184	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

9 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

重要!
- 1 ノズル列あたり 10 個までノズルを登録できます。
- 本機能を使用しても、プリント時間は変わりません。
- 以下の印刷条件でプリントした場合は、ノズルリカバリが反映されないことがあります。

4 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度
360 x 360HQ	2 pass	標準
540 x 360	2 pass	高速
720 x 720	4 pass	高速
720 x 1080	6 pass	高速

6 色インクセット時

解像度	パス	スキャン速度
540 x 360	4 pass	高速
540 x 540	6 pass	高速
720 x 720	8 pass	高速
720 x 1080	12 pass	高速

ノズルリカバリできないプリント条件を確認する

登録したノズルによっては、リカバリが反映されないモードがあります。リカバリできないプリント条件を確認してください。

重要!
- 登録されているノズルが多い場合、チェック結果を表示するまでに時間がかかります。

1 ローカルで、FUNC1 **(MENU)** を押す

2 ▲ ▼ を押して " メンテナンス " を選び、ENTER キーを押す

- メンテナンスメニューを表示します。

3 ▲ ▼ を押して " ノズルリカバリ " を選び、ENTER キーを押す

4 ▲ ▼ を押して " チェック " を選び、ENTER キーを押す

- ノズルリカバリが無効なモードを表示します。
- ノズルリカバリが無効なモードがない場合は、" 無し " と表示します。

5 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

設定値をリセットする

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) を押す

2 (▲)(▼)を押して " メンテナンス " を選び、(ENTER)キーを押す

• メンテナンスメニューを表示します。

3 (▲)(▼)を押して " ノズルリカバリ " を選び、(ENTER)キーを押す

4 (▲)(▼)を押して " リセット " を選び、(ENTER)キーを押す

5 (▲)(▼)を押してリセットするヘッド (Head Line 1 ～ 3) を選び、(ENTER)キーを押す

6 (▲)(▼)と(FUNC1) (<<) (FUNC3) (>>) を押してリセットするノズル列選び、(ENTER)キーを押す

• リセット確認のメッセージが表示されます。

7 (ENTER)キーを押す

8 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。
ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。
定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。
（オートメンテナンス機能）
オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

重要！
- 手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。

機能名	説　　明
リフレッシュ	リフレッシュレベルを設定します。
クリーニング	ヘッドクリーニングレベルを設定します。

重要！
- インクタンクエラーが発生している場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。インクタンクエラーを解除してください。(☞ P.5-13)
- オートメンテナンス実行時には、廃インクタンクにインクが流れます。毎日、廃インクタンクの量を確認をし、必要ならば廃棄してください。(☞ P.4-21)

リフレッシュレベルの設定をする

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する量を設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) を押す

2 (▲)(▼)を押して " メンテナンス " を選び、(ENTER)キーを押す
- メンテナンスメニューを表示します。

3 (▲)(▼)を押して " オートメンテナンス " を選び、(ENTER)キーを押す

4 (ENTER)キーを押す
- " リフレッシュ " が選択されます。

5 (▲)(▼)を押してリフレッシュレベルを設定し、(ENTER)キーを押す
- 設定値：OFF/Lv.1/Lv.2/Lv.3

6 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

クリーニングレベルを設定する

ヘッドクリーニングレベルを設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) を押す

2 (▲)(▼)を押して " メンテナンス " を選び、(ENTER)キーを押す
- メンテナンスメニューを表示します。

3 (▲)(▼)を押して " オートメンテナンス " を選び、(ENTER)キーを押す

4 (▲)(▼)を押して " クリーニング " を選び、(ENTER)キーを押す

5 (▲)(▼)を押してクリーニングレベルを選び、(ENTER)キーを押す
- 設定値：OFF/Lv.1/Lv.2/Lv.3
- OFF を選択した場合は、手順 7 に進みます。

6 (▲)(▼)を押してクリーニングタイプを選び、(ENTER)キーを押す
- 設定値：ソフト / ノーマル / ハード

7 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

インクチャージをする

オートチャージができなかった場合や、ICチップの内容を確認してからインクのチャージをしたい場合は、下記の操作をしてください。

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** を押す

2 (▲)(▼)を押して " メンテナンス " を選び、(ENTER)キーを押す

3 (▲)(▼)を押して"インクチャージ"を選び、(ENTER)キーを押す

4 (▲)(▼)を押してチャージする対象のインクタンクを選ぶ

5 (ENTER)キーを押す

- 選択したインクタンクの有効期限が間近の場合、確認画面を表示します。問題がなければ [▶] を押してください。

```
インク　期限切れ
チャージしますか？
```

交互表示

```
インク IC　期限切れ
NO <                  > YES
```

```
インク　期限切れ（1ヶ月）
チャージしますか？
```

交互表示

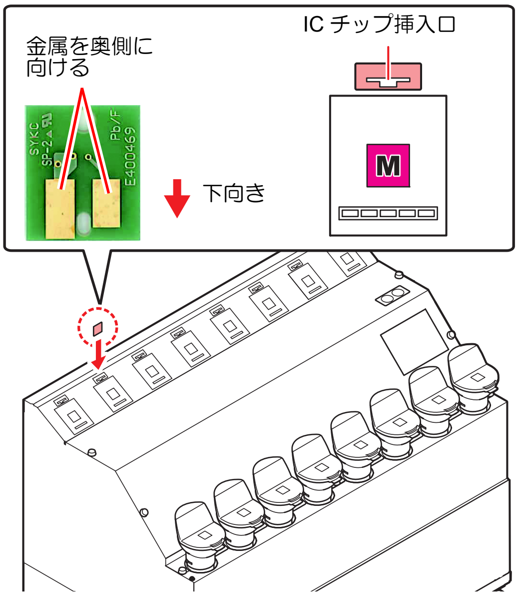
```
インク IC　期限切れ（1ヶ月）
NO <                  > YES
```

重要!

- 選択したタンクが次の状態の場合、チャージできません。(P.3-28)
  (1) 本機で管理しているインク残量が　100%になっている場合
  (2) インクの有効期限が 2ヶ月以上過ぎている場合

6 **2 リットルインクボトルに付属している、IC チップを差し込む**

- IC チップを差し込み本機に IC チップの情報を読み取ると、ディスプレイは右の表示に切り替わります。
- IC チップは金属が付いている方を奥側に向け、金属を下向きにして差し込んでください。間違えて差し込むと、故障や IC チップ 破損の原因となります。
- IC チップ の金属部分には触れないでください。静電気による IC チップ 破損や、汚れ・傷による IC 読み取り不良の原因となります。




```
インクチャージ　　　タンク　1-M
インク IC をセットしてください
```

- 挿入した IC チップの有効期限が間近の場合、確認画面を表示します。問題がなければ [▶] を押してください。

```
インク　期限切れ
チャージしますか？
```

交互表示

```
インク IC　期限切れ
NO <                  > YES
```

```
インク　期限切れ（1ヶ月）
チャージしますか？
```

交互表示

```
インク IC　期限切れ（1ヶ月）
NO <                  > YES
```

重要!

- 挿入した IC チップに問題がありチャージできない場合、ディスプレイにその理由を表示します。
- 複数の問題が発生している場合は、[▲][▼] で確認できます。

4

7 チャージ実行の確認画面が表示されたら、ENTER キーを押す

- チャージを実行します。
- ディスプレイにICチップのインク情報を表示します。

- チャージ中は、＊インクチャージ中＊を表示しています。
  IC チップを抜いたり電源をオフにしないでください。

8 チャージが完了すると、一定時間ブザー音が鳴り、ディスプレイに “ インクチャージ完了 ” を表示する

- チャージしたインクの残量や有効期限を確認したいときは、ローカルで [ENTER] キーを押してください。（P.3-28）

廃インクタンクの交換

廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。本装置では、インクの排出量をセンサーで監視し、一定の量になったら確認を促すメッセージを表示します。(廃インクタンク交換の目安としてお使いください。)

ローカルでの確認メッセージ

1 ローカルで確認メッセージが表示される

- 次のようなメッセージが表示されます。
  “ ハイインクタンク フル マヂカ ”
  “ ハイインクタンク フル ”
  “ ハイインクタンク ナシ ”

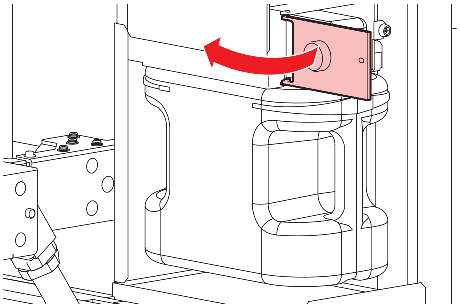
2 廃インクタンクを確認する

本体右側の廃インクタンクを交換する

本体右側の廃インクタンクには、プリントやヘッドクリーニング時にヘッド周辺で排出したインクや洗浄液が溜まります。
廃インクタンクを交換するときは、次の作業を行ってください。

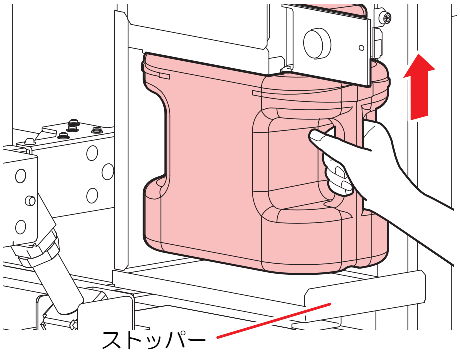
1 廃インクタンクカバーを開く

- 廃インクタンクカバーについているネジを取り外し、カバーを手前に開けます。



2 廃インクタンクを少し持ち上げる

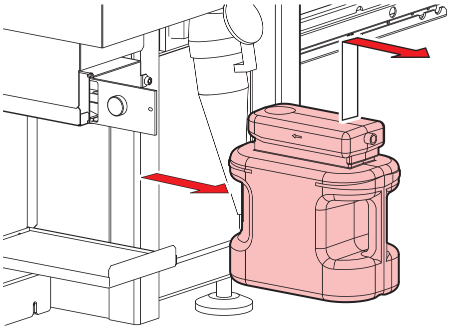
- ストッパーに当たらない程度まで、廃インクタンクを持ち上げてください。



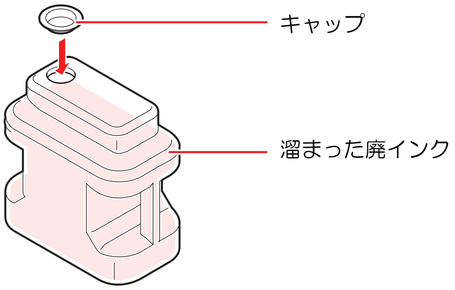
3 廃インクタンクを取り出す

(1) 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引き出す

(2) 廃インクタンクを持ち上げて、取り出す



- 取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。



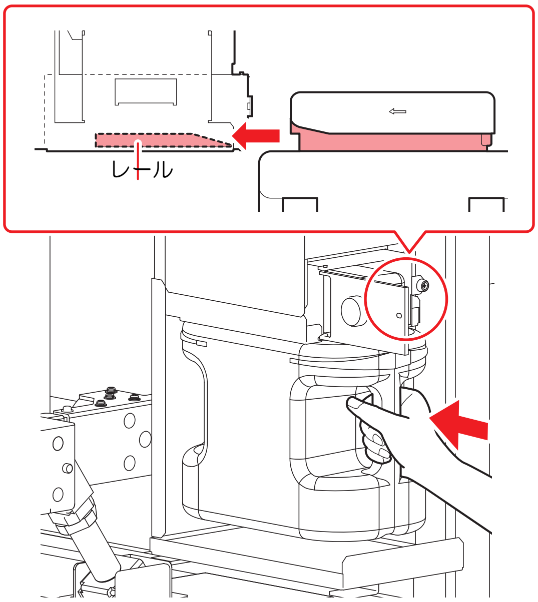
4 廃インクタンクを交換する

(1) 新しい廃インクタンク (SPC-0197) を用意する

(2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、レールに沿って差し込む

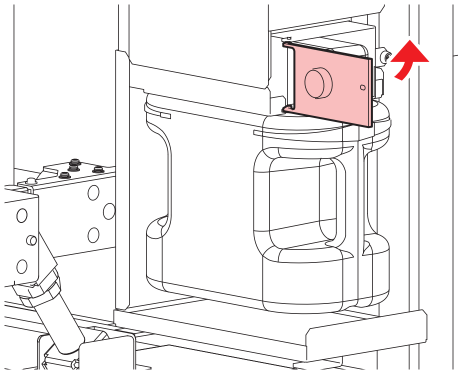
(3) 廃インクタンクを持ち上げる

注意
- 手順 3 で取り出した廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。



5 廃インクタンクカバーを閉じる

- 新しい廃インクタンクを認識したら、ワーニングメッセージが解除されます。



本体左側の廃インクを廃棄する

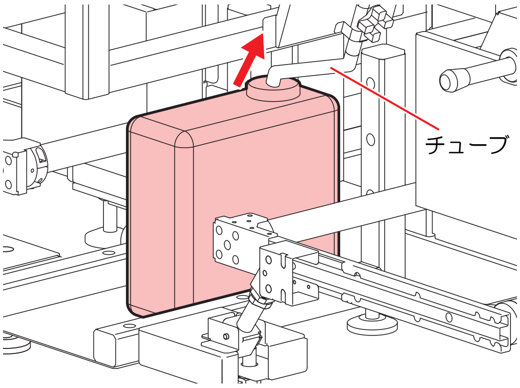
本体左側の廃インクタンクには､フラッシング動作をしたときに排出したインクや洗浄液が溜まります。
廃インクタンクを廃棄するときは､次の作業を行ってください｡

注意
- 廃インクタンク内の廃インクは、必ず毎日廃棄してください。長期間放置した場合、廃インクタンク内のインクが硬化したり、タンク内の廃インクがあふれる恐れがあります。
- 廃インクを廃棄するときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクが皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

1 廃インクタンクを取り出す

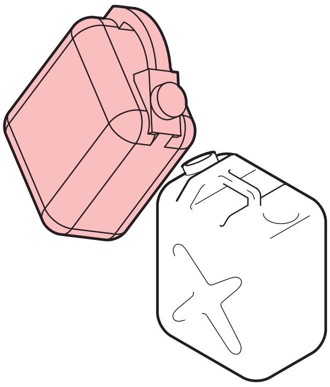
- 廃インクタンクに差し込んであるチューブを抜き、廃インクタンクを取り出します。

重要!
- チューブを抜くとき、先端からインクが垂れる恐れがあります。チューブをウェス等で拭き、先端を包んでから作業を行ってください。



2 廃インクを別のポリエチレンタンクに移す

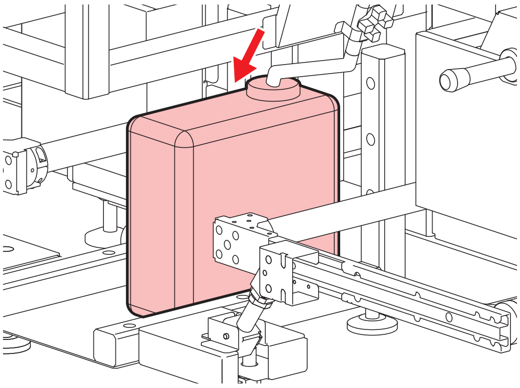
- 廃インクタンクにたまった廃インクを別のポリエチレンタンクに移す



注意
- ポリエチレンタンクに移した廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 一部成分において（光重合開始剤)、水性生物に対する毒性があります。自然水系 (川等)、生活排水 (トイレ、道路等) への漏洩流出を防いでください。
- 廃インクを移したポリタンクは、光の当たらない場所に保管してください。廃インクが硬化する恐れがあります。

3 空にした廃インクタンクを元の位置に戻す

- 廃インクタンクを取り出すときに引き抜いたチューブを差し込んでください。



廃インク量による動作制限について

廃インクタンクに溜まっている廃インクの量に従って、本機での動作ができなくなる項目があります。
廃インクはこまめに廃棄することをお勧めします。

表示	ハイインクタンク フルマヂカ	ハイインクタンク フル ハイインクタンク ナシ
動作制限	特にありません	次の動作ができなくなります。 • インクを使用する動作 • プリント • REMOTE 移行 • プリント中に発生した場合、プリント完了後にローカルへ移行
対処方法	そのままでも使用できますが、すぐに廃インクがいっぱいになる恐れがあります。 早めに廃インクを廃棄してください。 廃インクは、地域の条例に従い廃棄してください。	「廃インクタンクの交換」を参照して廃インクタンクを空にします。その後、廃インクタンク量をリセットしてください。 廃インクは、地域の条例に従い廃棄してください。

消耗品の交換

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。ワーニングメッセージ " ワイパー交換 " が表示されたら、速やかにワイパーを交換してください。
また、ワイパークリーナー下面に付着したインクの清掃をしてください。

重 要!
- クリーニングワイパー (SPA-0193) は別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

1 ローカルで (SEL) キーを押し、(FUNC2) (MAINT) を押す

- メンテナンスメニューを表示します。

2 (▲)(▼)を押して " ワイパー交換 " を選び、(ENTER) キーを押す

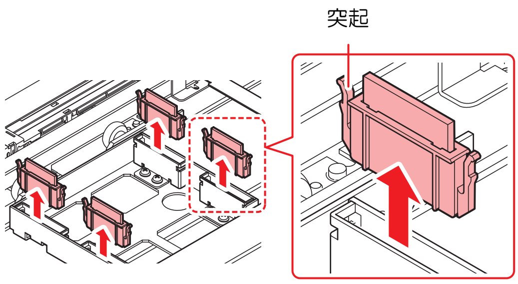
3 (ENTER) キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。
- ワイパー使用回数がリセットされます。

重 要!
- 交換作業が終了するまで、ディスプレイには " シュウリョウ " が表示されます。手順 3 までの作業が完了し右側フロントカバー下を閉じてから [ENTER] キーを押してください。

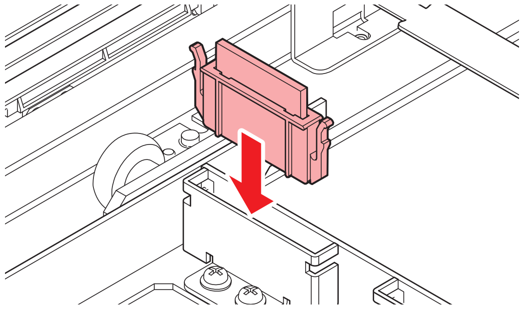
4 右側フロントカバー下を開けて、ワイパーを取り出す

- ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。



5 新しいワイパーを差し込む

- ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。
- ワイパーに向きはありません。どちら側を手前にしても差し込むことができます。



6 右側フロントカバー下を閉じ、(ENTER) キーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

ミストフィルター(HFフィルター)の交換

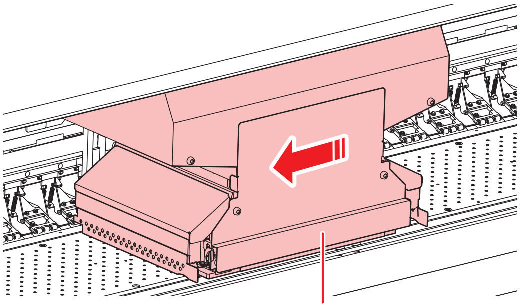
1 が月に一度交換してください。

1 ローカルで (SEL) キーを押し、(FUNC2) (MAINT) を押す

• メンテナンスメニューを表示します。

2 (▲)(▼)を押して " キャリッジアウト " を選び、(ENTER) キー 2 回を押す

• キャリッジがプラテン上に移動します。

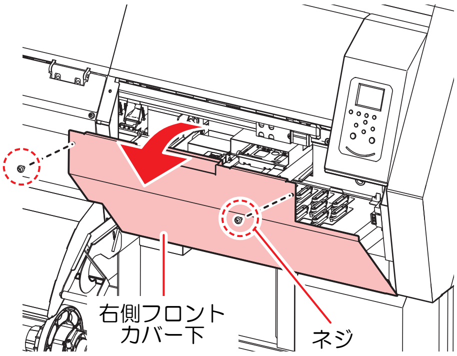


3 右側フロントカバー下を開ける

(1) 右側フロントカバー下のネジ (2 箇所) を取り除く

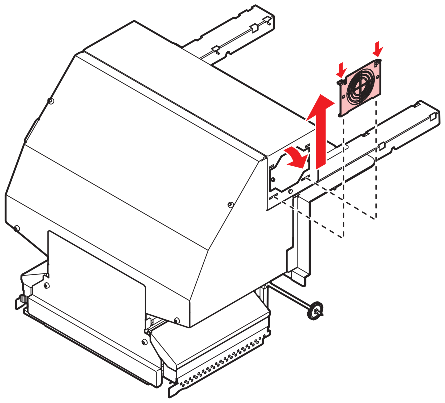
(2) 右側フロントカバー下の上側を持ち、手前に引く

• 右側フロントカバー下は、付属のドライバーを使って開けてください。

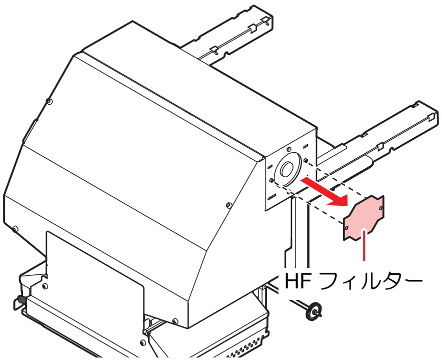


4 キャリッジ右側にあるHFフィルターカバーを取り外す

• HF フィルターカバーのネジを取り除いてからカバーを取り外します。

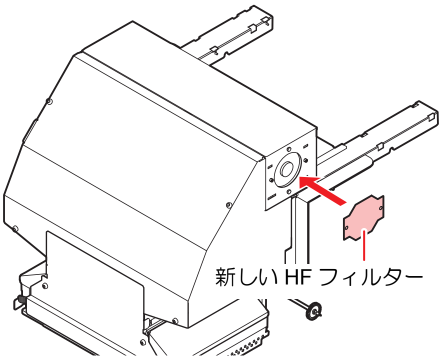


5 使用済みの HF フィルターを取り外す



6 新しい HF フィルター(SPC-0766) を取り付ける

• HF フィルターの穴をネジ穴の位置に合わせてください。



7 HF フィルターカバーを元の状態に戻す

8 右側フロントカバー下を閉じ、(ENTER) キーを押す

重 要 !
• HF フィルター ASSY には、プリント時のインクが付着しています。フィルターを交換する際は、紙などを敷いてから行うことをお勧めします。

期限切れのインクを廃棄する

有効期限が過ぎたインクをそのままお使いになると、プリント品質の低下や本機の故障の原因になります。
インクの有効期限が切れたら、必ず次の手順で速やかに交換してください。

注意
- 必ず付属の手袋と保護めがねを着用してから作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクを廃棄する場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールをしてください。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲▼を押して " メンテナンス " を選び、ENTER キーを押す

3 FUNC3 (>>) を押す

4 ▲▼を押して " 期限切れインク廃棄 " を選び、ENTER キーを押す

5 ▲▼を押して廃棄するインクタンクを選び、ENTER キーを押す

- ディスプレイには期限切れインク廃棄の確認画面と、交換するタンクのインク種類 / 期限 (年月) を表示します。

6 確認画面で問題なければ、ENTER キーを押す

- 本機に取り込んだインクチャージ情報をリセットします。

7 手順 4 で選択したインクタンク内のインクを廃棄する

- インクを廃棄する場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールをしてください。

注意
- 廃棄インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

8 P.1-10「インクの補充とチャージ」を参照して新しいインクを補充する

インク取り扱い上のご注意

注意
- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 本装置には専用のインクタンクをお使いください。本装置は、専用のインクタンクを認識して動作します。インクタンク等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、３時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- インクボトルは冷暗所で保存してください。
- インクボトルは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 空になったインクボトルは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。
- インクボトルは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。
- インクボトルを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、ボトルからインクがもれることがあります。
- IC チップの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

インクタンクを交換する

インクタンク内のインクの品質を良好に保つため、1 年ごとにインクタンクを交換する必要があります。ワーニングメッセージが表示されたら、必ず次の手順で交換してください。

注意
- 必ず付属の手袋と保護めがねを着用してから作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクを廃棄する場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールをしてください。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲▼を押して " メンテナンス " を選び、ENTER キーを押す

3 FUNC3 (>>) を押す

4 ▲▼を押して " インクタンク交換 " を選び、ENTER キーを押す

5 ▲▼を押して交換するインクタンクを選び、ENTER キーを押す

- ディスプレイにはインクタンク交換の確認画面と、交換するタンクのインク種類 / 期限 (年月) を表示します。

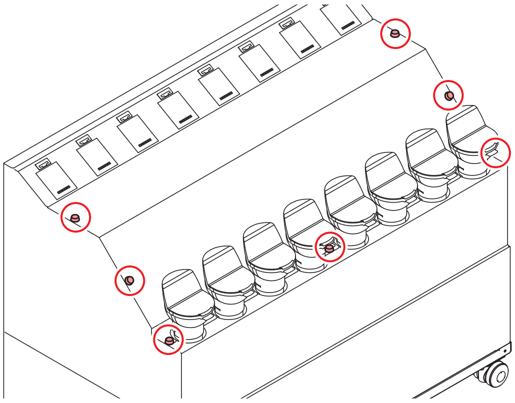
4

6 確認画面で問題なければ、ENTER キーを押す

- 本機に取り込んだインクチャージ情報をリセットします。

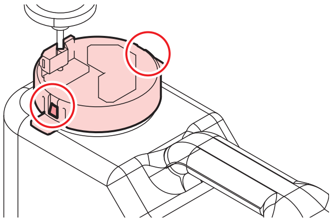
7 インクタンクカバーを外す

- インクタンクカバーについているネジ (7 箇所) を取り除き、カバーを外します。

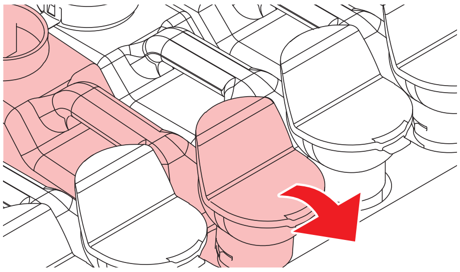


8 選択したスロットのインクタンクを取り外し、ENTER キーを押す

(1) インクタンクの蓋にある突起部を押し、蓋を外す



(2) インクタンクを手前に傾け、取り外す
- タンクを傾けすぎてチューブを折らないように注意してください。



(3) 蓋に付いているチューブをウェス等で拭き取り、天秤の外側にチューブを置く

9 手順 **4** で選択したインクタンク内のインクを廃棄する

- インクを廃棄する場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールをしてください。

注 意
- 廃棄インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

10 P.4-29「補正方法“ノーマル”で補正する」を行う

11 新しいインクタンクと交換する

- インクタンクを交換する前に、周囲がインクで汚れないようにウェス等で養生してから行ってください。

12 P.1-10「インクの補充とチャージ」を参照して新しいインクを補充する

インク取り扱い上のご注意

注 意
- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 本装置には専用のインクタンクをお使いください。本装置は、専用のインクタンクを認識して動作します。インクタンク等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- インクボトルを寒い所から暖かい所に移した場合は、３時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- インクボトルは冷暗所で保存してください。
- インクボトルは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 空になったインクボトルは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。
- インクボトルは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。
- インクボトルを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、ボトルからインクがもれることがあります。
- IC チップの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃 (SPA-0192) に交換してください。

注意
- 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。
- カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。また、使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。

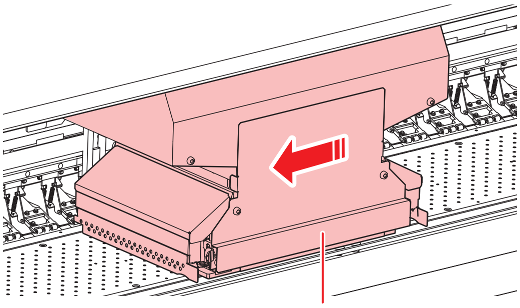
- カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

1 ローカルで (SEL) キーを押し、(FUNC2) **(MAINT)** を押す

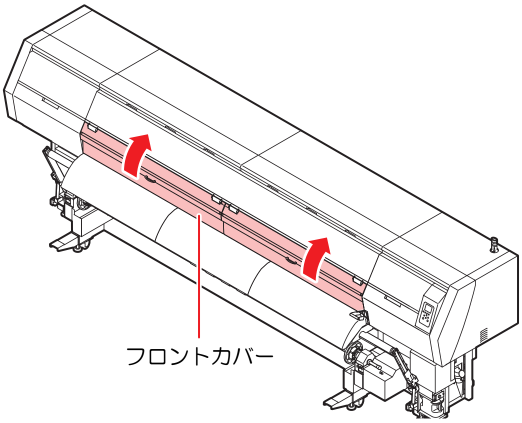
- メンテナンスメニューを表示します。

2 (▲)(▼)を押して “ キャリッジアウト ” を選び、(ENTER) キー **2** 回を押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。

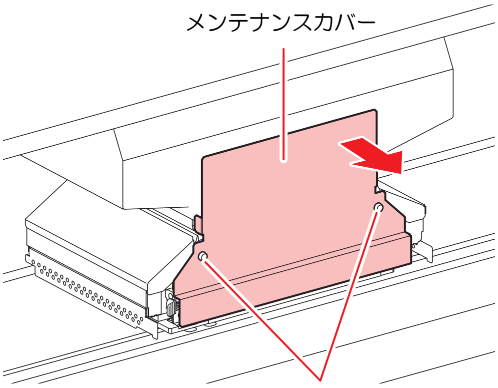


3 フロントカバーを開ける



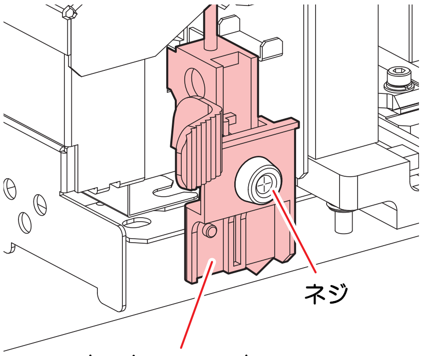
4 キャリッジ前面のメンテナンスカバーを取り外す

- メンテナンスカバー両脇のネジを外し、メンテナンスカバーを取り外します。



5 キャリッジ前面のカッターユニットを交換する

(1) カッターユニットのネジを緩める
(2) カッターユニットを取り外す
(3) 新しいカッターユニットを取り付ける
(4) カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定する



6 フロントカバーを閉じる

7 (ENTER) キーを押す

- 手順 1 の表示に戻ります。

8 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

4

NCU インク吸収材の交換

インク吸収材は NCU(ノズルチェックユニット) の下にセットされています。インク吸収材はノズルチェック時に排出するインクを吸収するため、定期的に交換してください。

交換に必要な道具	
• クリーンスティック (品番：SPC-0527)	
• 手袋	• ゴーグル

注意

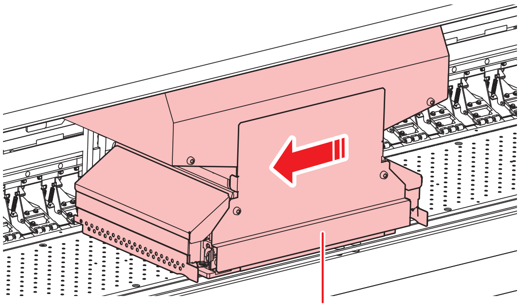
- 交換を行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

1 ローカルで (SEL) キーを押し、(FUNC2) **(MAINT)** を押す

- メンテナンスメニューを表示します。

2 (▲)(▼)を押して " キャリッジアウト " を選び、(ENTER) キー **2** 回を押す

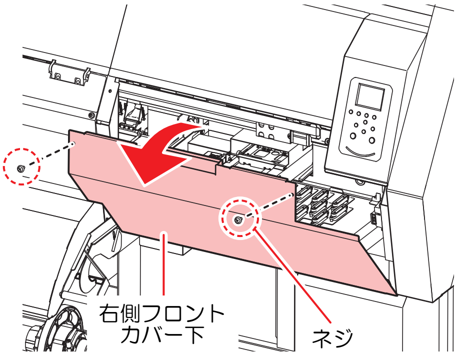
- キャリッジがプラテン上に移動します。



3 右側フロントカバー下を開ける

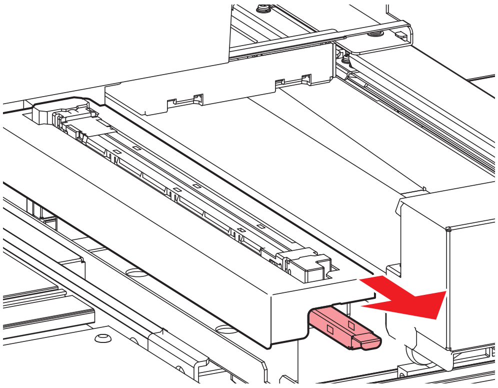
(1) 右側フロントカバー下のネジ (2 箇所) を取り除く
(2) 右側フロントカバー下の上側を持ち、手前に引く

- 右側フロントカバー下は、付属のドライバーを使って開けてください。



4 インク吸収材を交換する

- NCU の下にあるツマミを引き出し、インク吸収材を交換します。



5 フロントカバーを閉じる

6 (ENTER) キーを押す

- 手順 1 の表示に戻ります。

7 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

タンクキャリブレーション

本機はインクの残量を外部インク供給ユニットに内蔵されている重量天秤で管理しています。
外部インク供給ユニット上部のインク残量表示と、実際のインク残量に差がある場合や、ワーニングメッセージ “ タンクセンサー ” が発生したときは、次の作業をしてください。

重量天秤の補正方法について

重量天秤の補正方法には、次の 2 種類があります。

ノーマル	1kg のおもりを使用して、高精度な補正ができます。
ゼロ調整	おもりを使用しないで補正を行えます。 補正作業を簡単に行えますが、“ ノーマル ” での調整より精度が落ちます。

補正方法 “ ノーマル ” で補正する

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) を押す

2 ▲▼を押して “ メンテナンス ” を選び、ENTER キーを押す

3 FUNC3 (>>) を押す

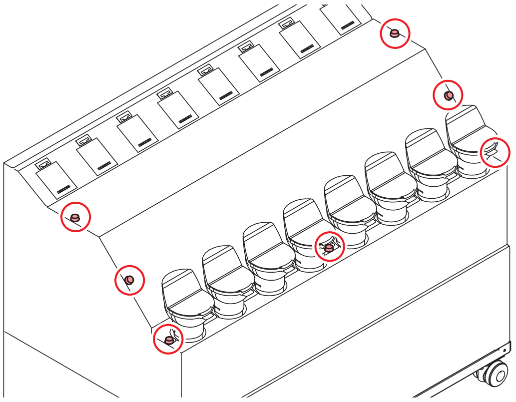
4 ▲▼を押して “ タンクキャリブレーション ” を選び、ENTER キーを押す

5 ▲▼を押して “ ノーマル ” を選び、ENTER キーを押す

6 ▲▼を押して補正するインクタンク (スロット 1 ～ 8) を選び、ENTER キーを押す

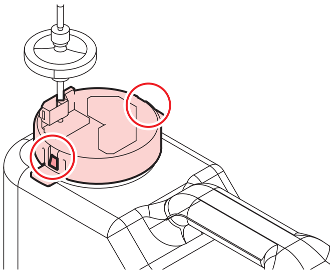
7 インクタンクカバーを外す

- インクタンクカバーについているネジ (7 箇所) を取り除き、カバーを外します。



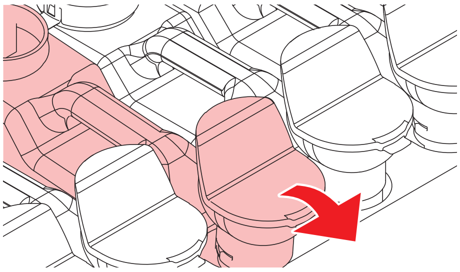
8 選択したスロットのインクタンクを取り外し、ENTER キーを押す

(1) インクタンクの蓋にある突起部を押し、蓋を外す



(2) インクタンクを手前に傾け、取り外す

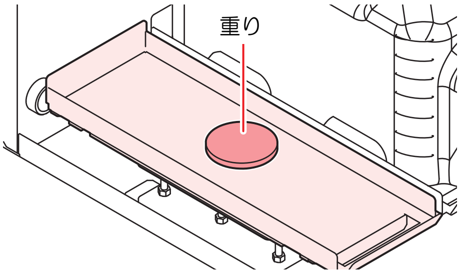
- タンクを傾けすぎてチューブを折らないように注意してください。



(3) 蓋に付いているチューブをウェス等で拭き取り、天秤の外側にチューブを置く

9 選択した天秤のスロットのお皿に **1kg** の重りを乗せ、ENTER キーを押す

- 補正処理を行います。



重 要 !

- 重りは天秤のお皿の中央に乗せてください。お皿の端に重りを乗せた場合、残量検出の誤差が大きくなる原因となります。
- 補正処理中は、外部インク供給ユニットに振動を与えないでください。補正処理が失敗する恐れがあります。
- 補正処理が失敗すると、ディスプレイに “ 失敗 ” が表示されます。[ENTER] または [END] キーを押して、重りの位置または重量を変えてください。

10 補正処理が正常に終わったら天秤のお皿に載っているものを全て取り除き、(ENTER)キーを押す

- 天秤に重りがない状態で、補正処理を行います。

重要!
- 補正処理中は、外部インク供給ユニットに振動を与えないでください。補正処理が失敗する恐れがあります。
- 補正処理が失敗すると、ディスプレイに " 失敗 " が表示されます。[ENTER] または [END] キーを押してエラー表示を消し、再度 [ENTER] キーを押してください。補正処理を再開します。

11 補正処理が正常に終わったら手順 **8** で外したインクタンクをセットし、(ENTER)キーを押す

補正方法 " ゼロ調整 " で補正する

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** を押す

2 (▲)(▼)を押して " メンテナンス " を選び、(ENTER)キーを押す

3 (FUNC3) **(>>)** を押す

4 (▲)(▼)を押して " タンクキャリブレーション " を選び、(ENTER)キーを押す

5 (▲)(▼)を押して " ゼロ調整 " を選び、(ENTER)キーを押す

6 (▲)(▼)を押して補正するインクタンク **(** スロット **1** ～ **8)** を選び、(ENTER)キーを押す

7 選択したスロットのインクタンクを取り外し、(ENTER)キーを押す

- 天秤に重りがない状態で、補正処理を行います。

重要!
- 補正処理中は、外部インク供給ユニットに振動を与えないでください。補正処理が失敗する恐れがあります。
- 補正処理が失敗すると、ディスプレイに " 失敗 " が表示されます。[ENTER] または [END] キーを押してエラー表示を消し、再度 [ENTER] キーを押してください。補正処理を再開します。

8 補正処理が正常に終わったら手順 **7** で外したインクタンクをセットし、(ENTER)キーを押す

第５章
困ったときは

この章では ...

故障かな？と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明しています。

故障？と思う前に......5-2
電源が入らない......5-2
プリントできない......5-2
ヒーターの温度が設定値まで上昇しない......5-2
メディア詰まり / メディアが汚れる......5-3
画質不良が発生したときは......5-3
ノズル詰まりを解消したいとき......5-3
インクタンクに異常が発生したら......5-4
サブタンク関連のエラー (エラー 618 ～ 61b) が発生したら......5-4
メディアが搬送時に波打つ場合......5-4
メッセージを表示するトラブル......5-5
ワーニングメッセージ......5-5
エラーメッセージ......5-13

故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。

確認		対処
電源ケーブルを本機と電源コンセントに接続しましたか？	イイエ →	電源ケーブルを確実に接続してください。
主電源が入っていますか？	イイエ →	主電源を入れてください。(☞ P.2-3)
装置前面にある電源ボタンがオンになっていますか？	イイエ →	前面にある電源ボタンを入れてください。(☞ P.2-3)

プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本機に送られていない場合があります。
また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。

確認		対処
ご使用のインターフェイスケーブルが合っていますか？	イイエ →	本機専用のケーブルをご使用ください。
インターフェイスケーブルを確実にセットしていますか？	イイエ →	インターフェイスケーブルを確実にセットしてください。
↓ ハイ		
ディスプレイにインクエンドのメッセージを表示していますか？	ハイ →	インクタンクにインクを追加し、インクチャージを行っててください。(☞ P.1-10)

ヒーターの温度が設定値まで上昇しない

確認		対処
ヒーター温度を設定しましたか？	イイエ →	ヒーター温度を設定してください。(☞ P.3-8)

メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。

推奨のメディアをお使いですか？ → イイエ → 推奨のメディアをお使いください

カールしていないメディアや、先端が折れ曲がっていないメディアをお使いですか？ → イイエ → カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。

↓ ハイ

ヘッドの高さは適切ですか？ → イイエ → メディアとヘッドの間が 1.5mm ～ 2mm となるように調整してください。(☞ P.2-4)

↓ ハイ

メディアがプラテンに沿って垂れていますか？ → イイエ → 巻き取り装置を使う (☞ P.2-7) か、メディアを再セットしてください。(☞ P.2-4)

● メディアが詰まってしまったときは、以下のようにしてください。

フロントカバーを開け、クランプレバーを上げる → 詰まったメディアを取り除く → フロントカバーを閉じる

画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現　　象	対処方法
白スジ / カスレ / 色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）	**(1)** ヘッドクリーニングを行ってください。☞ P.2-18 **(2)** ステーション内部のメンテナンスをしてください。☞ P.4-8 **(3)**「フィード補正」機能を実行してください。☞ P.2-19 **(4)** メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
文字が用紙送り方向に **2** 重、**3** 重にブレる	**(1)**「フィード補正」機能を実行してください。(☞ P.2-19)
往復印字でズレが発生する	**(1)**「ドット位置補正」機能を実行してください。(☞ P.2-20)
プリント中にインク滴が落ちる	**(1)** ワイパーを清掃してください。(☞ P.4-8) **(2)** インクキャップのクリーニングをしてください。(☞ P.4-8) **(3)** ヘッドの周辺を清掃してください。(☞ P.4-12) **(4)** ヘッドクリーニングの [ノーマル] を実行してください。(☞ P.2-18) **(5)** 定期ワイピングの動作間隔を、短く設定してください。(☞ P.3-15)

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-18 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の 3 つの項目を確認してください。

● **P.5-4** の操作をして、サブタンクのメンテナンスをしてください。**P.4-14** の操作をして、ヘッドノズルの洗浄をしてください。

● **P.4-15** の操作をして、ノズルリカバリをしてください。

5

インクタンクに異常が発生したら

インクタンクに異常が発生したら、ワーニングメッセージを表示します。
プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。
異常が発生したときは、次のようにしてください。

- インクタンク内のインク量を確認し、インク量が少なかったら補充してください。

重 要!

- インクタンク異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
  ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

インクタンク異常の詳細を表示する

次の操作をして、インクタンク異常の内容を確認できます。

1 ローカルで、ENTER キーを押す

サブタンク関連のエラー (エラー 618 ～ 61b) が発生したら

エラー 618 ～ 61b は、サブタンクに関するエラーです。
サブタンク関連のエラーが発生した場合、またはクリーニングでノズル詰まりが解消しない場合に、実行してください。

1 ローカルで、FUNC1 **(MENU)** を押す

2 ▲▼を押して " メンテナンス " を選び、ENTER キーを押す

- メンテナンスメニューを表示します。

3 ▲▼を押して " サブタンク " を選び、ENTER キーを押す

4 ENTER キーを押す

- サブタンク内のインクの排出、充填動作を行います。

メディアが搬送時に波打つ場合

メディアが搬送時に波打つことを、「コックリング」といいます。
メディアコックリングが発生する場合、以下のことを確認してください。

注意・確認事項	対処方法
メディアセット状態の確認	**(1)** メディアがまっすぐセットされているか確認し、セットし直してください。
ヒーター温度の調整	**(1)** プリントヒーター温度を上げてください。
メディアの搬送	**(1)** ロールメディアの場合、数十センチ～ 1 メートル程度メディア送りをしてください。 **(2)** リーフメディアの場合、[▲][▼] を押してフィードとバックフィードを行ってください。
ヒーター加温状態でメディアを放置しない	**(1)** メディアジャムの原因になるので、メディアが波打った状態でプリントを開始しないでください。
ヘッドの高さを高くする	**(1)** 厚手メディアの場合、ヘッドギャップを上げてプリントしてください。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
ERROR 901 ジッコウ デキマセン	オペレーションエラー	• ローカル画面に戻ってエラー状況を確認し、対処してください。
ERROR 902 プリントデータ アリ	印刷データが残っている。	• データクリアを実行してください。(☞ P.2-21)
ERROR 90d ヘッド センタク ナシ	ヘッドを選択しないで処理を実行した。	• ヘッドを選択してください。(☞ P.3-20)
ERROR 90f プリント エリア フソク	プリントに必要なメディア幅またはメディア長さが足らない。	• メディア幅の広い、またはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 • 原点移動によりメディア幅が狭くなっている場合、原点を右にずらして有効メディア幅を広げてください。
ERROR 912 チャージ デキマセン	以下の要因でインクチャージができない。 • IC チップの情報に異常がある。 • インクの使用有効期限が切れている。 • チャージインク量がフルに近い状態で残っており、インクチャージできない。 • インクタンクの使用有効期限が切れている。	• 再度、インクチャージ (☞ P.1-10) を実行してください。それでもチャージできない場合は、P.3-28「本機の情報を表示する」でチャージできない原因を確認してください。

プリンタが緊急停止したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
カバーを閉めてください	カバーが開いている。	• カバーを閉じてください。(☞ P.viii) • ディスプレイに [ENTER] が表示されますので (ENTER) キーを押してください。復帰動作が開始されます。 • 復帰できない場合や、カバーが閉まっているのにメッセージが表示される場合は、一度、主電源を OFF にしてしばらく経ってから電源を ON してください。再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
メディアジャム	メディア詰まりが発生した。	• 詰まったメディアを取り除いてください。(☞ P.5-3) • ディスプレイに [ENTER] が表示されますので (ENTER) キーを押してください。復帰動作が開始されます。 • 復帰できない場合や、カバーが閉まっているのにメッセージが表示される場合は、一度、主電源を OFF にしてしばらく経ってから電源を ON してください。再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。

表示	原因	対処方法
緊急停止スイッチを解除してください	緊急停止スイッチが押された。	• 緊急停止スイッチを解除してください。(P.1-14) • ディスプレイに [ENTER] が表示されますので ENTER キーを押してください。復帰動作が開始されます。 • 復帰できない場合や、カバーが閉まっているのにメッセージが表示される場合は、一度、主電源を OFF にしてしばらく経ってから電源を ON してください。再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
カバーを閉めてください 緊急停止スイッチを解除してください	カバーが開いた。 もしくは緊急停止スイッチが押された。	• カバーを閉じてください。(P.viii) • 緊急停止スイッチを解除してください。(P.1-14) • ディスプレイに [ENTER] が表示されますので ENTER キーを押してください。復帰動作が開始されます。 • 復帰できない場合や、カバーが閉まっているのにメッセージが表示される場合は、一度、主電源を OFF にしてしばらく経ってから電源を ON してください。再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
(クランプレバー OFF)	クランプレバーが上がっている。	• クランプレバーを下げてください。(P.1-3) • ディスプレイに [ENTER] が表示されますので ENTER キーを押してください。復帰動作が開始されます。 • 復帰できない場合や、カバーが閉まっているのにメッセージが表示される場合は、一度、主電源を OFF にしてしばらく経ってから電源を ON してください。再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。

インクチャージを実行した時に表示されるエラー

表示	原因	対処方法
インク IC キゲンギレ チャージ シマスカ？ NO < > YES	挿入したインク IC チップの使用有効期限が切れている。	• 新しいインクボトルに変更してください。 • そのまま使用する場合は [YES] を選択してください。
インク IC キゲンギレ (1 カゲツ) チャージ シマスカ？ NO < > YES	挿入したインク IC チップの使用有効期限が切れている (期限切れから 1ヶ月経過)。	
インク IC キゲンギレ (2 カゲツ) チャージ デキマセン	挿入したインク IC チップの使用有効期限が切れている (期限切れから 2ヶ月経過)。	• チャージできません。期限内のインクボトルの IC チップを挿入してください。 • インク期限があるのにエラーが発生する場合は、装置の時刻を確認。
インク IC イジョウ チャージ デキマセン	インク IC チップが正常に読み込めない。	• IC チップを再挿入してください。 • 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
インク IC シヨウズミ チャージ デキマセン	チャージ済み IC チップを挿入した。	• 新しい IC チップを挿入してください。
インク シュルイ チャージ デキマセン	充填してあるインクの種類と異なるインク IC チップがセットされた。	• インクボトルに付属されている IC チップかどうかを確認してください。 • インクボトルのインクタイプを確認してください。

表示	原因	対処方法
インク カラー チャージ デキマセン	充填してあるインクの色と異なるインク IC チップがセットされた。	• インクボトルに付属されている IC チップかどうかを確認してください。 • インクボトルのインクカラーを確認してください。
インク キゲンギレ チャージ シマスカ？ NO < > YES	インクの使用有効期限が切れている。	• P.4-25「期限切れのインクを廃棄する」でタンク内のインクを廃棄した後、インクのチャージ (☞ P.1-10) を行ってください。 • そのまま使用する場合は [YES] を選択してください。
インク キゲンギレ (1 カゲツ) チャージ シマスカ？ NO < > YES	インクの使用有効期限が切れている。 (期限切れから 1ヶ月経過)	
インク キゲンギレ (2 カゲツ) チャージ デキマセン	インクの使用有効期限が切れている。 (期限切れから 2ヶ月経過)	• そのまま使用することはできません。 P.4-25「期限切れのインクを廃棄する」でタンク内のインクを廃棄した後、インクのチャージ (☞ P.1-10) を行ってください。
チャージインク ザンリョウ フル チャージ デキマセン	チャージインク量が 3 リットル以上残っており、インクチャージできない。	• インクを消費した後、再度行ってください。
インク タンク コウカン チャージ シマスカ？ NO < > YES	チャージしようとしているインクタンクの使用期限が切れている。	• まず P.4-25「期限切れのインクを廃棄する」でタンク内のインクを廃棄してください。そのあと、新しいインクタンクに交換し、インクのチャージ (☞ P.1-10) を行ってください。 • そのまま使用する場合は [YES] を選択してください。

5

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
インク エラーアリ	インクエラーが発生している。	• 表示しているカラーに対応する供給経路のカートリッジ/ボトルを確認してください。
インクオーバーフロー : MMBBYYKK	エアタンクにインクが侵入した。	• メンテナンスの「サブタンク」を実施してください。(☞ P.5-4) 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
タンクザンリョウ H : MMBBYYKK	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー High に変化がない。	
タンクザンリョウ L : MMBBYYKK	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー Low に変化がない。	
インク キョウキュウ : MMBBYYKK	サブタンクへのインク供給ができなかった。	• メンテナンスの「サブタンク」を実施してください。(☞ P.5-4) またインクボトル内のインク残量も確認してください。(☞ P.1-10) 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
インクタンク交換 : MMBBYYKK	表示した色のインクタンクの交換時期 (インクタンク使用開始時期から一定期間経過)	• メンテナンスのインクタンク交換を実行し、インクタンクの交換をおこなってください。(☞ P.4-25) • チャージした情報もリセットされます。インクタンクの交換後、新しい IC チップのチャージとインクの補充をしてください。(☞ P.1-10)
マキトリ カバー OPEN	メディア巻取装置のカバーオープンを検出した。	• カバーを閉めてください。
マキトリ イジョウ	メディア巻取装置の巻取状態に異常が発生した。	• 巻取装置を使用していないのに、ロールでメディア設定していないか確認してください。 • 巻取り回転方向スイッチ、巻取りマニュアルスイッチが正しくセットされているかどうか確認してください。(☞ P.2-10) • メディアがメディア巻取装置に正しくセットされているか確認してください。 • マニュアル SW を ON/OFF し、テンションバーを正しい位置まで上げてください。 • ジョグでエラー発生時とは逆方向にフィードしてください。
マキトリ LIMIT ケンシュツ	巻取リミットを検出した。	• ジョグ動作などでメディアが正しくフィードできるか確認してください。 • マニュアル SW で巻取側のテンションバーの位置を下げてください。 下げても再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
クリダシ イジョウ	メディア繰出装置の繰出状態に異常が発生した。	• 繰出装置しを使用していないのに、ロールでメディア設定していないか確認してください。 • 繰出し回転方向スイッチ、繰出しマニュアルスイッチが正しくセットされているかどうか確認してください。 • メディアがメディア繰出装置に正しくセットされているか確認してください。 • マニュアル SW を ON/OFF し、テンションバーを正しい位置まで上げてください。 • ジョグでエラー発生時とは逆方向にフィードしてください。

<table>
<tr><th>表示</th><th>原因</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>クリダシ LIMIT ケンシュツ</td><td>繰出リミットを検出した。</td><td>• ジョグ動作などでメディアが正しくフィードできるか確認してください。
• マニュアル SW で繰出側のテンションバーの位置を下げてください。
下げても再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>NCU センサー感度低下</td><td>センサーの感度が低下してきている。</td><td>• NCU の交換をお勧めします。
• 弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。</td></tr>
<tr><td>ノズル抜け検出
印刷停止しました</td><td>ノズルチェックでノズル抜けと判定されたため、印刷を停止した。</td><td>• ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲りが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。(P.2-18)
ノズル状態を回復しても、再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
• ノズル状態は、ローカルガイダンス画面で確認できます。(P.3-28)</td></tr>
<tr><td>NCU トシュツイチケンシュツエラー
ノズルチェック OFF</td><td rowspan="5">ノズルチェック実行中にNCU関連のエラーが発生したため、印刷を停止してノズルチェック機能を OFF にした。</td><td rowspan="5">• ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲りが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。(P.2-18)
ノズル状態を回復しても、再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。</td></tr>
<tr><td>NCU センターイチケンシュツエラー
ノズルチェック OFF</td></tr>
<tr><td>NCU SN チョウセイエラー
ノズルチェック OFF</td></tr>
<tr><td>NCU ケンシュツエラー (HW)
ノズルチェック OFF</td></tr>
<tr><td>NCU ケンシュツエラー (マーク)
ノズルチェック OFF</td></tr>
<tr><td>NCU 接続異常</td><td>NCU のユニットが接続されていない。
ノズルチェック機能が使用できません。</td><td>• 一度、主電源を OFF にしてしばらく経ってから電源を ON してください。
再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。</td></tr>
<tr><td>NCU 交換</td><td>NCU のセンサー感度が低く、正常にノズル抜けを判定できない。
ノズルチェック機能が使用できない。</td><td>• NCU の交換が必要です。
弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。</td></tr>
<tr><td>NCU インク吸収剤交換</td><td>NCU のインク吸収材が満杯になった。</td><td>• NCU のインク吸収材交換が必要です。
弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。</td></tr>
<tr><td>NCU エラー
ノズルチェック OFF</td><td>ノズルチェック実行中にNCU関連のエラーが発生したため、印刷を停止してノズルチェック機能を OFF にした。</td><td>• ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲りが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。(P.2-18)
ノズル状態を回復しても、再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。</td></tr>
<tr><td>ワイパー交換</td><td>キャッピングステーションのワイパー交換時期
(ワイピング回数が規定値に達した。)</td><td>• ステーションメンテナンスのワイパー交換を実行し、ワイパーの交換をおこなってください。(P.4-23)</td></tr>
<tr><td>＊メディア ガ アリマセン＊</td><td>メディアガセットされていない、またはメディアセンサーの故障。</td><td>• メディアをセットした後、クランプレバーを下げてください。
再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。</td></tr>
<tr><td>プリントデータあり</td><td>データ受信済み。</td><td>• データクリアを実行してください。(P.2-21)
データクリアを実行しても表示が消えない場合は、再起動してください。</td></tr>
</table>

表示	原因	対処方法
装置温度 / 高 *** ℃	装置の温度が高い。	• 冷房装置を使用し、室温を仕様範囲内まで下げてください。 • マシンの温度が下がるまで待ってください。 • 室温を下げ、十分な時間をおいても表示が消えない場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
装置温度 / 低 *** ℃	装置の温度が低い。	• 暖房装置を使用し、室温を仕様範囲内まで上げてください。 • マシンの温度が上がるまで待ってください。 • 室温を上げ、十分な時間をおいても表示が消えない場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

インクエラー

インクエラーは、ローカルガイダンスでも表示されます。(☞ P.3-27)

表示	原因	対処方法
インク IC イジョウ	挿入した IC チップが正常に読み取れない。	ワーニングが発生しているIC チップを再挿入してください。 ワーニングが解消しない場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
インク シュルイ	挿入した IC チップのインク種類が、充填してあるインクと異なる。	IC チップとインクタンクのインク種類を確認してください。
インク カラー	挿入した IC チップのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	IC チップとインクタンクのインクカラーを確認してください。 IC チップを挿入したスロットのインクカラーを確認してください。
インク IC シヨウズミ	既にチャージ済みの IC チップを挿入した。	まだチャージしていない IC チップを挿入してください。
インク IC キゲンギレ	挿入した IC チップの使用有効期限が切れている。	IC チップとインクタンクの消費期限が切れました。 使用したい場合は、メンテナンス機能のインクチャージをして使用することができます。
インク IC キゲンギレ (1 カゲツ)	挿入した IC チップの使用有効期限が切れている。(期限切れから 1ヶ月経過)	IC チップとインクタンクの消費期限が 1ヶ月以上過ぎています。 使用したい場合は、メンテナンス機能のインクチャージをして使用することができます。
インク IC キゲンギレ (2 カゲツ)	挿入した IC チップの使用有効期限が切れている。(期限切れから 2ヶ月経過)	• IC チップとインクタンクの消費期限が 2ヶ月以上過ぎています。 • 新しいインク IC とインクタンクを用意してください。
インクタンク ナシ	インクタンクが外部インク供給ユニットにセットされていない。	• ワーニングが発生しているインクスロットにインクタンクをセットしてください。
インク エンド	使用できるインクがなくなった。	• 使用可能なインクがなくなったため、プリントやクリーニングなどが使用できなくなります。 • P.3-28「本機の情報を表示する」でワーニングが発生しているインクを確認し、原因を取り除いてください。
インク ニア エンド	インクタンクのインクが少なくなった。	• 使用可能なインクがなくなったため、プリントやクリーニングなどがまもなく使用できなくなります。 • P.3-28「本機の情報を表示する」でワーニングが発生しているインクを確認し、原因を取り除いてください。
キゲンギレ	インクの使用有効期限が切れている。	• 消費期限を過ぎました。 ただし、翌月末まで使用することができます。 • 新しいインクと交換する場合は、P.4-25「期限切れのインクを廃棄する」を実行してください。
キゲンギレ (1 カゲツ)	インクの使用有効期限が切れている。 (期限切れから 1ヶ月経過)	• 消費期限より 1 か月以上過ぎています。 ただし、当月末まで使用することができます。(インクタンクランプが赤点滅します) • 新しいインクと交換する場合は、P.4-25「期限切れのインクを廃棄する」を実行してください。

表示	原因	対処方法
キゲンギレ (2 カゲツ)	インクの使用有効期限が切れている。 (期限切れから 2ヶ月経過)	• 消費期限より 2 か月以上過ぎています。 • 新しいインクと交換する場合は、P.4-25「期限切れのインクを廃棄する」を実行してください。
タンクニアエンド	インクタンク内のインクがなくなった。 (残量 300cc 以下)	• ワーニングが発生しているインクタンクに、インクを継ぎ足してください。 (☞ P.1-10)
タンクエンド	インクタンク内のインクが少なくなった。 (残量 400cc 以下)	
チャージ ニア エンド	本機にチャージしたインク残量が少なくなった。	• ワーニングが発生しているインクタンクに、インクチャージを行ってください。 (☞ P.1-10)
チャージ エンド	本機にチャージしたインク残量がゼロになった。	
センサ AD 値 異常	供給ユニットの重量天秤に異常が発生した。	• インクタンクに (何を？) 正しくセットしているか、衝撃を与えていないか、荷重となるものを乗せてないかを確認してください。 • P.4-29「タンクキャリブレーション」を実施してください。 • 電源を入れ直してください。 • 上記操作を行っても、解消されない場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

表示	原因	対処方法
ERROR 04 PARAM ROM	基板の故障	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 108 HD CONNECT [1234]	プリントヘッドの接続異常	
ERROR 108 HD THERMIS [1234]	プリントヘッドの温度異常	
ERROR 108 HD MEM EMP [1234]	プリントヘッドの故障	
ERROR 108 HD TYPE [1234]		
ERROR 122 CHECK : SDRAM [1234]	PRAM 基板が見つからない	
ERROR 128 HDC FIFO OVER	制御基板に異常が発生した	
ERROR 128 HDC FIFO UNDER		
ERROR 128 バッテリ コウカン	内部時計の電池切れを検出した。	• 弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 12a HDC SPEED [12]	インクの吐出制御エラー	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 12a HEAD ROM WR	ヘッド制御エラー	
ERROR 12e HeadFaild /HDC[**]	プリントヘッドの故障	
ERROR 130 HD DATA SEQ	制御基板に異常が発生した	
ERROR 148 E-LOG SEQ		
ERROR 151 Main PCB V1R2	電源に異常が発生した。	
ERROR 152 Main PCB V2R5		
ERROR 153 Main PCB V3R3		
ERROR 154 Main PCB V05		
ERROR 155 Main PCB V36-1		
ERROR 156 Main PCB V5B		
ERROR 157 Main PCB VTT		
ERROR 158 Main PCB V36-2		
ERROR 158F HEAD DRIVE HOT	制御基板温度異常	
ERROR 16e Main PCB V3R3B	電源に異常が発生した。	
ERROR 171 NEW HEAD CONNECT	新しいヘッドの接続を認識した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 186 HDC OVERFLOW [12]	インクの吐出制御エラー	• 一度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 186 HDC UNDERFLOW [12]		
ERROR 187 HDC SLEW RATE [12]		
ERROR 188 HDC MEMORY [12]		
ERROR 18a Main PCB V_CORE	電源に異常が発生した。	
ERROR 18b Main PCB V1R5B		
ERROR 18c Main PCB V12		
ERROR 18e FLS NOT COMP [12]	インクの吐出制御エラー	
ERROR 18f OFFSET START [12]		
ERROR 18f OFFSET END [12]		
ERROR 19d HDC V36 [12]	インク吐出制御電圧の異常を検知した	
ERROR 201 コマンド エラー	PC- プリンター間の通信異常 メディアエンド	• USB ケーブル /LAN ケーブルの接続を確認してください。規格に適合した USB ケーブル /LAN ケーブルをお使いください。
ERROR 202 パラメータ エラー		
ERROR 203 メンテコマンド		
ERROR 206 プリント モード エラー		• USB ケーブル /LAN ケーブルの接続を確認してください。規格に適合した USB ケーブル /LAN ケーブルをお使いください。 • 出力条件を確認してください。
ERROR 304 USB INIT ERR	USB デバイスエラー	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 305 USB TIME OUT		
ERROR 306 USB GET DESC		
ERROR 401 モーターアラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 402 モーターアラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 403 X オーバー カレント	X モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 404 Y オーバー カレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 41B ＊メディア ガ アリマセン＊	メディアエンド	• メディア有無センサーにかぶるようメディアをセットする
ERROR 423 マキトリ テンションバー	プリント開始時のメディアセットチェックで、巻取テンションバーに異常を検出した。	• メディアセット状態を確認し、問題を取り除いてください。
ERROR 424 クリダシ テンションバー	プリント開始時のメディアセットチェックで、繰出テンションバーに異常を検出した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 425 マキトリ イジョウ	メディア巻取装置の巻取状態に異常が発生した。	• 巻取りを使用していないのに、ロールでメディア設定していないか確認してください。 • 巻取り回転方向スイッチ、巻取りマニュアルスイッチが正しくセットされているかどうか確認してください。 • メディアがメディア巻取装置に正しくセットされているか確認してください。 • マニュアル SW を ON/OFF し、テンションバーを正しい位置まで上げてください。 • ジョグでエラー発生時とは逆方向にフィードしてください。
ERROR 426 クリダシ イジョウ	メディア繰出装置の繰出状態に異常が発生した。	• 繰出しを使用していないのに、ロールでメディア設定していないか確認してください。 • 繰出し回転方向スイッチ、繰出しマニュアルスイッチが正しくセットされているかどうか確認してください。 • メディアがメディア繰出装置に正しくセットされているか確認してください。 • マニュアル SW を ON/OFF し、テンションバーを正しい位置まで上げてください。 • ジョグでエラー発生時とは逆方向にフィードしてください。
ERROR 427 マキトリ カバー OPEN	巻取装置のカバーオープンを検出した。	• カバーを閉めてください。
ERROR 428 クリダシ カバー OPEN	繰出装置のカバーオープンを検出した。	
ERROR 429 マキトリ LIMIT ケンシュツ	巻取リミットを検出した。	• ジョグ動作などでメディアが正しくフィードできるか確認してください。 • マニュアル　SW　で巻取側のテンションバーの位置を下げてください。
ERROR 42a クリダシ LIMIT ケンシュツ	繰出リミットを検出した。	• ジョグ動作などでメディアが正しくフィードできるか確認してください。 • マニュアル　SW　で繰出側のテンションバーの位置を下げてください。
ERROR 42b マキトリ テンションバー タイヒ	巻取テンションバーが退避されている。	• 巻取テンションバーを下ろしてください。
	メディアカットをするときなどに、テンションバーが退避されていない。	• 巻取テンションバーを退避してください。
ERROR 42b クリダシ テンションバー タイヒ	繰出テンションバーが退避されている。	• 繰出テンションバーを下ろしてください。
ERROR 432 マキトリ ユニット セツゾク	巻取りユニット 接続先ミス	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 433 クリダシ ユニット セツゾク	繰出しユニット 接続先ミス	
ERROR 436 マキトリ ヒューズ セツダン	巻取りヒューズ切断	
ERROR 437 クリダシ ヒューズ セツダン	繰出しヒューズ切断	
ERROR 442 マキトリ ユニット ナシ	巻取りユニットなし	
ERROR 443 クリダシ ユニット ナシ	繰出しユニットなし	
ERROR 447 カッターエンコーダー イジョウ	カッターエンコーダーに異常が発生した。	

表示	原因	対処方法
ERROR 44d ステーション イチ イジョウ	ステーション位置に異常が発生した。	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 453 マキトリ ホウコウ	メディア巻取装置にセットされたメディアの巻取方向が仕様推奨外 (外巻き) になっている。	• メディアの巻き方向を “ 内巻き ” にしてください。
ERROR 468 クリダシ モーター　イジョウ	繰出モーターに異常が発生した。	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 469 マキトリ モーター　イジョウ	巻取モーターに異常が発生した。	
ERROR 505 メディア ジャム	メディア詰まりが発生した。	• 詰まったメディアを取り除き、メディアを再セットしてください。
ERROR 50a Y ゲンテン　ケンシュツ	Y 原点検出ができなかった。	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 50c メディアハバセンサー　カクニン	メディア幅を正しく検出できなかった。	• メディアのセット位置を確認してください。 • メディアセンサーの清掃を行ってください。(☞ P.4-3)
ERROR 50f L-SCALE BLACK	リニアスケール異常が発生した。	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 510 メディア アツサ ケンシュツ	メディア厚さ検出エラーが発生した。	• メディアの厚みをマニュアルで入力 (☞ P.2-11) し、再度メディア検出を行ってください。
ERROR 516 メディアイチ ヒダリ スギマス	メディアが範囲外にセットされている。	• メディアのセット位置を確認してください。
ERROR 516 メディアイチ ミギ スギマス		
ERROR 531 インクタンク センサー　:12345678	インク供給ユニットの天秤に異常が発生している。	• インクタンクに (何を？) 正しくセットしているか、衝撃を与えていないか、荷重となるものを乗せてないかを確認してください。 • P.4-29「タンクキャリブレーション」を実施してください。 • 電源を入れ直してください。 • 上記操作を行っても、解消されない場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 539 キャリブレーション　:12345678	インク供給ユニットの重量天秤のデータに異常が発生している。	• P.4-29「タンクキャリブレーション」を実施してください。 • 電源を入れ直してください。 • 上記操作を行っても、解消されない場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 607 キャップ　セイソウ	キャップのクリーニング時期	• ステーションメンテナンスを実行し、キャップの清掃をおこなってください。
ERROR 617 サブタンク センサー　:12345678	サブタンクの液面センサー異常を検出した。	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。

表示	原因	対処方法
ERROR 618 タンク　ザンリョウ H　:12345678	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー High に変化がない。	• メンテナンスの「サブタンク」を実施してください。(☞ P.5-4) • 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 618 タンク　ザンリョウ L　:12345678	一定量の消費があったにもかかわらず、サブタンクセンサー Low に変化がない。	
ERROR 61a インクオーバーフロー　:1234	エアタンクにインクが侵入した。	
ERROR 61b インク　キョウキュウ　:1234	サブタンクへのインク供給ができなかった。	• メンテナンスの「サブタンク」を実施してください。(☞ P.5-4) またインクボトル内のインク残量も確認してください。(☞ P.1-10) • 実施しても表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 627 インクタンク セット	一定時間以上、供給ユニットにインクタンクがセットされていないスロットがある。	• インクタンクをセットしてください。
ERROR 637 インクモレ　[12345]	インク供給経路内のインク漏れを検出した。	• 1 度主電源を OFF にしてしばらくたってから再度主電源を ON にしてください。 • 再度表示するときは、主電源を OFF にし電源ケーブルを抜いて弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 647 チャージ データ イジョウ　[12345]	チャージしているインク情報のデータに以上が発生した。	• プリントできません。 販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 64b ノズルチェック NG	自動ノズルチェックで NG 判定	• ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲りが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。(☞ P.2-18) • ノズル状態を回復しても、再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 64c NCU エラー	ノズルチェックでエラーが発生したため、印刷を停止した。	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 650 NCU セツゾク　イジョウ	NCU のユニットが接続されていない。	
ERROR 651 NCU コウカン	NCU のセンサー感度が低く、正常にノズル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	
ERROR 652 NCU ケンシュツエラー (HW)	ノズル抜け、飛行曲りが多発していて、NCU がインクの吐出を正常に認識できない。	• ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲りが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。(☞ P.2-18) • ノズル状態を回復しても、再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 653 NCU ケンシュツエラー (マーク)		
ERROR 654 NCU センターイチケンシュツエラー	NCU への吐出位置の調整に失敗した。	
ERROR 655 NCU トシュツイチケンシュツエラー		
ERROR 657 NCU インク吸収剤交換	NCU のインク吸収剤が満杯になった。	• 弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 658 NCU センサーカンドテイカ	センサーの感度が低下してきている。	• NCU の交換をお勧めします。 • 弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。

表示	原因	対処方法
ERROR 702 サーミスタ　イジョウ	ヒーターのサーミスタセンサ異常	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR 703 ! プリ ヒータ ダンセン	プリヒーター断線	
ERROR 703 ! ガイブ ヒータ ダンセン	外部ヒーター断線	
ERROR 707 ! HD　ヒータ　ダンセン	ヘッドヒーター断線	
ERROR 710 ヒーター　オンド　イジョウ	ヒーターの温度異常を検知した。 本エラー発生後、温度異常が解消されない場合、強制的に装置電源をオフにします。	
ERROR d01 HCB POWER [1234]	HCB 基板の電源に異常が発生した。	• 1 度電源を OFF にしてしばらくたってから再度電源を ON にしてください。 • 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
ERROR d02 HCB COMMON [1234]	HCB 基板の異常を検出した。	
ERROR d03 HCB HARD [1234]		
ERROR d04 HCB CMD [1234]	ヒーターの温度異常を検知した。 本エラー発生後、温度異常が解消されない場合、強制的に装置電源をオフにします。	
ERROR d05 HCB WFM [1234]	印字している波形の異常を検出した。	
ERROR d06 HCB VUP [1234]	HCB 基板のバージョンアップ失敗を検出した。	

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*) 000 : メッセージ	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 番号を確認のうえ、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。 (“000” はエラー No.)

第６章
付録

この章では ...

本機の仕様一覧表や、 機能の一覧表を記載しています。

仕様 6-2
　本体仕様 6-2
　インク仕様..6-3
　サプライ品リスト..6-3
お問い合わせシート 6-4

仕様

本体仕様

項 目		仕様
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	12 ヘッド：インライン 4 ヘッド x スタガ 3
プリントモード (スキャン x フィード)		**4 色インクセット** [*1] 360x360HQ : 双方向 / 単方向 **2**/ 3/ 4 pass (ノーマルモードのみ) 540x360 : 双方向 / 単方向 2/ **3**/ 4 pass 570x720 : 双方向 / 単方向 **4**/ 6/ 9 pass 720x720 : 双方向 / 単方向 4/ **6**/ 9 pass 720x1080 : 双方向 / 単方向 6/ **9**/ 12 pass **6 色インクセット** 540x360 : 双方向 / 単方向 4/ 6/ 9 pass (ノーマルモードのみ) 540x540 : 双方向 / 単方向 6/ 9/ 12 pass 720x720 : 双方向 / 単方向 9/ 12/ 15 pass 720x1080 : 双方向 / 単方向 12/ 15/ 18 pass
使用可能インク		Sb310 インク (M,B,Y,K,Lm,Lb) 2 リットルボトル
インクタンク供給方式		3L x 8 タンク供給
インクタンク容量		3L/ 1 タンク (4 色時のみ、2 タンク /1 色によるトグル切換供給)
使用可能メディア		昇華転写紙
最大プリント範囲		3290mm
ロール メディアサイズ	最大幅	3300mm
	最小幅	210mm
	厚さ	0.2mm 以下
	ロール外径	巻取装置と繰出装置使用時 :Φ300mm 以下
	ロール重量 [*2]	巻取装置と繰出装置使用時 :130kg 以下 ロールホルダー使用時 :18kg 以下
	紙管内径	繰出装置使用時 :3 インチ ロールホルダー使用時 :2 または 3 インチ
	プリント面	外側
	巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着
リーフメディア サイズ	最大幅	3290mm
	最小幅	210mm
プリントマージン	リーフメディア	左右 : 15.0 ㎜ (デフォルト値) 前 :150 ㎜ 後 : 400 ㎜
	ロールメディア	左右 : 15.0 ㎜ (デフォルト値) 前 :150 ㎜ 後 : 0 ㎜
距離精度	再現性	± 0.2 ㎜ または指定距離の ± 0.1 % の大きい方 [*3 *4 *5]
直角度		± 0.5 ㎜ / 1000 ㎜ [*3 *4]
メディアスキュー		5 ㎜ 以下 / 10 m [*3 *4]
ヘッド高さ調整		1.5 ～ 7.0mm(自動調整)
排紙		ロール巻き取り装置標準 (内巻き / 外巻き 切替可能 [*6])
廃インクタンク		タンク式 (3.6 リットル)
インターフェイス		USB 2.0, Ethernet 1000BASE-T [*7]
コマンド		MRL-V
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)
	動作連続音	65 dB 以下
	動作不連続音	70 dB 以下
電源仕様		AC200 - 240±10% , 50/60Hz±1Hz , 29A 以下
消費電力		6960W 以下

項　目		仕様
設置環境	使用可能温度	20 °C ～ 30 °C (68°F ～ 86°F)
	相対湿度	35 ～ 65% Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 °C ～ 25 °C (68°F ～ 77°F)
	温度勾配	±10 ℃ / h 以下
	粉塵	0.15mg/m^3 (オフィス相当)
重量		1500 kg
外形寸法		5620 mm(W) x 1800 mm(D) x 1820mm(H)

*1. 太字が推奨パスになります。
*2. ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと。
*3. ただしインクによるメディアの伸縮は除く。
*4. メディアセットの初期蛇行は除く。
*5. 以下の条件を全て満たした場合のみ
- メディアを本機の中央にセットしている。
- ロールホルダー使用時、ロールのたわみが無い状態でプリントを開始している。
- 巻取装置を使用している。
- ロールメディアを使用している。また、1 ロールであること。(Twin ロールは除く)

*6. メディア巻き取り方向は、“ 内巻き ” を推奨する。
*7. プリンターとのインターフェイスは、直接接続とする。

インク仕様

項　目		仕様
形態		2L インクボトル
色		ブラックインク ブルーインク マゼンタインク イエローインク
インク容量		2 リットル
有効期限		有効期限は、インクボトルに記載されている通り。 ただし、開封後は期限内であっても 3ヶ月以内。
保存温度	保存時	5 ～ 30 ℃
	輸送時	1 ～ 60 ℃ (60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1ヶ月以内)

重 要!
- インクボトルを分解しないでください。
- インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。
- 万一インクが凍結したときは、室温 (25 ℃) で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。ただし、解凍したインクを使用すると、インクの変質によりプリント品質が劣化します。インクが凍結しない環境で保管してください。

サプライ品リスト

品番	名称
SB310-BLT-BB	昇華転写インクボトル　ブルー (2 リットルボトル)
SB310-MT-BB	昇華転写インクボトル　マゼンタ (2 リットルボトル)
SB310-YT-BB	昇華転写インクボトル　イエロー (2 リットルボトル)
SB310-KT-BB	昇華転写インクボトル　ブラック (2 リットルボトル)
SB310-LBT-BB	昇華転写インクボトル　ライトブルー (2 リットルボトル)
SB310-LMT-BB	昇華転写インクボトル　ライトマゼンタ (2 リットルボトル)
SPA-0189	HF フィルター
SPC-0527	クリーンスティック (ﾍｯﾄﾞ周辺用 50 本入り)
SPA-0193	ワイパゴム交換キット
SPA-0263	キャップインク吸収材キット
SPA-0266	3L インクボトル
ML003-Z-K1	洗浄液 03 メンテナンスキット

お問い合わせシート

プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの **OS**	
マシン情報[*1]	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

*1. 「第 3 章 便利な使い方」の、「情報メニューについて」をご覧いただき、必要な情報をご記入ください。(☞ P.3-27)

索　引

E

END/POWER キー 2-3

I

IC チップ
　カラー情報 1-12

L

LAN ケーブル 1-9

M

MAPS 機能
　MAPS 機能が有効になる条件 3-11
　MAPS 機能を設定する 3-11

U

USB2.0 インターフェイスケーブル 1-9

あ

安全インターロックについて viii
安全にお使いいただくために vi
　ご注意とお願い vii
　使用上の警告 vi
　使用上のご注意 vi
　設置上のご注意 viii

い

イベントメール機能 3-22
イベントメール機能を有効にする 3-22
イベントを設定する 3-23
インク交換レポート 3-27
インクタンクを交換する 4-25
インクの廃棄 4-25
インク排出路の洗浄 4-10
インクボトル取り扱い上の
ご注意 .... 1-12，4-25，4-26

え

エラー 618 ～ 61b 5-4
エラーメッセージ 5-13
エラー履歴 3-27

お

オートクリーニングの設定 3-12
オートパワーオフの設定 3-18
オートメンテナンス機能
　クリーニングレベル 4-18
　リフレッシュレベル 4-18
お問い合わせシート 6-4

か

外装のお手入れ 4-2
各部の名称とはたらきについて
　キャリッジ 1-7
　操作パネル 1-5
　装置前面 1-3
　装置背面 / 側面 1-4
　ヒーター 1-7
　メディアセンサー 1-7
重ね塗りの設定 3-9
画質不良が発生したときは 5-3
カッター刃とカット溝 1-8
カッター刃の交換 4-27
乾燥時間の設定 3-9
乾燥フィード 3-20

き

キーブザーの設定 3-20
キャッピングステーション 1-8
キャッピングステーションのメンテナンス
　インク排出路の洗浄 4-10
　長期間使用しない場合 4-10
　ヘッドノズルの洗浄 4-14
　ワイパーとキャップの清掃 4-8
　ワイパーを交換する 4-23
吸着ファンの設定 3-10
緊急停止スイッチ 1-14

く

繰出しユニットの設定 3-18

け

言語の設定 3-26
原点
　原点設定位置の目安 2-16
件名を設定する 3-23

こ

故障？と思う前に 5-2
　インクタンクに異常が発生したら 5-4
　画質不良が発生したときは 5-3
　サブタンク関連のエラー 5-4
　電源が入らない 5-2
　ノズル詰まりを解消したいとき 5-3
　プリントできない 5-2
　メディアが汚れる 5-3
　メディア詰まり 5-3
ご注意 v

小幅ロールメディア 2-12

さ

サーバーを設定する 3-24
作業の流れ 2-2
サプライ品リスト 6-3

し

時刻の設定 3-19
受信障害 v
主電源スイッチ 2-3
仕様
インク仕様 6-3
本体仕様 6-2
使用可能メディアサイズ 1-13
使用環境温度 1-2
使用状況 3-27
使用時間 3-27
プリント長情報 3-27
プリント面積情報 3-27
ワイピング情報 3-27
使用ヘッドラインを選択する 3-20
情報メニュー 3-27
情報メニュー一覧表 3-27
情報を表示させる 3-28
初期状態に戻す 3-26

せ

設置場所について 1-2
設定メニュー 3-2
設定メニュー一覧表 3-3
設定ロック 3-26
パスワードを解除する 3-26
パスワードを設定する 3-26

そ

装置の固定 1-2
双方向プリントのドット位置を調整する ... 2-20

た

単位 (温度 / 長さ) の設定 3-19

て

データクリア 2-21
データをプリントする 2-21
定期ワイピングの設定 3-15
テストプリント 2-17
テストプリントに関する注意事項 2-17
テストプリントの前に確認してください 2-18
ヘッドの配列とテストパターンの関係 ... 2-17
テストメールを送信する 3-25
電源ケーブル 1-9
電源を入れる 2-3
電源を切る 2-3
電源を切るときのご注意 2-3
天井ファンの設定 3-10
電波障害自主規制 v

と

ドットの位置がずれたら 3-7
取扱説明書について v

に

日常のお手入れ
お手入れ上のご注意 4-2

ね

ネットワークの設定 3-22

の

ノズルチェック
印刷中ノズルチェックの設定 3-14
印刷中ノズルチェックの流れ 3-13
「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の
印刷動作 3-13
ノズルチェックユニット 1-7
ノズルリカバリ機能
設定値をクリアする 4-17
設定値をリセットする 4-17
ノズルパターンをプリントする 4-15
ノズルリカバリできないプリント条件を
確認する 4-16

は

バージョン 3-27
廃インクタンク確認メッセージ 4-21
廃インクタンクの交換 4-21
本体左側の廃インクタンクを交換する ... 4-22
本体右側の廃インクタンクを交換する ... 4-21
背面カバー・ポストヒーターカバーの清掃 . 4-2
パターンプリント 2-20, 3-7

ひ

ヒーターの準備をする
ヒーターの温度設定を変更する 2-17
ヒーターの設定 3-8
標準マージン 3-9
ピンチローラーとフィードローラー 1-8

ふ

フィード補正の設定 2-19, 3-6
プラテンの清掃 4-2
プリント間の余白を設定する 3-21

プリント結果 2-18
プリント速度の設定 3-10
プリント中にメディア送りを補正したいとき 3-7
プリントを開始する 2-21
プリントを中止する 2-21

へ

ヘッドギャップ 2-4
ヘッドギャップの設定 3-15
ヘッドクリーニング 2-18

ほ

保管洗浄 4-10
補正パターン 3-6
本装置の移動 1-2

ま

マーク表示 vi
マージン (左 / 右) の設定 3-9
マシン設定メニュー 3-16
マシン設定メニュー一覧表 3-17

め

メールアドレスを設定する 3-23
メディア
　メディアをカットする .... 2-16，2-22
メディア押さえの清掃 4-3
メディアが搬送時に波打つ場合 5-4
メディアセンサーの清掃 4-3
メディア取り扱い上の注意 1-13
メディア厚さと残量の入力 2-11
メディアの厚さを検出できなかった場合 ... 2-11
メディア巻取装置の準備 2-5
メンテナンス洗浄液 4-2
メンテナンスニュー 4-6
メンテナンスメニュー一覧表 4-7

り

リーフメディアをセットする 2-15
リスト 3-27
リフレッシュの設定 3-9
リフレッシュ 左の設定 3-10

ろ

ロールメディアをセットする 2-5
ロジカルシークの設定 3-8

わ

ワーニングメッセージ 5-5
ワイパーを交換する 4-23

TS500P-3200 取扱説明書

2016 年 12 月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

D202950-13-26122016

IG

KT

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2016

FW : 1.90